府中市観光振興ビジョン

令和2(2020)～6(2024)年度

広島県 府中市
FUCHU CITY

令和2(2020)年6月

はじめに

本市は、自然や歴史、ものづくりなどの「地域資源を生かした観光産業の振興」を掲げ、観光資源のもつ魅力の一体的な情報発信や、魅力ある観光地づくりに向けて、取り組んできました。定番の観光スポットに加え、備後国府や幕府直轄地に代表される歴史・文化、ものづくり産業の集積、備後府中焼きなどの食文化、キャンプ場などの自然体験など、他市町に引けを取らない地域の資源がたくさんあります。

しかしながら、未だ観光客数や観光消費額の大幅な増加といった目に見える成果につながっていない現状もあり、抜本的な戦略づくりが求められています。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大し、国内外の観光はもとより、住民生活や経済活動など、様々な領域に影響が出ています。本市でも、この感染防止に取り組む時期においても、観光振興に向けた体制づくりを着実に進め、収束時期からの誘客促進に向けた取組ができるよう、国・県等とも連携しながら備えていきます。

こうした状況のなか、本市が持つポテンシャルを最大限に生かし、「観光」が府中市を支える産業の一つとなることを目指し、観光政策の方向性を示す、「府中市観光振興ビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、本市が目指す観光の基本方針として、「選ばれる観光地づくり」、「地域で稼ぐ観光の実現」、「観光を推進する地域づくり」と定め、その実現に向けた４つの重点ターゲットとして「歴史まち歩き関心層」、「グルメ関心層」、「学びを求める層」、「アウトドア層」を掲げています。

これらの基本戦略の着実な推進には、観光事業者、非観光事業者、地域団体、経済団体、市民、行政が一体となりオール府中での体制で取り組みを進めることが重要となります。行政といたしましても、前例に縛られることなく積極果敢に施策を推進し、観光客から観光で「選ばれるまち府中市」として取り組んでいく所存です。

結びに、本市における観光振興施策の推進に向けて、市民、事業者、地域団体のみなさまには一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本ビジョンの策定にあたって、ご尽力賜りました「府中市観光振興ビジョン策定委員会」、「府中市観光振興ビジョンワーキンググループ会議」委員各位をはじめ、貴重なご意見を頂きました関係者の方々、ワークショップ、モニターツアー、アンケート及びヒアリング等でご協力頂きましたみなさまに心からお礼申し上げます。

令和２年６月

府中市長　小野　申人

目　　次

第１章　府中市観光振興ビジョン策定の目的

１．計画策定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
２．計画策定の目的・策定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
３．計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

第２章　外部環境について

１．世界の観光の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10
２．日本の観光の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
３．広島県の観光の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P17

第３章　内部環境について

１．府中市の観光の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P22
２．府中市の観光資源・地域資源の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・P27
３．府中市の市民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P44
４．モニターツアーの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P50
５．府中市における観光の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P51

第４章　基本戦略と将来ビジョン

１．観光における府中市の強み・弱みと基本戦略・・・・・・・・・・・・・・P54
２．府中市での観光の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P56

第５章　観光振興アクションプラン

１．基本方針　～観光振興に向けた基本的な考え方～・・・・・・・・・・・・P64
２．実施項目（アクションプラン）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P72
３．今後の観光振興に当たっての留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・P87
４．数値目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P90

資料　ビジョン策定にあたっての参考資料

１．ビジョン策定にあたってのアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・P96
２．ビジョン策定にあたってのワークショップでの意見・・・・・・・・・ P115
３．参考データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P123

第１章

府中市観光振興ビジョン策定の目的

1．計画策定の背景

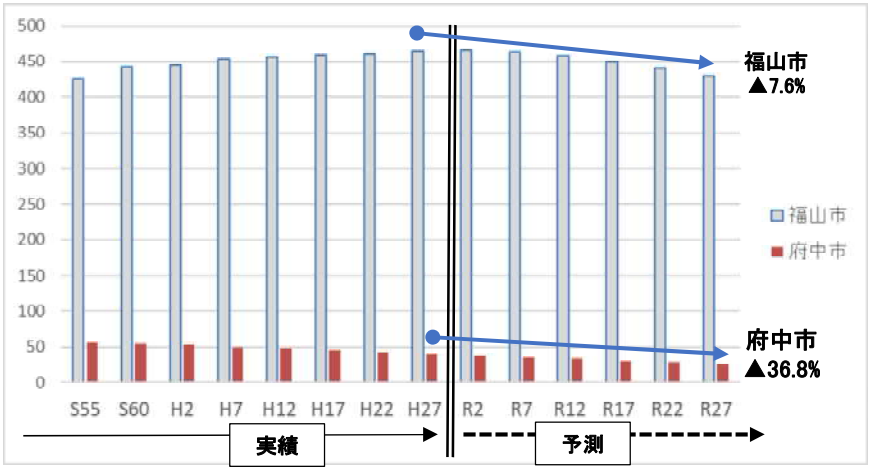
「ものづくりのまち」として知られる府中市においても、「観光を活用したまちづくり」を進める必要があります。

まず、なぜ府中市が観光振興に取り組むのか、その背景を以下２点でまとめます。

①　少子高齢化・人口減少への対策として

府中市においても他の市町と同様に、少子高齢化が進展し、人口減少が加速しています。具体的には、府中市の人口は、約 20 年前から 4 万人台に減少し、その後も減少が続いています。今後の人口推計を見ると、平成 27(2015)年から令和 27(2045)年までの 30 年間で 4 割近い減少が予測されており、このまま何も手を打たなければ、広島県全体や近隣の都市部と比べ、その減少割合は大きくなる見通しです。加えて、府中市においては，他の市町から府中市への転入者よりも府中市から他の市町への転出者が多い「転出超過」が続いており、その結果、自然減とともに人口減少に拍車をかけています。そのため、人口減少への対策は急務であり、定住人口の減少を旅行客の増加による交流人口の拡大で補うことが必要です。

図表１：府中市における人口減少の状況と今後の推計（福山市との比較）



出典：総務省「国勢調査」（各年）／国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年）

②　地域経済の底上げを目指して

府中市の産業構造も大きく変化しており、広島県全体と比較すると、ものづくりのまちとして、第２次産業（製造業）が強い構造ですが、昨今は第３次産業（サービス業）が拡大しています。

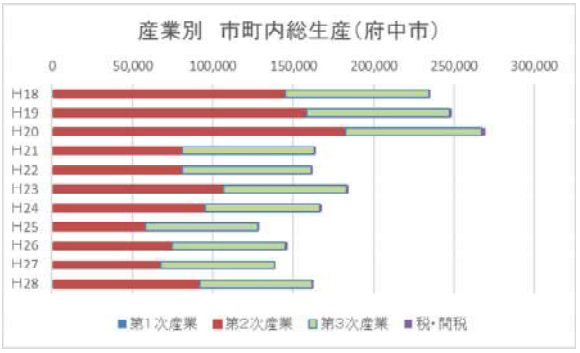
市町内での生産活動によって新たにどのくらい付加価値が年間で生み出されたかを表す「市町内総生産」をみると、生産額全体に占める製造業の割合は、広島県全体は３割前後ですが，府中市においては５割前後と、県内の他の市町よりも高い水準にあるものの、平成 20(2008)年以前と比べると低下しており、相対的に第３次産業の割合が上昇する傾向にあります。

同様に、就業者数から見ても、府中市における全産業に占める産業別の割合は、第２次産業が広島県全体と比べても高くなっていますが、年々低下する傾向にあり、代わりに第３次

産業の数値が上昇する傾向にあります。

このように今まで本市を支えてきた産業のみならず、新しい産業、経済活動を推し進めることも必要です。

図表２：平成 18～28 年度 県内総生産・市町内総生産（広島県・府中市，実額・構成比）



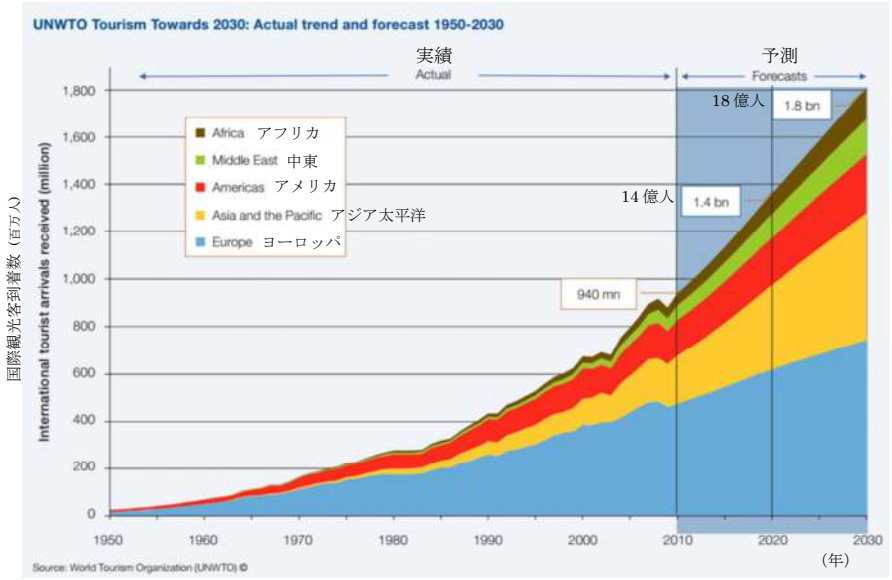
図表３：平成 2～27 年就業者数（15 歳以上）（広島県・府中市、構成比）

出典：総務省 「国勢調査」（各年）

世界規模で人の動きが加速する時代にあって、世界全体でも観光産業の成長が見込まれており、わが国でも観光産業は日本経済を加速させる成長産業であると言われています。

国連世界観光機関（UNWTO）の長期予測を見ると、令和 12(2030)年までの間に年 3.3%の割合で増加し、国際観光客到着数は約 18 億人に上ると予測しています。

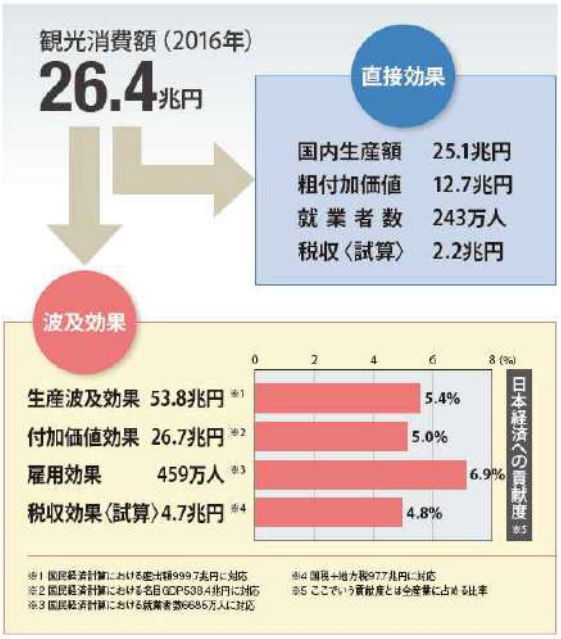
図表４：2030 年までの国際旅行の需要予測



出典：国連世界観光機関（UNWTO）Tourism Highlights（2017）

また、観光産業はすそ野が広い産業と言えます。宿泊や飲食のみならず、物販、輸送、情報産業、出版など多様な業種があるため、観光の振興により幅広い経済的な波及や雇用創出の効果が期待できます。

図表５：観光業の広がり



出典：日本旅行業協会「数字が語る旅行業」デジタル版（2019 年度）

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

なお、令和 2（2020）年初頭からの新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世界全体で人の流れが止まっています。新型コロナウイルス感染症の収束後、再び日本が世界の観光客から選ばれ、府中市が来訪の目的地となれるよう、魅力ある観光資源づくりや受入環境の整備を進めておく必要があります。

以上のように、少子高齢化・人口減少の対策として観光客を誘致すること、地域の経済活性化のために観光業を推し進めることは重要であり、本市にとって、「観光」が「ものづくり」とともに、地域経済の成長を支える産業の一つとなることが観光振興を推進する背景にあります。

2．計画策定の目的・策定方法

（1） 観光振興ビジョン策定の目的

府中市観光振興ビジョンの目的
“市外や海外から多くの人々を招き、交流し、体験する、びんご府中”の実現のために「観光」を活用すること

外国人観光客が数多く我が国を訪れる中、日本の観光産業は今や国の重要な成長戦略のひとつとして位置づけられています。全国の各自治体においても、そのような追い風を掴むべく観光を活用したまちづくりが盛んに進められています。

本市に目を向けると、これまで自然や歴史、ものづくりなどの「地域資源を生かした観光産業の振興」を掲げ、観光資源のもつ魅力の一体的な情報発信や、魅力ある観光地づくりに向けて、取り組んできました。

しかしながら未だ、観光客数や観光消費額の大幅な増加といった目に見える成果につながっていない現状もあり、抜本的な戦略づくりが求められています。

府中市内には、定番の観光スポットに加え、「国府」や「天領」に代表される歴史・文化、ものづくり産業の集積、備後府中焼きなどの食文化、キャンプ場などの自然体験など、他市に引けを取らない地域の資源がたくさんあります。このような資源を活用し、市外からの誘客につながるよう吟味しながら、ターゲットを定め、磨き上げ、情報発信するとともに、観光客を温かく迎え、交流し、おもてなしをする環境づくりや推進体制づくりを総合的に進めていく必要があります。

＊ 国府 ： 奈良時代から平安時代までの間、各国を統括するために設けられた行政府。
＊ 天領 ： 幕府領（江戸幕府の直轄の領地）であった地域を表す俗称。

※ 府中市の表記について
国内の市町村には、地方自治体名として、わが府中市のほか、東京都府中市、広島県安芸郡府中町という「３つの府中」があります。
このため、他の市町との違いを明らかにし、わが府中市の魅力を際立たせていくようにするため、愛称的な表記として「びんご府中」を使い、観光プロモーションに取り組みます。

（2） 観光振興ビジョンの策定方法

観光振興ビジョンの策定にあたっては、まず現状を分析します。様々なオープンデータを活用したほか、府中市内外で観光の現状を独自に調査・分析し、定量的なデータを取得しました。これらのデータを活用し、外部環境及び内部環境の分析を実施し、府中市における観光の現状を正しく理解することに努めました。

また、観光振興ビジョン策定委員会、観光振興ビジョンワーキンググループ、市民の参加によるワークショップ（＝意見交換会及び勉強会）、市民インタビューを実施し、府中市の観光に関する現状・課題について、専門家・観光従事者・市民などから幅広く意見を伺い、ビジョンに反映しました。

３．計画期間

観光は、観光客におけるニーズ・トレンドの変化に加え、大規模イベント開催、経済の変動、自然災害や気候変動、戦争・紛争の発生など、外部環境や社会情勢から影響を受けやすいことから、このビジョンについては、令和２(2020)年度から令和６(2024)年度までの５か年という、比較的短期での計画期間としています。

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

なお、令和元(2019)年末から新型コロナウイルスの感染が拡大し、観光はもとより、住民生活や経済活動など、様々な領域に影響が出ており、先が見通せない状況にあるため、今後、国内外での動向を含めた状況の変化に対応すべく、期間の中途にかかわらず、計画を見直していく必要があります。

図表６：計画期間

令和元 (2019)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度
計画策定					（次期計画策定）
	計画１年目	計画2年目	計画３年目	計画４年目	計画５年目

第２章

外　部　環　境　に　つ　い　て

１．世界の観光の現状

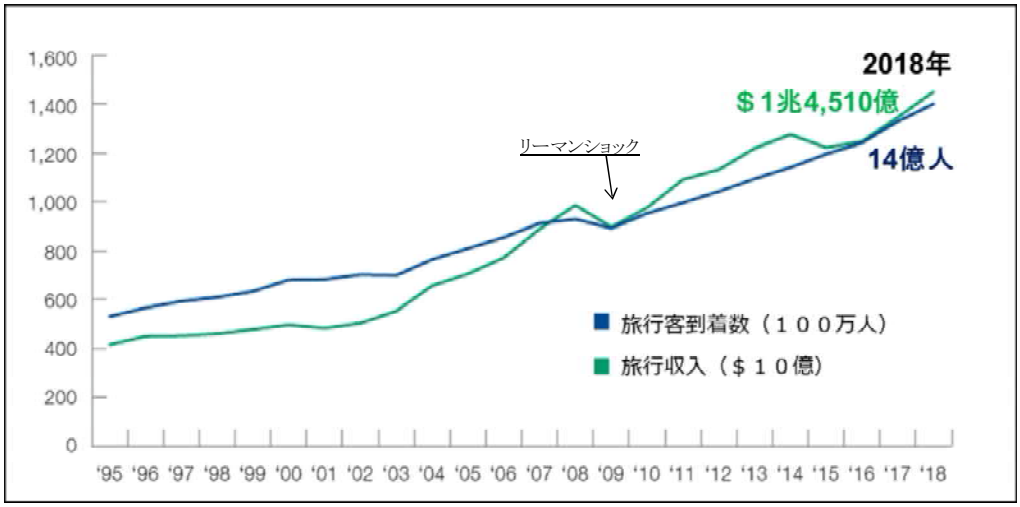
（１）国際旅行客到着数と旅行収入の推移

過去 20 年以上の全世界における「国際旅行客到着数」と「旅行収入の合計額」の推移を見ると、いずれも右肩上がりで上昇しています。平成 7(1995)年と平成 30(2018)年を比較すると、旅行客到着数で 2 倍以上、旅行収入で 3 倍以上の伸びを示しています。

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

平成 21(2009)年は、リーマンショックの影響で一時的に旅行客数・旅行収入ともに減少していますが、その後も右肩上がりで成長したことを考えると、今回の新型コロナウイルスによる感染が収束すれば、再び上昇に転じるものと考えます。

図表 7：国際旅行客到着数と旅行収入の推移

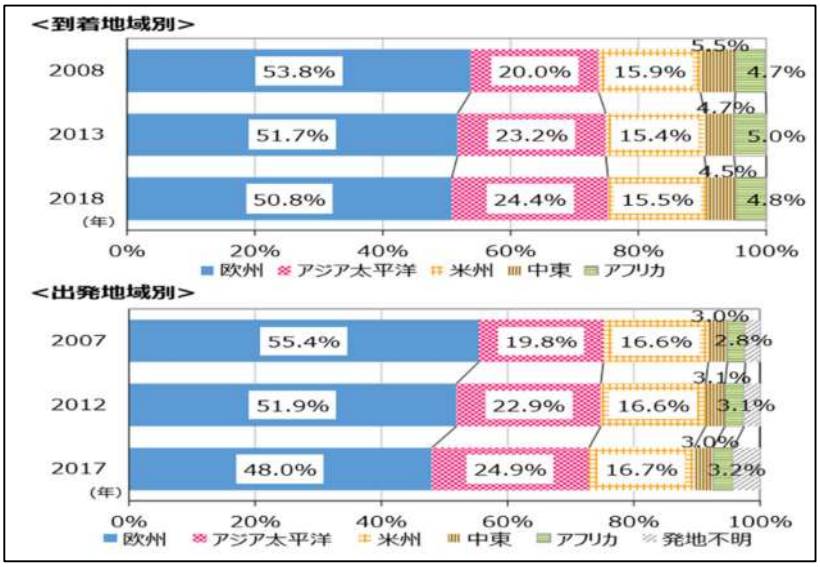


出典：国連世界観光機関（UNWTO）（一部加工）

（２）国際観光客数の地域別シェア（到着地域別／出発地域別）

国際観光客の到着地域別及び出発地域別の割合を過去 10 年で比較すると、観光客を迎え入れる地域も、国際旅行に出かける観光客の地域も、ともにアジア・太平洋エリアが伸びています。このように、私たち日本が属するアジア・太平洋エリアでは国際観光が成長しており、今後も成長が期待できるものと考えます。

図表 8：国際観光客数の地域別シェア（到着地域別／出発地域別）

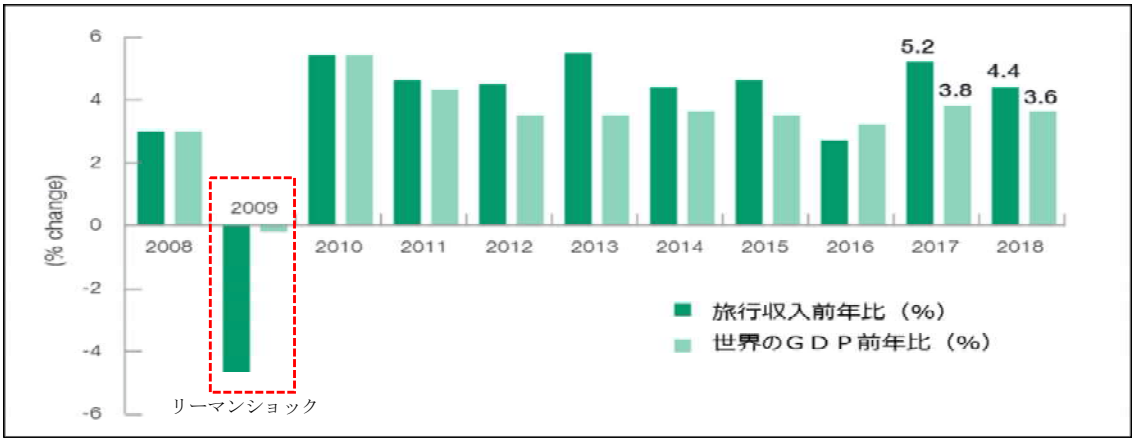


出典：国連世界観光機関（UNWTO）（一部加工）

（３）世界の旅行収入と世界の GDP

世界の旅行収入と、世界のＧＤＰについて、過去 10 年間でのそれぞれの前年比伸び率を見ると、若干の逆転が見られる年もありますが、多くの年でＧＤＰの伸び率よりも旅行収入の伸び率の方が高くなっています。このように観光業は、世界経済よりも成長率が高いことから、他の産業よりも成長している産業と言えます。

図表 9：世界の旅行収入と世界の GDP の前年比伸び率(%)の推移



出典：国連世界観光機関（UNWTO）（一部加工）

２．日本の観光の現状

（１）日本人の国内宿泊観光旅行における年間回数及び宿泊数の推移

平成 30(2018)年における、日本人１人当たりの観光を目的にする国内宿泊旅行は、年間の旅行回数が前年比 0.11 ポイント減の 1.30 回、年間宿泊数が 0.16 ポイント減の 2.14 泊と、いずれも微減しました。また、この旅行回数及び宿泊数について、これまで７年間の推移を見ると、いずれも横ばいの傾向にあります。

図表 10：日本人国内宿泊観光旅行の一人当たりの年間回数・宿泊数の推移

出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

（２）日本人の国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移

平成 30(2018)年に日本人が国内旅行に行った延べ人数は、宿泊旅行で２億 9,105 万人、日帰り旅行で２億 7,073 万人となり、前年に比べて大きく減少しています。

これは、西日本を中心とした豪雨、大阪府や北海道での地震など、大規模な自然災害が起こったことで旅行需要が減少したためと考えられます。

図表 11：日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移

出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

（３）日本人の国内旅行消費額

日本人の国内旅行消費額は、平成 26(2014)年以降微増が続いていましたが、平成 30(2018)年には宿泊旅行及び日帰り旅行ともに減少し、国内旅行全体で 20.5 兆円（前年比 3.0%減）となっています。

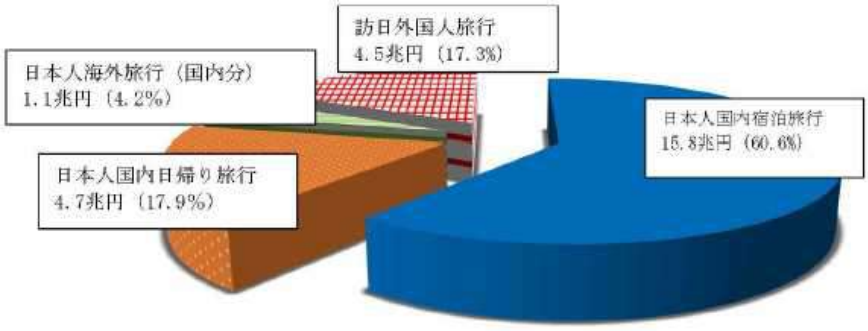
図表 12：日本人国内旅行消費額の推移

出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

（４）国内旅行消費額

平成 30(2018)年における訪日外国人旅行者も含めた日本国内における旅行消費額は、総額で 26.1 兆円に上りました。このうち、訪日外国人旅行者による旅行消費額は 4.5 兆円となり、2 年連続で全体の 15%以上を占めています。

図表 13：国内旅行消費額（2018 年）



出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

また、過去 7 年間における国内での旅行消費額の推移を見ても、外国人旅行者による旅行消費額が、直近では伸び率は鈍化しているものの、大きく増加しています。

図表 14：国内旅行消費額の推移

（兆円）

	2012年	13	14	15	16	17	18
日本人国内宿泊旅行	15.0	15.4	13.9	15.8	16.0	16.1	15.8
日本人国内日帰り旅行	4.4	4.8	4.5	4.6	4.9	5.0	4.7
日本人海外旅行（国内分）	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1	1.2	1.1
訪日外国人旅行	1.1	1.4	2.0	3.5	3.7	4.4	4.5
合計	21.8	22.8	21.6	24.8	25.8	26.7	26.1

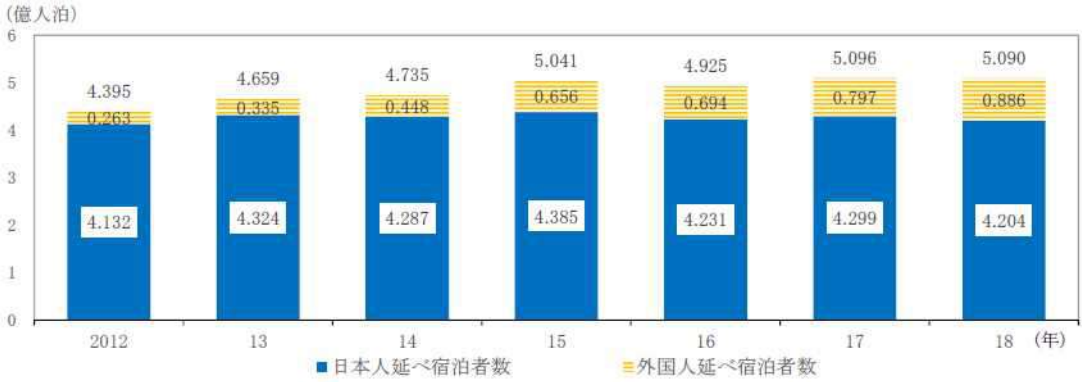
出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

（５）日本人・外国人の延べ宿泊者数

日本国内の宿泊施設における延べ宿泊者数は、平成 30(2018)年は 5 億 902 万人泊で前年比 0.1%減でした。そのうち、日本人の延べ宿泊者数は 4 億 2,043 万人泊で、前年比 2.2%の減となりましたが、外国人延べ宿泊者数は 8,859 万人泊で、11.2%も増加しました。

このように、旅行消費額と同様に、国内での外国人旅行者の存在感が増してきています。

図表 15：日本人・外国人の延べ宿泊者数の推移



出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

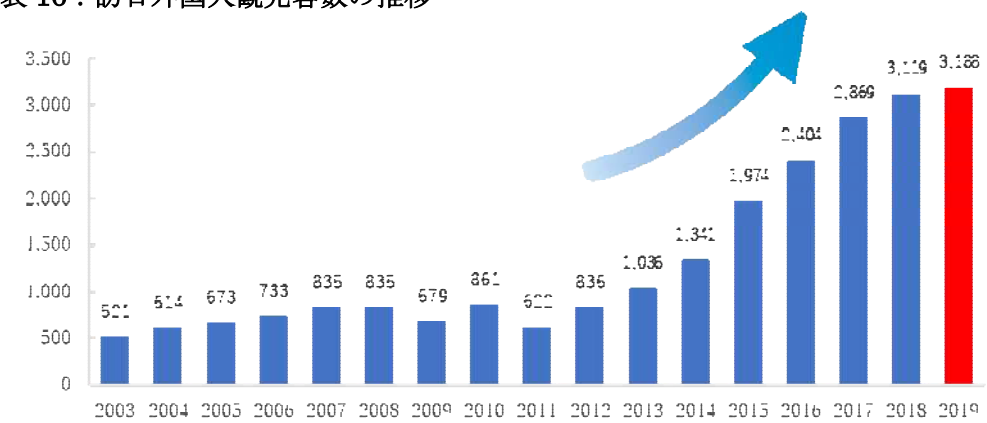
（６）訪日外国人観光客数の推移

我が国を訪れる外国人観光客は、平成 30(2018)年に初めて 3,000 万人を突破し、令和元(2019)年には前年に比べ 2.2%増の 3,188 万人となり、過去最高を記録しました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

なお、令和 2(2020)年 2 月における訪日外国人観光客数は、前年同月比で 58.3%減の約 108 万人と、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大きく減少しています。

図表 16：訪日外国人観光客数の推移



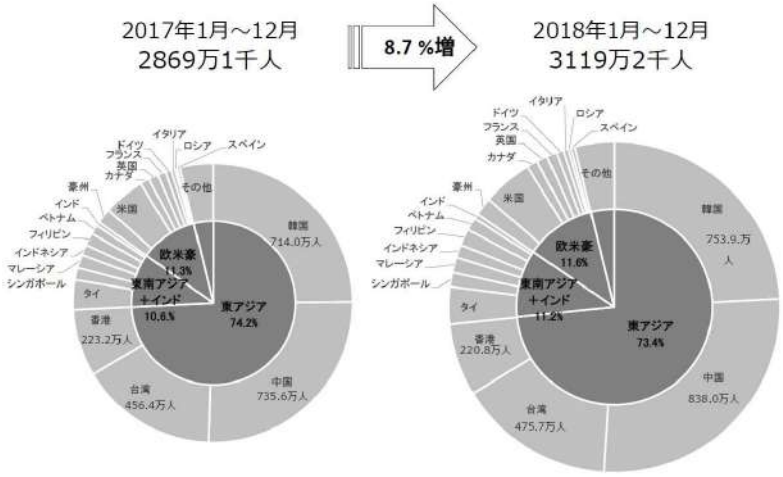
出典：観光庁「観光白書　令和元年版」

（7）訪日外国人旅行者の国・地域別内訳

我が国を訪れる外国人旅行者について、平成 30(2018)年での国・地域ごとの内訳を見ると、中国、韓国で半分以上となっています。これに台湾・香港を加えた東アジアでは、全体の約 73%を占めています。

なお、韓国について、令和元(2019)年は、日韓関係の冷え込みの影響を受けて、前年比 558 万 4,600 人（約 26%）の減と、大幅な減少となりました。

図表 17：平成 30（2018）年　訪日外国人旅行者数の国・地域別内訳



出典：日本政府観光局（JNTO）

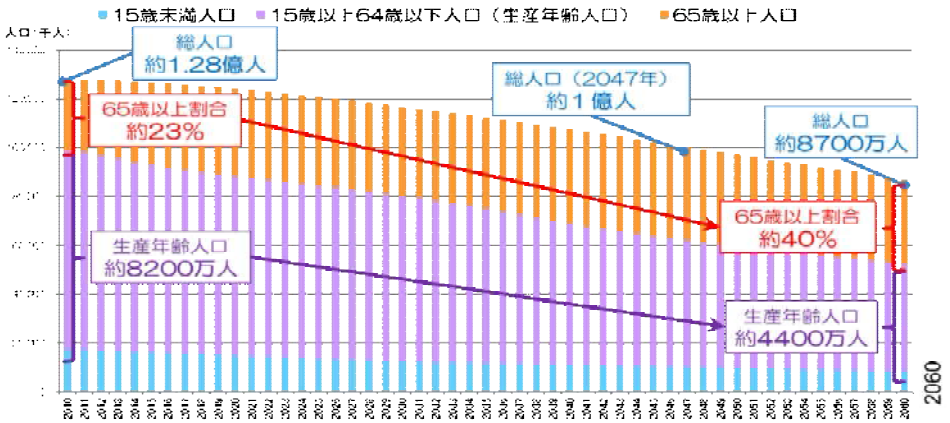
（8）インバウンドの今後の行方

インバウンドについては、海外での政治的リスク、紛争・疫病によるリスクなど、様々な外的要因により影響されます。

我が国における将来人口については、令和 42(2060)年には総人口が 8,700 万人まで減少し、総人口に占める 65 歳以上の割合が約 40%まで増加する反面、生産年齢人口は平成 22(2010)年と比べて半分近くにまで減少することが予測されています。

このため、これまでの大きな動きとしては訪日外国人観光客を狙うことが合理的ですが、日本人の国内旅行ニーズに向けた観光地づくりも併せて推進することが、インバウンドが抱えるリスクへの分散に繋がると考えられます。

図表 18：日本の人口予測の推移

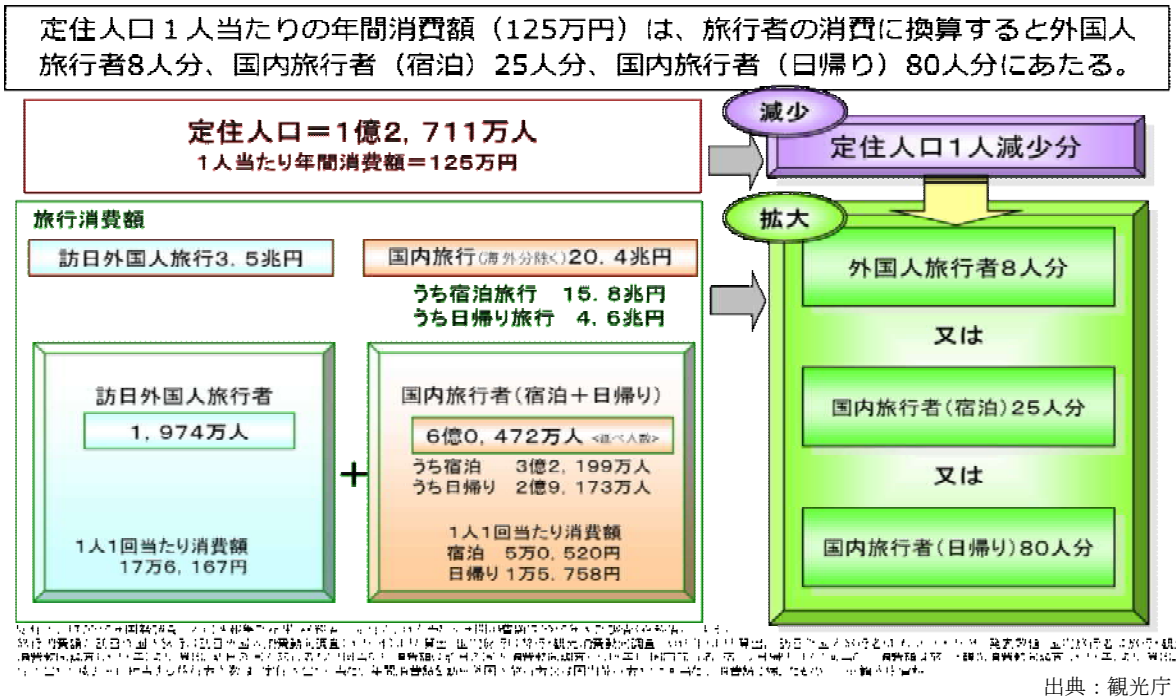


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（中位推計）

（9）定住人口と交流人口の関係性

今後、人口減少による経済活動の縮小が懸念されます。国土交通省では、定住人口が１人減ることで地域における年間の消費額が約 125 万円減ることが試算されており、地域経済に大きな影響を与えることになります。そこで、この消費額の減少を観光客など外から来訪する人との経済活動で埋め合わせようというのが、定住人口の減少を交流人口で賄うという考え方です。

図表 19：定住人口と交流人口の消費額の比較



出典：観光庁

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

現状では、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、東京オリンピック・パラリンピックの延期など、大きな試練を強いられていますが、長い目で見て、観光を活用し、日本経済を活性化させようという考え方に変わりはなく、感染の収束後も観光立国を目指し、多くの自治体おいて観光振興を進めていくものと考えられます。

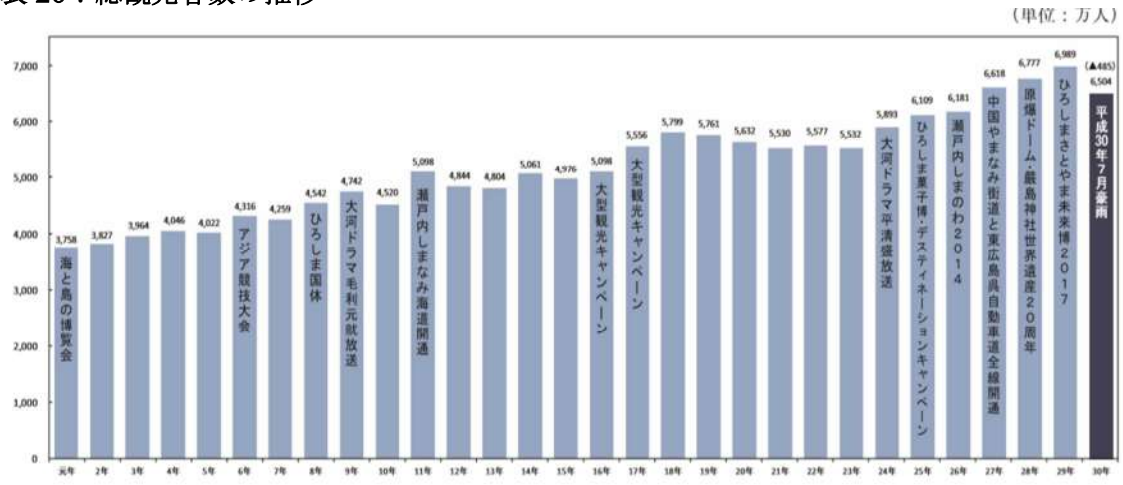
３．広島県の観光の現状

広島県では、平成 19(2007)年に「ひろしま観光立県推進基本条例」が施行され、観光を「地域における雇用の増大と地域経済の活性化に寄与し、県民生活の安定向上に貢献するもの」と位置付け、観光立県の実現に向けて、県、市町、県民、観光事業者、観光関係団体等が協働して観光施策を総合的かつ計画的に推進することを目指しています。

（１）総観光客数の推移

総観光客数は、平成 29（2017）年に 6,989 万人と 6 年連続で過去最高を更新しましたが、平成 30(2018)年は 7 月豪雨や台風などの自然災害の影響もあり 6,504 万人と、平成 23(2011)年以来 7 年ぶりに対前年を下回りました。

図表 20：総観光客数の推移



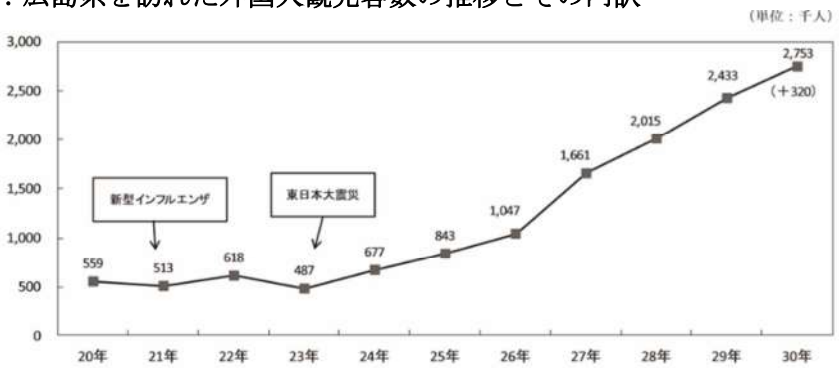
出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

（２）外国人観光客数の推移と国別内訳

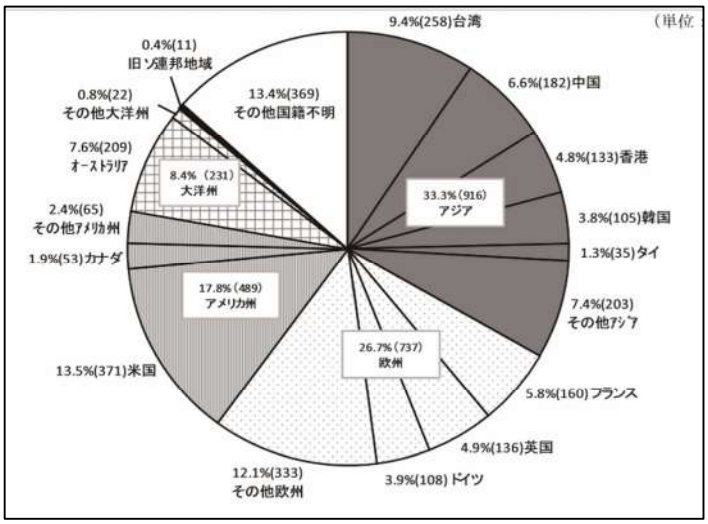
平成 30(2018)年に広島県を訪れた外国人観光客数は、2,753 千人と、豪雨災害等の自然災害があったにもかかわらず、7 年連続して過去最高を更新しました。

国籍別では、米国が最も多く、次いで台湾、オーストラリアの順となっており、アジア圏からの観光客が多くを占める他県とは異なり、欧米豪からの観光客が多いという特色があります。

図表 21：広島県を訪れた外国人観光客数の推移とその内訳



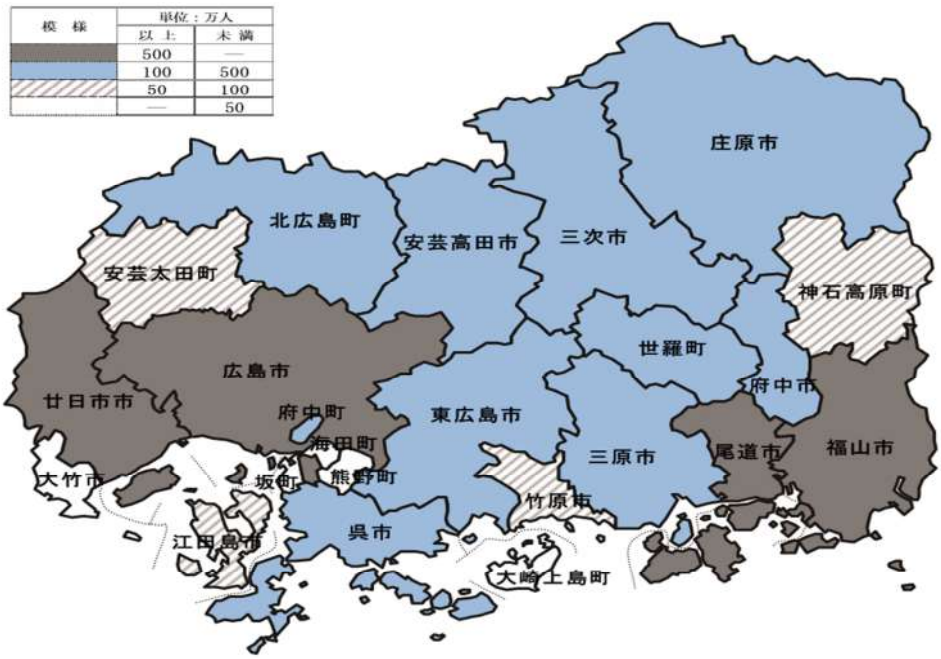
出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」



（３）広島県内の市町別観光客数の動向

広島県内の市町ごとでの観光客数を見ると、広島市、廿日市市、福山市、尾道市は年間の観光客数が 500 万人を超えて多くの観光客を集客していますが、その他の地域は 500 万人未満となっており、県内各市町で観光客数に偏りがあります。

図表 22：広島県内市町別観光客数の状況

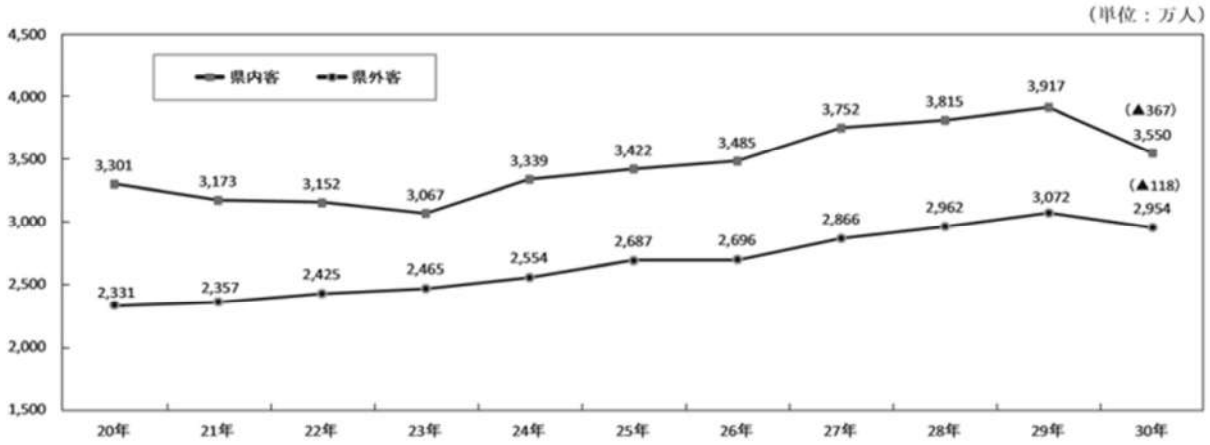


出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

（４）県内・県外別観光客数の動向

県内・県外別観光客数の推移を見ると、平成 30(2018)年の広島県全体での県内観光客と県外観光客の割合は 55%対 45%となっており、ほぼ半々となっています。この傾向は過去の推移を見ても大きく変わっていません。

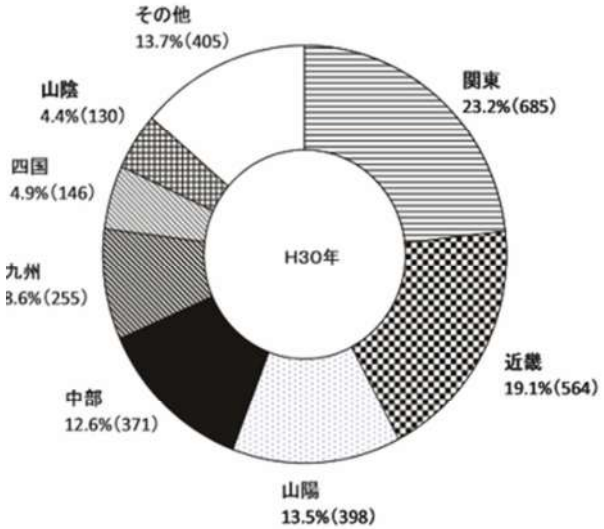
図表 23：県内・県外別観光客数の推移



出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

なお、県外観光客数の発地別割合を見ると、関東、近畿からの観光客が多く、この２つのエリアで全体の４割を超えています。

図表 24：県外別観光客の発地別状況

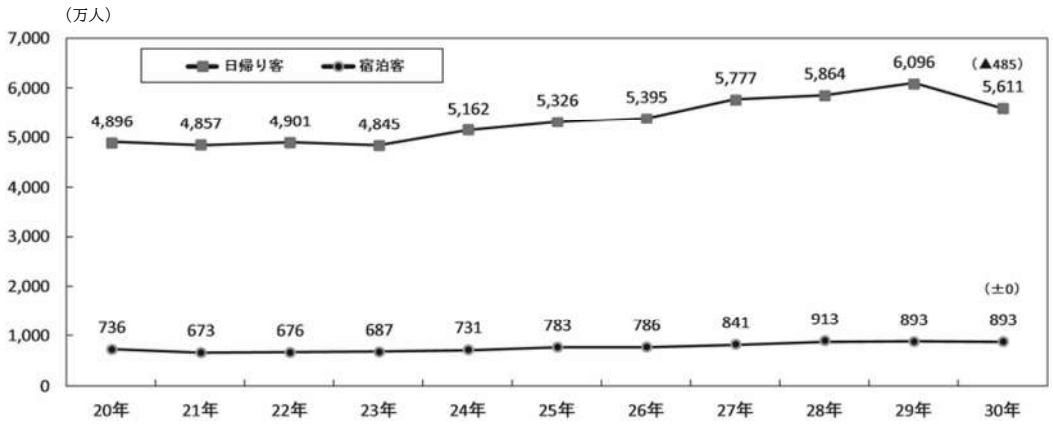


出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

（５）広島県の総観光客数における日帰り・宿泊別動向

広島県を訪問する観光客は、宿泊客よりも日帰り客が多く、全体の９割近くが日帰り客となっています。平成 30(2018)年では、日帰り客数が 485 万人減少しましたが、それでも全体の 86%程度を占めています。

図表 25：日帰り・宿泊別観光客数の推移



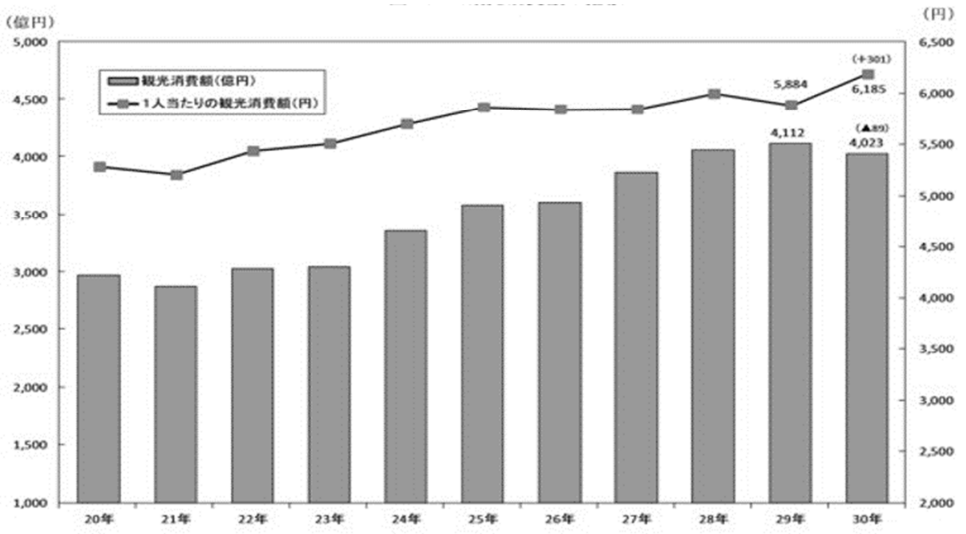
平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

（６）観光消費額の推移

広島県の観光消費額は、平成 30(2018)年では前年比 2.2%減の 4,023 億円となりましたが、長期的には増加傾向にあります。

一方、一人当たりの観光消費額は、平成 30(2018)年では 6,185 円(前年比 5.1%増)と、この 10 年間では最も高い金額となっています。

図表 26：広島県の観光消費額の推移



平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

第３章

内　部　環　境　に　つ　い　て

1．府中市の観光の現状

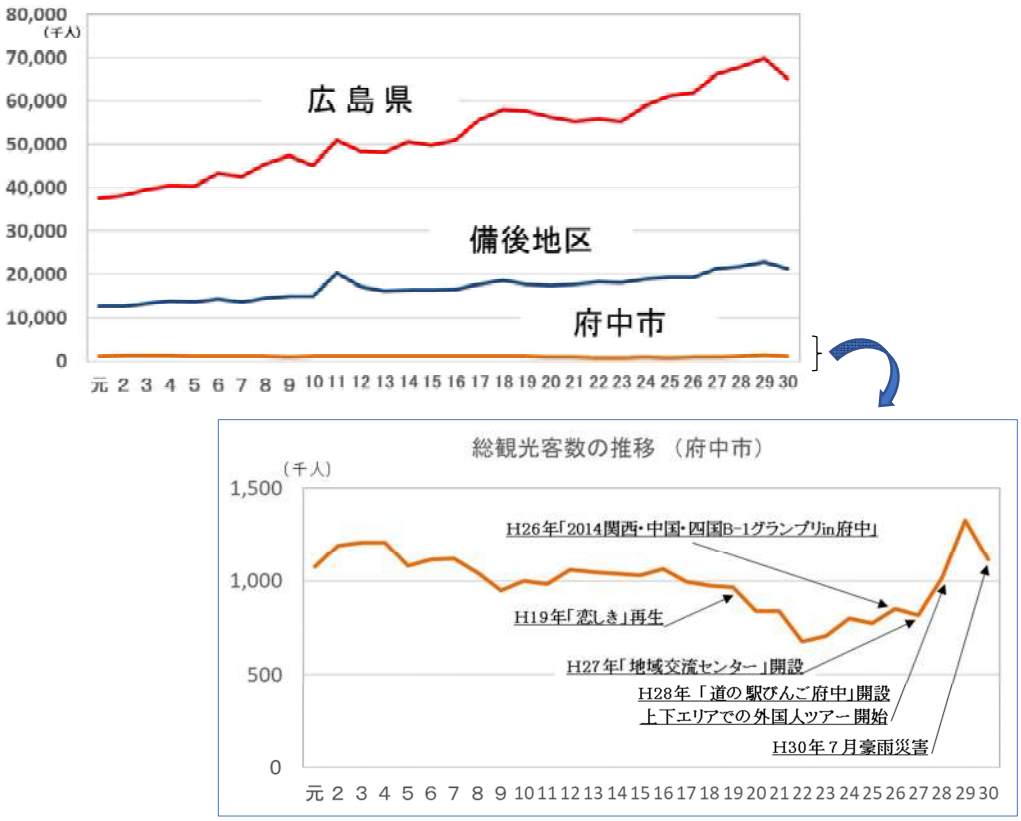
（1） オープンデータ調査からわかること

① 府中市の総観光客数

府中市を訪れる総観光客数は、短期的には平成 30(2018)年 7 月豪雨災害等で減少した年もありますが、道の駅の開業などで近年は増加傾向にあります。

ただ、長期的に見れば、県全体や備後地区では右肩上がりである一方で、府中市では 100 万人を挟んで推移しています。

図表 27：総観光客数の推移（府中市・備後地区・広島県）



（単位：千人）

市町名 ／ 平成(年)		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
備後地区	三 原 市	2,139	2,197	2,361	3,124	3,381	3,222	3,546	3,777	4,515	3,909
	尾 道 市	5,849	6,180	6,223	6,229	6,330	6,412	6,747	6,749	6,801	6,395
	福 山 市	6,347	6,797	6,449	6,352	6,527	6,758	7,269	7,293	7,249	7,162
	府 中 市	**838**	**675**	**706**	**802**	**774**	**852**	**819**	**1,016**	**1,328**	**1,114**
	世 羅 町	1,906	1,890	1,797	1,698	1,631	1,540	2,272	2,265	2,192	2,108
	神石高原町	669	561	466	660	570	486	742	732	742	710
小 計		17,748	18,300	18,002	18,865	19,213	19,270	21,395	21,832	22,827	21,398
広 島 県 計		55,302	55,766	55,322	58,932	61,089	61,810	66,176	67,773	69,894	65,041

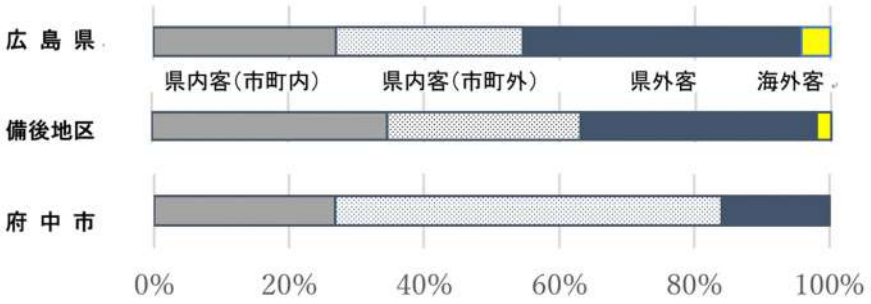
出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

② 府中市における発地別の観光客数

府中市を訪れる観光客は、府中市内を含め県内からの者が８割以上を占めており、広島県全体と比べ、県外客の割合が低く、府中市民および福山など近隣からの来訪頼みとなっていることが伺えます。

特に、府中市を訪れる外国人観光客は１千人未満のため、総観光客数全体の 1%にも満たず、近年急増しているインバウンド需要を取り込めていない状況にあります。

図表 28：発地別総観光客数の割合（広島県・備後地区・府中市）



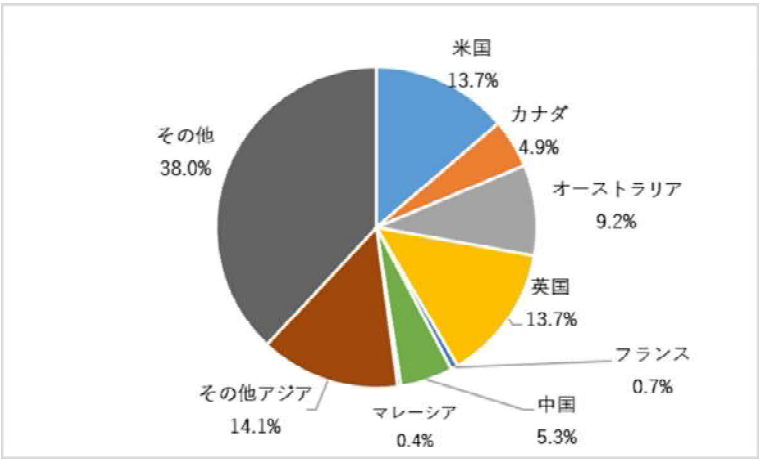
出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」（一部加工）

③　府中市を訪れる外国人観光客の状況

平成 30(2018)年に府中市を訪問した外国人観光客は 284 人で、隣接する尾道市は約 33 万 2 千人、福山市は 8 万 8 千人、世羅町も約 7 千人の外国人観光客が訪問していることからも、本市においても、まだまだ伸ばせる余地があると考えられます。

なお、本市を訪れた外国人観光客の国籍・地域別の内訳を見ると、米国・英国（ともに 13.7%）、オーストラリア（9.2%）、カナダ（4.9%）、フランス（0.7%）で４割以上を占め、欧米豪の割合が高くなっています。

図表 29：府中市を訪れる外国人観光客（国籍・地域別）



出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」（一部加工）

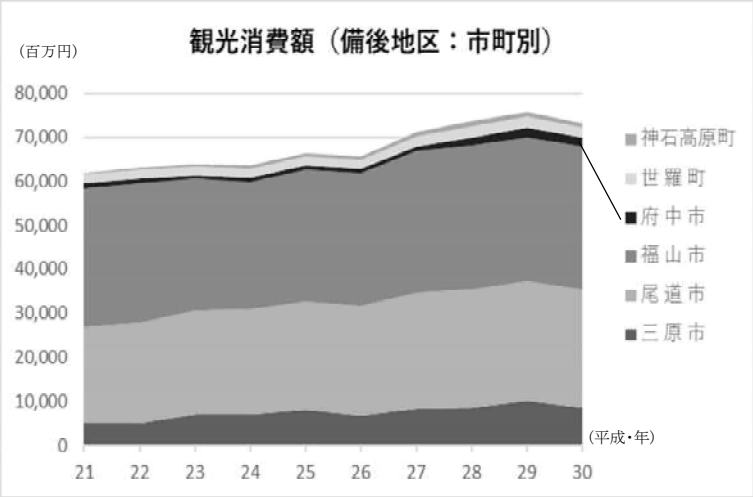
④ 府中市の観光消費額

府中市における観光消費額は、年々増加傾向にあるものの、備後地区（４市２町）の中で、福山市、尾道市などの金額と比べると、大きな隔たりがあります。

また、観光客一人当たりでの消費額は、これも年々増加する傾向にありますが、備後地区全体での金額と比べると半分程度です。

図表 30：観光消費額の推移

① 観光消費額（総額）

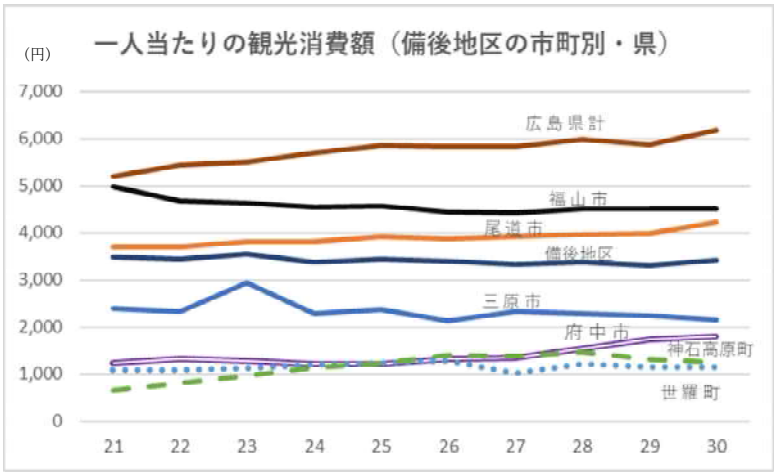


［平成 30 年］各市町別 観光消費額

（単位：百万円）

広島県計		402,266
備後地区		73,142
備後地区	神石高原町	885
備後地区	世羅町	2,431
備後地区	**府中市**	**1,998**
備後地区	福山市	32,301
備後地区	尾道市	27,050
備後地区	三原市	8,477

② 一人当たりの観光消費額



［平成 30 年］各市町別
一人当たりの観光消費額

（単位：円）

広島県計		6,185
備後地区		3,418
備後地区	福山市	4,510
備後地区	尾道市	4,230
備後地区	三原市	2,169
備後地区	**府中市**	**1,794**
備後地区	神石高原町	1,246
備後地区	世羅町	1,153

出典：（各年）「広島県観光客数の動向」

（2） ビジョン策定に当たってのアンケート調査

観光振興ビジョンの策定に当たり、府中市内、府中市外の広島県内、東京都内の 3 か所で、観光客を対象にしたアンケート調査を実施しました。これによりオープンデータではわからない観光客におけるニーズや、本市の観光資源に対する評価を把握しました。

【各調査の実施概要】

	① 府中市内	② 広島県内	③ 東京都内
調査日	令和元(2019)年 10 月 20 日 11 月 11 日	令和元(2019)年 11 月 5 日 11 月 7 日	令和元(2019)年 12 月 14 日
調査実施場所	上下町商店街（10/20） 三郎の滝（11/11）	福山駅（11/5） 広島駅（11/6） 広島空港（11/7）	ひろしまブランドショップ TAU (東京都中央区銀座)
有効回答数	121 件	188 件	50 件
住まい	府中市内 34% 府中市外(県内) 54% 広島県外 12%	府中市内 4% 府中市外(県内) 51% 広島県外 44% 海外 1%	東京都内 22% 東京都外(国内) 38% 海外 40%
年齢	10 代 3% 20 代 12% 30 代 9% 40 代 17% 50 代 12% 60 代 27% 70 代 17% 80 代以上 3%	10 代 11% 20 代 10% 30 代 10% 40 代 12% 50 代 22% 60 代 18% 70 代 13% 80 代以上 4%	10 代 0% 20 代 28% 30 代 28% 40 代 20% 50 代 10% 60 代 8% 70 代 6% 80 代以上 0%
性別	男性 40%　女性 60%	男性 57%　女性 43%	男性 38%　女性 62%
調査方法	対面式アンケート調査	対面式アンケート調査	対面式アンケート調査

① 府中市内を訪れる観光客へのアンケート調査

府中市への訪問頻度 **（市外からの来訪者）**	**市外から複数回、訪問したことのある層が 8 割以上おり、リピーターが多く占める傾向にある。** ◆「3 回以上」 68.8%　「2 回」 15.0% 「はじめて」 16.3%
旅行形態	**府中市への旅行は家族、友人・知人、一人旅が主流であり、いわゆる個人型旅行者が多い** ◆ 訪問人数:「1 人」15.7%、「2 人」47.1%、「3 人」22.3% ◆ 同伴者:「配偶者」33.1%、「家族・親戚」27.3%、「友人・知人」20.7%
府中市までの交通手段	**多くの来訪者は車を利用** ◆「自家用車」 77.7% 「レンタカー」 4.1%
滞在時間・宿泊 **（市外からの来訪者）**	**半日以内の滞在が過半数と、全体的に滞在時間は短い傾向で、宿泊もわずか** ◆「1 時間以内」 13.8%　「2 時間以内」 42.5% 「半日以内」 31.3% 「宿泊」 3.8%
市内での立ち寄り先 **（市外からの来訪者）**	**調査地点以外での立ち寄り先は無いと答える者が大半で、市内を回遊している様子が見られない** ◆「市内で立ち寄った場所あり」 17.5% 「立ち寄った場所はない」 71.3% ◆「市内で他の場所に行く予定あり」 13.8%　「立ち寄る予定はない」 71.3%
府中市内での消費額	**市内での消費額が少なく、全く使わなかった層も約 3 割いる** ◆「2,000 円未満」36.4%　「使わなかった」28.1%
府中市の印象	**約半数が良い印象を持っているが、「普通」が約 3 割、また「とても良い」が 2 割に満たない** ◆「とても良い」 16.5%　「良い」 46.3%　「ふつう」 27.3%

府中市の満足度	満足との回答が 7 割以上ある一方で、「どちらともいえない」との回答も 2 割以上もあり、不満もないが満足もしていない来訪者が多い ◆「とても満足」 14.0% 「満足」 56.2% 「どちらともいえない」 23.1%
府中市への再訪意向 **（市外からの来訪者）**	市外からの来訪者においては、強い再訪意向のある回答は少ない ◆「とても訪問したい」 12.5% 「訪問したい」 65.1% 「わからない」 21.3%
府中市の推奨意向	他の人に府中市観光を勧めたいかを尋ねるが、強い推奨意向を持つ人は少なく、「どちらでもない」との回答が約 3 割を占める ◆「とても勧めたい」13.2% 「勧めたい」53.7% 「どちらでもない」29.8%

② 広島県内を訪れる観光客へのアンケート調査

府中市の認知度 （市外居住者）	県外の観光客における府中市の認知度は低いもの、一定の認知はある ◆「知っている」 36.5% 「知らない」 63.5%
府中市への訪問予定 （市外居住者）	県内の主要な交通機関の玄関口から、府中市に訪れる人は少数 ◆「ある」 16.2% 「ない」 54.1%、「わからない」 29.7%
府中市で興味あるもの	「ものづくり」や「食」に関するものが、潜在的な観光客にとって魅力となる可能性 ◆「府中家具」、「備後府中焼き」、「府中味噌」が、興味あるものの上位
府中市への訪問意向 （府中市を知っている者）	訪問意向は、積極的・消極的な意見が半々であった ◆「訪れたい」49.6% 「訪れたくない」49.6%
府中市への訪問歴 （府中市を知る市外居住者）	6割以上が過去に訪問したことがあり、半数近くがリピーター ◆「1 回」 18.9% 「2 回」 6.3% 「3 回以上」41.4% 「訪問したことがない」33.3%
府中市への訪問目的 （府中市を訪れた市外居住者）	観光以外に、ビジネスでの訪問目的も多い ◆「観光」 31.1% 「ビジネス」 25.7%
府中市観光での訪問場所 （府中市を訪れた市外居住者）	「三郎の滝」、「首無地蔵」、「道の駅びんご府中」、「上下白壁の町並み」が上位の一方、興味関心が高かった「ものづくり関係」を挙げる回答は少ない
府中市での滞在時間 （府中市を訪れた市外居住者）	半日以内の滞在が 7 割以上であり、滞在時間は短い傾向 ◆「半日以内」 44.6% 「2 時間以内」 16.2%
府中市までの交通手段 （府中市を訪れた市外居住者）	車での来訪が多い。JR 利用もあり ◆「自家用車」 70.3% 「JR」 20.3%
府中市の満足度 （府中市を訪れたことのある者）	「どちらともいえない」が「満足」を上回るなど、満足度は低い ◆「とても満足」 9.8%「満足」 41.5%「どちらともいえない」 43.9%
府中市の再訪意向 （府中市を訪れた市外居住者）	「わからない」が「訪問したい」を上回るなど、再訪意欲は低い ◆「とても再訪したい」 9.5%、「訪問したい」 43.9% 「わからない」 45.9%
府中市の推奨度 （府中市を訪れたことのある者）	「とても勧めたい」が低位に留まる一方で、「どちらでもない」が高く、全般的に推奨度は低い ◆「とても勧めたい」 6.1% 「勧めたい」 37.8% 「どちらでもない」 52.4%

③ 東京都内の観光客へのアンケート調査

府中市の認知度	東京都内の観光客の大半は、広島県府中市を知らない ◆「知っている」 12.0% 「知らない」 88.0%
府中市への観光での訪問意向 （府中市を知っている人 ・府中市を知らない人）	府中市を知っている人は「訪問したい」という回答が多い一方で、知らない人では「どちらでもない」という回答が多い ◆[知っている人]「訪問したい」 83.3% 「わからない」0.0% 「そう思わない」 16.7% ◆[知らない人] 「訪問したい」 52.3% 「どちらでもない」38.6% 「そう思わない」9.1%

2．府中市の観光資源・地域資源の整理

府中市内には、定番の観光スポットのほかにも、歴史・文化、自然・キャンプ場、神社・仏閣、ものづくり産業集積など、活用次第では更なる誘客の可能性を持つ地域資源がたくさんあります。ここでは、ジャンル別に代表的な観光資源、地域資源を整理します。

◆最近の府中市・府中市観光協会による観光ポスター

備後府中焼き、府中こどもの国ポムポム、三郎の滝、上下白壁の町並み、アンガールズ
（令和元年度掲示）

備後国府跡、上下白壁の町並み、天領上下ひなまつり、あやめ、手筒花火、タンスリレー、備後府中焼き、三郎の滝、アンガールズ　（平成 30 年度掲示）

備後国府跡、恋しき、上下白壁の町並み、手筒花火、三郎の滝、あやめ
（平成 29 年度掲示）

（1） 代表的な観光資源

① 歴史的建造物等

府中市内には、歴史的建造物や、歴史を物語る古い町並み・家屋などが多数残っています。

○ 主な文化財

国登録 有形文化財	恋しき 【府中地区(府中町)】	明治5(1872)年創業、三階建ての母屋をはじめ、本格的な日本庭園を備えた、備後地方随一の割烹旅館。多くの文人墨客に愛された。平成 2(1990)年廃業後、平成 19(2007)年に複合施設として再開した。
	延藤家住宅洋館・和館 (洞仙荘) 【府中地区(出口町)】	昭和6(1931)年、南に面する傾斜地に別荘施設として建築された木造二階建て。和館部とその玄関脇に建つ応接用の洋館部からなる。(非公開)
	上下町商工会館 【上下地区(上下)】	昭和5(1930)年、上下警察署庁舎として建築された木造二階建、寄棟造(よりむねづくり)鉄板葺の洋風建物。上下商工会が利用。
	翁座 【上下地区(上下)】 (令和２年に登録予定)	大正時代に建てられ、集会や芝居・映画の上演などが行われる劇場として賑わっていた。当時の面影をとどめる木造建築物としては、県下唯一のものである。終戦当時には、高田浩吉、鶴田浩二らも出演。
市指定 重要有形文化財	府中市歴史民俗資料館 【府中地区(土生町)】	明治 36(1903)年竣工の旧芦品郡役所庁舎を利用した資料館で、府中市の歴史を解説している。 1階は府中市名の由来にもなっている「備後国府」の関連資料を多く常設展示し、国府の時代の復元衣装が彩を添えている。

※その他の国登録文化財：桑田家住宅【府中地区(本山町)】、旧片野製パン所【上下地区(上下)】

○ レトロな町並み

石州街道出口通り 【府中地区(出口町)】	石見銀山に続く石州街道は、上下から山道を抜けると府中の町並みに到着する。そこが石州街道出口通りである。町並みには、古い商家などが点在し、間口の広い平入り、むくり屋根、うだつ、虫篭窓など当時の繁栄の跡がうかがえる。
白壁の町並み 【上下地区（上下)】	上下町には江戸時代、幕府の代官所が置かれ、「天領」として栄えた歴史を持ち、この地方の政治的経済的な中心地であった。特に現商店街は、当時、様々な店が軒を連ね、賑わいを見せていた。現在でもそのころの威容を偲ばせる土蔵や町屋が並び、また、白壁やなまこ壁、格子窓といった歴史的景観が、ロマンをかきたてる通りとなっている。

○ その他、代表的な建築物

上下キリスト教会 【上下地区（上下)】	明治時代、当時の財閥・角倉家の蔵として建築されたもの。戦後は、上下キリスト教会として利用されている。広島県文化百選選定建築物でもあり、上下のシンボル的建物の一つである。
府中市上下歴史文化資料館 （旧岡田邸） 【上下地区（上下)】	上下出身の作家・岡田美知代の生家を改築した建物で、軒先などに昔の面影が残っている。展示内容は、上下の歴史と、岡田美知代の生涯にスポットをあてた展示のほか、上下の民話を紹介したコーナーを設けている。上下の白壁の町並みの観光拠点であり、観光案内所として上下の魅力を発信している。

② レジャー

府中市内には、春は花見、夏はキャンプ・野外コンサート、秋は紅葉狩り・ハイキング・ウォーキング・パークゴルフなど、家族やグループで楽しめるアウトドアスポットがたくさんあります。

三郎の滝 【府中地区(三郎丸町)】	国内でも珍しい天然のすべり滝（ウォータースライダー）で、長さ約 30mに渡る滑らかな奇岩の間を清流に乗って滝つぼに飛び込む爽快な体験ができる。秋の紅葉も見どころ。休憩施設・龍王荘にて、バーベキューも楽しめる（要予約)。
羽高湖 森林公園 【府中地区(諸毛町)】	美しい人工湖・羽高湖を中心に、野外ステージ・キャンプ場・テニスコートや自然遊歩道などを備えた、季節を通して家族で楽しめる自然の遊園地。近年のキャンプブームで、県外からも数多くのキャンパーが訪れる人気スポット。車で近隣市町の温浴施設等を利用することもできる。
河佐峡 【府中地区(諸毛町)】	自然の淵と景観に恵まれた河佐峡では、芦田川上流域での川遊びに加え、ウォータースライダー・キャンプ場・パークゴルフ場などを完備しており、夏休みを中心に多くの家族連れや若者で賑わう。日中は、徒歩や自転車を使い、エレベータに乗って八田原ダムに行くこともできる。
矢野温泉公園 四季の里 【上下地区（矢野)】	オートキャンプ場や、木工などの体験ができる「四季彩工房」を備える。例年 6 月には 10 万本の花が咲き誇る「上下あやめまつり」、10 月には「秋のかかしまつり」などのイベントを開催しており、紅葉時期にはもみじも楽しめる。

③ 自然

中国山地のなだらかな山並み、山間を流れる清流、四季折々に咲き誇る草花。四季を通して美しい自然が楽しめます。

岳山 【府中地区(斗升町) ・上下地区(矢多田)】	奇岩・巨岩の山。備南の秀峰と呼ばれ、晴れた日には遠く瀬戸内海が見渡せる。登山口から頂上まで 1 時間 30 分程度で登ることができる。

市の木	さくら	3月下旬 ～4月上旬	府中公園　【府中地区（府中町）】 羽高湖　【府中地区（諸毛町）】
市の花	あじさい	6月	神宮寺　【府中地区（栗柄町）】
市民の花	さつき	5月上旬	安楽寺　【府中地区（目崎町）】
	あやめ(花しょうぶ)	6月	矢野温泉公園四季の里【上下地区（矢野）】
	かたくり	4月	宇根地区　【上下地区（宇根）】
その他	もみじ	11月	三郎の滝　【府中地区(三郎丸町)】 府中八幡神社　【府中地区(出口町)】 矢野温泉公園四季の里【上下地区（矢野）】
	大賀ハス	7月	府中公園　【府中地区（府中町）】
	バラ	5月～6月	おづかバラ園【上下地区（小塚）】

オオムラサキ （国の蝶）	「オオムラサキの里」にて、毎年7月「オオムラサキを自然に帰す集い」を開催【府中地区（僧殿町）】
つちのこ	胴の太いヘビのような未確認生物。平成元年頃に全国的な捕獲ブームが起き、旧上下町にて賞金300万円がかけられる。現在は、名前を冠したまんじゅうやマスキングテープなどが作られ、お土産物として販売。【上下地区】

④ 食（代表的なもの）

（ア）備後府中焼き

府中のお好み焼きを「府中焼き」と呼ぶようになったのは最近のことです。市民にとってお好み焼きは、子供の頃から食べ親しんできたソウルフードでした。

戦後の高度経済成長期、共働きの家庭が増えた頃、ごはん代わりに食べたのが「府中焼き」でした。現在市内には約40軒のお好み焼き屋があり、市民はそれぞれ行きつけの店を持っています。

近年、B-1グランプリ出店・開催などで、備後府中焼きは市外、県外にも知られるようになり、多くの観光客が訪れるようになりました。

◆ 備後府中焼きの特徴

脂身の多い牛や豚のミンチ肉を使って焼き上げる。中に入れる麺はミンチの脂でカリカリだけど、中はフワッとした焼き上がりという、キャベツの甘みを生かした重ね焼きのお好み焼き。

◆「2014 関西・中国・四国 B-1 グランプリ in 府中」の開催

平成26(2014)年3月に「2014関西・中国・四国 B-1グランプリ in 府中」が開催され、2日間で14万8千人が来場しました。

◆ 備後府中焼き広報大使

平成27(2015)年1月9日から「備後府中焼き広報大使」として、府中市出身の元広島カープ選手で、現在は宮崎県でお好み焼き店を経営している片岡光宏氏が任命され、府中市地域交流センターのオープニングセレモニーで就任式が行われました。

◆ 備後府中焼きマスコットキャラクター「ミンチュー」

地元の美味しいお好み焼き「備後府中焼き」を全国に広めるために生まれてきた、マスコットキャラクター。しかし今や、備後府中焼きの枠を飛び越え、観光のみならず、市内の幅広いイベントやパンフレットなどに登場する人気者となっています。

誕生日：平成23(2011)年4月8日　趣味：備後府中焼きを広めること
特技：備後府中焼きを焼くこと　性格：日々変わりやすい
出身地：広島県府中市　身長：約180センチ　体重：？？？

◆ 備後府中焼きを広める会

広島県府中市独特のお好み焼きである「備後府中焼き」を通して、府中のまちの魅力を全国に広めることを目的に、平成20(2008)年4月に設立された団体で、市内のお好み焼き店舗を紹介する「備後府中焼きMAP」を発行しています。

◆ 辛い麺のお好み焼きは、「三次唐麺」より早く提供 府中市で製造されている瀬尾製麺の唐辛子を練り込んだ「ピリ辛麺」は、平成 16(2004)年 5 月頃から府中市内のお好み焼き店で取り扱いが始まり、「辛さがクセになる」「ビールに合う」など好評を得ています。
◆ 備後府中焼きの調理体験 府中市地域交流センター「キテラスふちゅう」の南館には、備後府中焼きのお店が 2 店舗あり、このお店で備後府中焼きの調理体験ができます（要予約）。

（イ）上下ぎゅ～そば

「素材から加工まで上下産にこだわった特産品を作りたい」という思いから生まれた「上下ぎゅ~そば」。上下の自然と生産者の情熱が詰まった一杯です。

そば	標高 400mの好立地で作られた良質な上下産そば。その年に採れたものを皮ごと挽いて風味豊かに仕上げました。全粒粉そば粉と小麦粉が半分ずつの 5 割そばで、柔らかい口当たりが特徴です。
牛肉	牛肉は丹精込めて育てられた黒毛上下牛モモ肉を使用しています。肉本来の旨味が引き立つよう軽く煮て薄味に仕上げ、上下牛の美味しさを味わっていただけます。
つゆ	鰹節「本枯れ節」とさば節をたっぷり使い、本醸造しょうゆにみりんを加え、風味豊かで味わい深いつゆに仕上げています。

⑤ 矢野温泉

矢野盆地の水を集めて東流し、矢多田川に合流している湯川の河岸に湧き出している矢野温泉は、古くから開けており、伝承では鎌倉時代初期の建仁年間（1201～1204 年）に、諸国をめぐっていた豊成法師によって発見されたとされている。現在、湧泉地裏の丘の上に豊成法師を祀る薬師堂が建てられている。

この温泉地は、水温 28 度、ＰH8.6 度（アルカリ性）、ラドン含有量 10.86 マッヘ、含有成分はカリウム、ナトリウム、カルシウム、マグネシウムなどを含む放射線泉である。

湧泉地は花崗岩で、地殻内部のマグマ溜りから花崗岩の節理や裂け目などを通って湧き出している。

県内の温泉地として有数であるものの、これまで多くの観光客が訪れていた温泉施設は、現在休業中となっている。

⑥ イベント

年間を通じて、地域団体や寺社、あるいは関係機関での実行委員会形式により、各種イベントが開催されており、このイベントが府中市での誘客を担っています。

イベント名 場　所	開催日（例年） 連絡先	内　容
備後国府さくらまつり 府中公園	4月上旬 備後国府さくらまつり実行委員会事務局	桜の鑑賞や時代衣装体験、ステージイベント、屋台など
府中市花祭り 府中市街	4月上旬 慶照寺	稚児行列など
宇根かたくりまつり 宇根かたくりの里	4月上旬 宇根かたくりの里代表	かたくりの観賞、特産品の販売など
府中☆産業博（注:隔年開催） 文化センター、道の駅びんご府中等	5月中旬 府中商工会議所	見て、買って、食べて、体験してもらう府中の産業イベント
天領じょうげ端午の節句まつり 白壁の町並み周辺	4月下旬～5月上旬 天領じょうげ端午の節句まつり実行委員会	こいのぼりが白壁の町並みを泳ぎ、町並みに自慢の五月人形を展示
出口通り端午の節句まつり 石州街道出口通り、恋しき	4月中旬～5月上旬 石州街道出口地区まちづくり協議会	商店街に五月人形や鯉のぼりの街飾り
安楽寺さつき祭り 安楽寺	5月上旬 安楽寺	3,000 本のさつきの鑑賞、お茶席など
首無地蔵 春の大祭 首無地蔵	5月18日 首無地蔵	お菓子の接待等
おいでゃんせ祭り 石州街道出口通り	5月18日 石州街道出口地区まちづくり協議会	首無地蔵春の大祭にあわせ、フリーマーケットや抽選会など開催
ほたる祭り 夢ほたる公園	6月上旬 石州街道出口地区まちづくり協議会	太鼓、邦楽などイベント 夜店や模擬店出店
あじさい祭り 神宮寺	6月上旬～下旬 神宮寺	80 種 3000 株のあじさいの鑑賞、撮影会、苗木の配布など
上下あやめまつり 四季の里あやめ園	6月上旬～下旬 四季の里	300 種 10 万本のあやめの鑑賞、期間中の週末にはステージイベントを開催
オオムラサキを自然に帰す集い オオムラサキの里	7月上旬 国蝶オオムラサキを守る会	午前 11 時頃から放蝶。運がよければ羽化が見られるかも
三郎の滝フェスティバル 三郎の滝	7月上旬 三郎の滝	来場者参加型のバランス滝すべりゲームなどを開催
河佐峡フェスティバル 河佐峡	7月中旬 河佐峡	来場者参加型のマスのつかみ採り、水鉄砲、スタンプラリーなどのゲーム大会
備後国府まつり 府中市街等	7月下旬（2日間） 備後国府まつり事務局	パレード、踊り、たんすリレー、花火大会（手筒花火・打ち上げ花火）、縁日など
天領上下涼彩まつり 白壁の町並み周辺	8月上旬 上下町商工会	浴衣で参加する縁日、屋台など
諸田のベジタブルなコンサート サン・ステージ羽高湖	8月上旬 JA 福山市府中西出張所	コンサートや特産品の販売など
カブト採集体験 お祭り広場	8月中旬 カブト採集実行委員会	カブト虫の採集体験やくじ引き、飲食屋台など
天領上下花火まつり 上下中学校	8月中旬 上下町商工会	お盆恒例の花火大会など
上下かかしまつり 四季の里、白壁の町並み	10月下旬～11月上旬 四季の里	一般募集したかかしの展示。最終日の「きて皆祭」で審査発表、新そば祭りなど
羽高湖湖畔フェスティバル サン・ステージ羽高湖	10月上旬 湖畔フェスティバル実行委員会	カヌー教室＆体験試乗会、宝さがしなど
天領上下白壁まつり 白壁の町並み周辺	10月下旬 上下町商工会	地元特産品の販売や各種出店、地元の子どもらによる踊り、パフォーマンスなど
備後府中食博（食で賑わう町おこし） お祭り広場・府中お祭り通りなど	11月上旬 町おこし活性化実行委員会	ご当地グルメなどの飲食屋台・ケータリングカーのほかステージイベントなどの催し物あり
「奇岩・巨岩の岳山」登山の集い 岳山（矢多田南登山口）	11月下旬 府中市	晴れの日には遠く瀬戸内海まで見渡せる。新鮮野菜の産直市も
秋の夢吊橋ウォーク 芦田湖オートキャンプ場	11月中旬 夢吊橋ウォーク実行委員会事務局	湖畔の鮮やかな紅葉の中、自然を感じながらウォーキング。5.5km、10km、15kmの3コース
三郎の滝紅葉まつり 三郎の滝	11月中旬 三郎の滝	もちつき、新鮮地元野菜の販売など
首無地蔵 秋の大祭 首無地蔵	11月18日 首無地蔵	護摩供養や大根煮の接待など
おいでゃんせ祭り 石州街道出口通り	11月18日 石州街道出口地区まちづくり協議会	出口通りでフリマ、焼きソバ、お楽しみ抽選会
ごんぼう祭り サン・ステージ羽高湖	12月中旬 JA 福山市府中西出張所	ゴボウの即売、もちつきなど
十輪院春の大祭＜火渡り秘法＞ 十輪院	2月中旬 ※旧暦1月21日 十輪院	健康祈願の火渡り仏事 珀明洞巡り
天領上下ひなまつり 白壁の町並み周辺	2月下旬～3月下旬 上下観光案内所	餅花を飾り、お雛様を町並みに展示。期間中には「でこ市」や「こだわり市」も開催
出口通りひなまつり 石州街道出口通り、恋しき	3月上旬～4月上旬 石州街道出口地区まちづくり協議会	享保雛から平成の手作り雛を展示、販売

参考：府中市観光イベントカレンダー（府中市観光協会）

（2） 代表的な地域資源

① ものづくり

内陸工業都市である府中市は、機械・木工・金属・繊維・非鉄金属などの製造業を中心とした「ものづくりのまち」として発展してきました。

先進技術を駆使した工作機械などを海外に輸出している企業も多く、日本一を誇る商品もある、技術力のまちで、市民の多くは製造業などの第 2 次産業に従事しています。

図表 31：第２次産業（鉱業・建設業・製造業）従事者比率

	広島県	府中市	県内比
事業所数（社）	5,661	257	4.5%
従業者数（人）	211,902	7,013	3.3%
製造品出荷額等（百万円）	10,342,775	148,993	1.4%
人　口（人）	2,830,069	38,943	1.4%

出典：平成 27(2015)年国勢調査

◆府中市が誇る地場産品

繊維製品	備後絣から始まり、ユニフォーム、ワーキング、カジュアルウェアのデザイン開発など全国トップレベルにあります。
府中家具	全国的に有名な高級婚礼家具に始まり、現在は「総合インテリア」産地を目指し、府中家具の新しいブランド化に取り組んでいます。
ゴム製品	バルカナイズ製法のレザースニーカーを中心としたファッションスニーカーと「地球」と「人」にやさしいゴムタイルの開発・製造を行い、全国へ販売しています。
桐箱	優雅で防湿性に富んだ桐箱は、呉服や掛軸等を入れる箱として、また贈答用の箱として、幅広い用途で使用されています。
府中味噌	江戸時代から名声を伝える府中味噌。味と香りに定評があり、家庭用はもちろん、高級料亭用としても広く愛用されています。
印刷機器	美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機を開発、製造。国内をはじめ、世界 170 ヵ国以上に輸出しています。
鉄系鋳造製品	自動車・建設機械・農業機械など、さまざまな分野でお客様のニーズに応えるべく、鋳造素材から鋳造加工完成品まで高付加価値商品を提供しています。
建築用内装材	自然素材と工法にとことんこだわり、家族が健康で安心・快適な暮らしが実現できる本物の「建築用内装材」を全国に提供しています。

出典：府中商工会議所ホームページ「府中市の産業」

◆ 府中ハンドレッドクラブ

府中市には、広島県内の 1 割に当たる実に 60 社の 100 年企業が存在しています。

これらの企業は、幕末の志士の時代から今日に至るまで明治維新あり、日清・日露戦争あり、そして太平洋戦争の敗戦と激動する世の中を見事に乗り切ってきました。景気の循環のような小さな波ではなく、時代のうねりと言う大きな波を乗り切る力と知恵を体得されているといえます。

こういった 100 年企業が集い、自らの技術や能力に磨きをかけ、府中の町の魅力を高められるような活動を実践するための会「府中ハンドレッドクラブ」を、府中商工会議所が中心となり、平成 27(2015)年に設立しました。

出典：府中商工会議所ホームページ「府中商工会議所ハンドレッドクラブ」

◆ 府中家具

タンスは、木綿の普及によって寝具ができ、引き出しに入れるほどの衣類を庶民が持つようになってから作られた収納家具であり、現代のような引き出し式のタンスが普及したのは、江戸時代になってからのことです。

府中においてタンスづくりが始まったのは、今から 300 年ほど前、「宝永年間に備後国有磨村の内山円三が大阪で箪笥の製法を修得し、帰郷後、製法に着手したのが始まりで、そのころ広谷村鵜飼に住んでいた指物師の内田多吉がこれを学び･･･」と記されており、大阪で初めて衣装箪笥が登場してから、40～50 年後のことでした。

このように府中地方では、早くから木工業が発達しており、大正末期ごろには周辺の農家の山間の畑のいたるところに、桐を植えていました。

このようなことがあって、江戸時代末期から明治にかけて、農家の副業としてタンスが製造されました。

明治から大正までは、専門の仕事として職人が、栗、杉、もみなどの材料を用い、精魂込めてタンスを作り上げていました。

桐材を多く用いるようになったのは、大正末期に関西方面から桐箪笥の職人が府中に入ってからのことだと言われています。

大正から昭和初期には間箪笥（けんだんす）と言われる大型のタンスが流行し、府中タンスの地位を作ったと考えられています。

府中家具が全国に知られるようになったのは、戦後のことで、いち早く「婚礼家具セット」を開発した府中は、高度経済成長期に高級家具の需要を飛躍的に伸ばし、全国に知られる家具の産地として発展を遂げました。

これは、地元製造者による高級品と量産を両立させる府中独自の量産体制・分業体制が構築されたこと、全国優良家具展などで高級品婚礼家具としての高い評価を獲得していったことなどにより、その地位を実現しました。

近年は、府中家具の伝統を承継しながら、新しい商品開発が進んでいます。「総合インテリア」の産地を目指し、府中家具の新たなブランド化に取り組んでいます。

参考：「府中産業の源流と民具」　河面谷民俗資料館
「戦後高度成長期における家具産業の成長」張楓

◆ 府中味噌

味噌は、室町時代から江戸初期にかけては、自家用として一般庶民に普及しており、商品として販売されることが少なかったと思われます。

そういった中、府中の特産品である「白味噌」の発祥は、徳川綱吉が将軍の時（1682（天和 2）年)、大戸久三郎直純によって始められたとされています。

この地方の良質の白芽大豆と金丸米が原料として用いられ、温暖な気候風土と醸造技術の改良によって、白味噌の品質は向上し、福山藩主に献上されるようになりました。

藩主はその美味を自慢して、参勤交代の際に「府中の白味噌」を将軍の膳部や江戸への沿道の諸藩に贈りました。また府中は当時、山陽路から出雲路に通じる交通の要衝であり、諸国人の出入りが多く、備後の多くの産物の取引が盛んになるにつれて府中の白味噌が土産として珍重され、その美味が全国的に知られるようになったと言われています。

府中の白味噌はきめ細かで、透き通るような白色、風味豊かな低塩の甘口が特徴で、料理調味料として高級品扱いされてきましたが、現在では庶民の調味料として広く普及しています。

最近では、味噌を使った加工品を開発するなど、味噌の可能性を広げる新しい取り組みも行われています。

参考：「府中産業の源流と民具」河面谷民俗資料館

② 商業

◆ 府中まちなか繁盛隊

府中市の中心市街地の商店主が中心となり、商業活性化に向け、約 10 年前に結成された団体です。「一店逸品運動」や「府中まちゼミア」など、様々な活動に挑戦しています。

◆ 一店逸品運動

府中市民をはじめ、多くの人に地元のお店のことを知ってもらえるよう、各店が自信をもっておすすめする商品・サービスに磨きをかけ、アピールしていく活動です。

これまで毎年、府中まちなか繁盛隊の中で、グランプリを選定し、東京で開催される「全国逸品セレクション」に出展し、グランプリをはじめ、数々の受賞歴があります。

◆ 府中まちゼミア

府中市内の公共施設（こどもの国ポムポム、道の駅、観光協会、市立図書館など）を活用して、府中まちなか繁盛隊の加盟店がブースを設営し、子どもを中心に、仕事を体験するイベントを開催しています。

③ 農業

地元農家などから農作物を安定供給することは、地域農業の振興につながり、また地域の食材を取り入れた給食は、子供たちが食べ物に関心を持つきっかけになっています。府中市では、学校給食に使う食材の地産地消を推進しています。

◆府中産の食材

米・玉ねぎ・じゃがいも・白菜・青ねぎ・キャベツ・大根・アスパラガス・小松菜・諸田ごぼう・ジャンボにんにく・府中味噌など　30 種以上

◆ 特徴的な農産物

諸田ごぼう	地元では「ごんぼう」と呼び、皮がうすくてやわらかく、香りが良い諸毛町の特産品。
お茶（寒番茶）	無農薬により特別栽培されたお茶。 渋みが少なく素朴で優しい味わい。
生姜	無農薬栽培で、化学肥料不使用。味は、土臭さの無いさっぱりした辛味。
四八米	標高 480mの上下地区で、きれいな水で育った豊かな甘みを持つブランド米。

◆府中産の食材を使った主な献立

- ひろしまドレみそ♪レモン（府中味噌）
- 府中マロンかぼちゃのそぼろ煮（マロンかぼちゃ）
- 田中さんちの切干サラダ（上下産の切干大根）
- 噛みってる！GoGo 炒め（ごぼう）

（3）府中市観光における主な取組

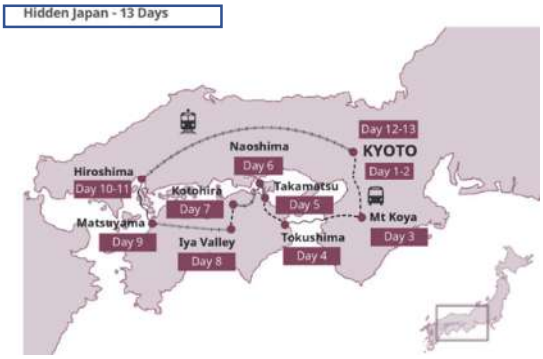
① 観光プロダクト開発

a. 地域団体による上下町でのインバウンドツアー

歴史や観光資源などを活用した町づくりにより上下の活性化に寄与することを目的に設立された上下まちづくり協議会では、海外からの誘客を図るため、広島県の「観光資源の価値向上戦略策定事業」を活用した平成 27(2015)年の外国人モニターツアーを経て、平成 28(2016)年から外国人ツアーを受け入れています。

事業者	InsideJapan （インサイドジャパン）
実施内容	中四国地方を訪れるツアー（「ルーラルジャパンツアー」または「ヒドゥンジャパンツアー」）のうち、関西方面へ帰る前の立ち寄り先として、団体バスで来訪 （宿泊無し）
主な発地（国）	アメリカ、イギリス、オーストラリア
来訪人数	10～14 人程度

※ 上下町での訪問例



バス着 ～ 禅寺（善昌寺）の見学 ～ 剣道体験 ～ 昼食 ～ ガイドとの町なみ散策（末広酒蔵資料館、旧警察署、田辺邸など） ～ バス発

※ 地元中学生らが、英語によるガイドや、お土産物をプレゼントすることもある

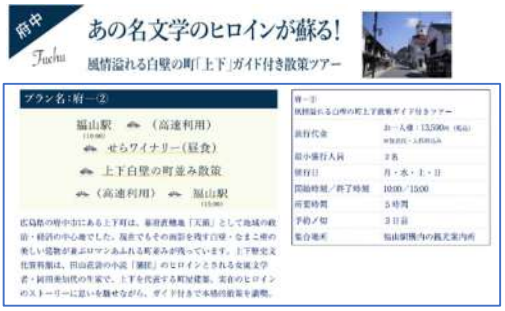
※ これまでの実績

平成 28(2016)年	◆ ルーラルジャパンツアー（1回） ◆ ヒドゥンジャパンツアー （2回）	計 3回
平成 29(2017)年	◆ ルーラルジャパンツアー（2 回） ◆ ヒドゥンジャパンツアー （7 回） ◆ 外国人フォトトライアルツアー（1回） （エバレット・ブラウン氏 他 10 名）	計 10 回
平成 30(2018)年	◆ ルーラルジャパンツアー（2回） ◆ ヒドゥンジャパンツアー （8回）	計 10 回
	平成 28～30 年	合計 23 回

b. タクシーを活用した募集型企画旅行

備後圏域内での観光資源を見つめなおすことで、圏域全体の魅力に磨きをかけ、圏域外からも多くの観光客を引き付ける連携事業として、平成 30(2018)年度、タクシーで巡る周遊観光プランを市町ごとに作成しました。

（備後圏域：広島県福山市、尾道市、三原市、府中市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市、井原市）



c.「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」での観光素材

令和２(2020)年の 10～12 月の３か月間、ＪＲグループと広島県とその周辺地域において「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」が開催され、その中で府中市においても、体験メニューを中心とする観光素材を準備しています。

② 観光客の受入環境整備

a. 公衆トイレ（観光関連）

府中市が設置する公立施設のうち、観光に関連する施設でもトイレが設置されていますが、便器の洋式化や、多目的トイレや清潔さに関わる設備の充実、ピクトサイン等による表示の設置など、高齢者や障害者、外国人など様々な観光客にとって利用しやすい環境を順次整えていく必要があります。

b. 無料 Wi-Fi スポット

府中市への来訪者の利便性向上を図るため、無線ＬＡＮにより無料でインターネットに接続できる「Hiroshima Free Wi-Fi」を、府中市内に４か所設置しています。

- 道の駅びんご府中　【府中町】
- 府中市地域交流センター（キテラスふちゅう）【府中町】
- 府中市上下歴史文化資料館　【上下町】
- 府中市観光協会上下支部（「泊まれる町家天領上下」内）【上下町】

c. 案内看板

JR 福塩線の府中市内での主要駅である府中駅、上下駅では、周辺の観光地を示す地図が掲示されており、特に府中駅前には、周辺の主要イベントを告知する専用の看板も設置されています。

また、観光施設においては、近くの車道に方角等を示す道路看板が掲示されていますが、英語などの外国語の併記は、道路看板以外ではごくわずかです。

d. 外国語対応

市が JR 駅に設置した観光看板や観光ウェブサイトでは、外国語対応できていません。

観光パンフレットは、府中市が作成するものは日本語のみですが、地域の団体や学校が独自に英語版のパンフレットを作成している事例があります。

上下地区のボランティアガイド団体においては、独自でガイドへの外国語学習に取り組んでおり、英語・中国語・韓国語などでの応対が可能となっています。

府中市観光協会と上下歴史文化資料館には、日本語・英語・中国語・韓国語に対応した「音声ガイドペン」を配置しており（有料）、府中地区・上下地区のそれぞれに、徒歩で巡る散策コースを設定しています。

e. キャッシュレス対応

国においては、令和元(2019)年 10 月の消費税率引上げに伴い、キャッシュレス対応による生産性向上や消費者の利便性向上の観点も含め、中小・小規模事業者によるキャッシュレス手段を使ったポイント還元等を支援するため、「キャッシュレス・消費者還元事業」を令和２(2020)年６月まで実施しています。

府中市内の店舗では、この事業の開始直後は 154 店が登録していましたが、直近では 386 店と 2.5 倍以上に増加しています。

※ 府中市におけるキャッシュレス・消費者還元事業への登録加盟店数

集計時期	加盟店数（計）	固定店舗			移動販売（タクシー、屋台等）	通信販売
		小売業	飲食業	その他サービス業		
令和元(2019)年 10 月 11 日時点	154	88	7	22	6	31
令和 2(2020)年 4 月 1 日時点	386	156	39	81	52	58

出典：一般社団法人キャッシュレス推進協議会
「登録加盟店の地域分布」「店舗の種類別の登録状況と利用状況」

f. おもてなし（機運醸成） ～『広島県「みんなで」おもてなし宣言』への参画状況

■ 広島県「みんなで」おもてなし宣言とは

観光関係事業者はもとより，県民一人ひとりが自ら実践する，観光客に対する「おもてなし」に関する取組内容を「おもてなし宣言」として広く募集し，宣言した内容を各自が実践することで，観光客を温かくお迎えすることを目的とします。

なお，登録されたおもてなし宣言は，県ホームページで紹介するとともに，広島県「みんなで」おもてなし宣言登録証及びシンボルマークをデザインしたステッカーやワッペンなどを交付し，取組者の取組意識の醸成と観光客の視認性の向上を図ります。

【対象者】

原則として県内在住もしくは県内に通勤通学している個人または広島県を拠点に活動している民間企業，特定非営利活動法人（NPO法人），そのほかの法人または法人以外の団体など

【シンボルマーク】

府中市内に事業所を持つ団体のうち、県が取り組む「おもてなし宣言」に参加しているのは 10 団体と、県全体での団体数（令和２年３月 25 日現在 1,920 団体）のうち 0.5%を占めるに止まっています。

◆ 府中市内での「おもてなし宣言」団体

	団　体　名	エリア	事業種別
1	株式会社ファミリーマート　広島県内 211 店舗	府中市ほか 18 市町	物販・おみやげ・飲食
2	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社（広島県内 12 駅）	府中市ほか 3 市	交通
3	たんぽぽ広場	府中市ほか 3 市町	宿泊
4	アシナトランジット株式会社	府中市・福山市	交通
5	ヤマト運輸株式会社　備後府中父石センター	府中市	企業等
6	株式会社恋しき	府中市	観光施設
7	石州街道出口通りボランティアガイド協会	府中市	ガイド・案内人
8	道の駅 ぴんご府中	府中市	観光施設
9	府中市観光協会上下支部	府中市	観光施設
10	府中第一ホテル	府中市	宿泊

g. 2次交通（観光地までのアクセス）

府中市を訪れる観光客は、自動車を使って訪れる人が大半であることから、JR 福塩線の駅から観光地までのアクセスは、「徒歩」または「タクシー」がメインであり、府中地区の中心部であれば、観光協会等に配備されている「レンタサイクル」も利用可能となっています。

府中市内のバス停から観光地までのアクセスは、「徒歩」や「タクシー」となります。

山陽新幹線の駅や広島空港から府中市の観光地へ訪れる場合は、運転免許所有者であれば、駅・空港周辺の「レンタカー」を利用し、府中市内へ訪れる方法が合理的な状況にあります。

h. 駐車場

府中市を訪れる観光客は、自動車を使って訪れる人が大半であることから、観光地では駐車場の確保が必要となります。

市内での花のイベントなどでは、駐車場料金を徴しているが、その一方で、多くの観光客が訪れている上下地区では、無料の駐車場を用意しているなど、イベントや地域において差異はあります。

i. 宿泊施設

宿泊施設は、府中地区・上下地区の市街化しているエリアを中心に立地しています。矢野温泉周辺で休業する温泉施設が相次いだこともあり、近年、施設数は少なくなっていますが、その一方で、上下地区での古民家を活用した宿泊施設の建設など、新たな宿泊施設が生まれる動きも出始めています。

また、ホテル型の施設が少なく、多くは旅館、あるいは簡易宿所となっています。

	種類	宿泊施設名	住　所
1	ホテル	府中第一ホテル	府中市元町
2	旅館	大吉旅館	府中市府中町
3	旅館	石川旅館	府中市府中町
4	旅館	富士旅館	府中市府中町
5	簡易宿所	府中市勤労青少年ホーム「キャンプ in ふちゅう」	府中市用土町
6	簡易宿所	羽高「湖畔の家」	府中市諸毛町
7	簡易宿所	MG ユースホステル	府中市上下町矢野
8	ホテル	ビジネスホテル銭貫呂	府中市上下町上下
9	旅館	寿旅館	府中市上下町上下
10	旅館	荒木旅館	府中市上下町上下
11	旅館	土田旅館	府中市上下町上下
12	簡易宿所	泊まれる町家「天領上下」	府中市上下町上下

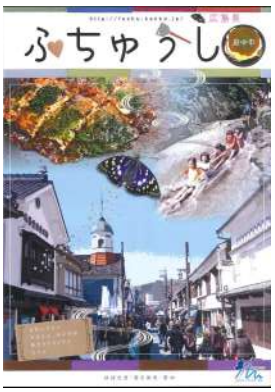
③ 情報発信

a. ポスター

府中市と府中市観光協会が連携して、毎年春に新たな観光ポスターを作成、配布しています。

b. パンフレット

府中市内の観光地を掲載したパンフレット（概要版・冊子版）や年間のイベントカレンダーを、府中市と観光協会が連携して作成しています。



【配布場所】　観光協会、府中市、道の駅びんご府中　など

c. ウェブサイト・SNS

府中市のホームページには、独自の観光用ページは作成しておらず、府中市観光協会へのリンクで対応おり、市内の観光情報はこの観光協会のサイトのほか、上下地域の公共機関である上下歴史文化資料館や、公園などの施設を管理する府中市まちづくり振興公社などでも情報を掲載しています。

また、各団体とも Facebook で季節に応じた情報を発信しており、府中市観光協会では Instagram を活用し視覚に訴えかける投稿も行っています。

◆府中市観光協会

◆上下歴史文化資料館

◆府中市まちづくり振興公社

Facebook	○	○	○
Instagram	○	―	―
Twitter	―	―	―

d. 観光情報誌

「広島・宮島」エリアを扱った観光情報誌が定期的に発刊され、書店やコンビニ等で販売されていますが、主要な情報誌では、観光エリアとして府中市は掲載されていません。

④ 観光推進体制

a. 府中市観光に係る主なプレーヤー

	名 称	概 要
	府中市（経済観光部観光課）	観光の総合計画、観光資源の開発・保存、観光事業・宣伝、観光産業の振興、観光戦略の推進を行う。
	観光・交流プロジェクトチーム（PT）	観光振興ビジョンの策定にあたり、まちなか観光や上下地区の観光振興など、部課を横断したテーマについて連携・調整を図る。
◆指定管理者	府中市観光協会	府中市観光事業の向上発展を図り、産業の伸展、文化の推進に寄与。 観光プロモーションや、観光行事の主催や支援を実施。
	事業推進部	観光事業の調査研究、観光施設の整備・事業運営、観光客の誘致・宣伝などを、地域のメンバーで検討。
◆	キテラス府中（地域交流センター）	「お祭り通り」と「石州街道」の交点に位置し、北館は観光協会と観光案内所、南館は「備後府中焼き」2店舗が入居。
◆指定管理者	(一社)府中市まちづくり振興公社 ※体育館、プールなども運営	府中市における、観光、文化、産業の振興、農業農村育成、体育・スポーツの普及や健康と余暇活動の充実を図ることを目指す事業や自然保護と美化活動及び公共施設の管理運営事業を実施。
◆	羽高湖サン・スポーツランド and 森林公園	テニスコート・多目的グラウンド・ローラースケート場・スカイサイクル等を備えるとともに、「羽高湖森林公園」には、野外ステージやキャンプ場などがあり、春は桜の名所として親しまれている。
◆	府中歴史民俗資料館	国府のあった時代の関連資料や復元衣装などを数多く常設展示。随時、国府衣装の試着体験ができるほか、春と秋に「資料館フェスタ」を開催。
◆	河佐峡	キャンプ・デイキャンプ・川泳ぎ・釣堀などを楽しむ家族連れでにぎわい、ウォータースライダーや売店などの施設も充実。パークゴルフ場も完備。
◆	矢野温泉公園 四季の里	10 万本のあやめ科の花が咲き誇る「あやめ園」などアスレチックや森林浴にと自然を満喫でき、オートキャンプも可能なキャンプ場も併設。
◆	上下歴史文化資料館	上下出身の女流文学者・岡田美知代の旧家を改装した建物で、岡田氏の紹介や上下の歴史や昔話について展示。上下白壁の町並みの観光拠点でもある。
	府中商工会議所	地域や産業に関する諸問題について調査研究を行う一方、商工業者の意見をまとめ国・県・市などの関係機関へ建議・要望するなど、地域経済発展に寄与。
	府中市アンテナショップNEKI（東京都千代田区）	府中地域の魅力を首都圏へ発信し、販路を提供することで、地域の商品のブランド化や、産業振興を図ることを目的に、平成 29(2017)年にオープン。
	府中まちなか繁盛隊	府中地区の商店主らが中心となり、平成 22(2010)年から中心市街地の活性化に取り組んでいる団体。各店が自信をもってお勧めする商品・サービスに磨きをかけ、アピールする「一店逸品運動」等を実施。
	府中焼きを広める会	備後府中焼きを通して、府中のまちの魅力を全国に広めることを目的に平成 20(2008)年に設立。
◆指定管理者	㈱天満屋ストア	府中地区の中心市街地の中心にある店舗。この店舗の改修計画に合わせた賑わいづくりのため、市としての具体的な活用方策を検討中。
◆	道の駅びんご府中	平成 28(2016)年に中国地方 101 番目の道の駅としてオープン。カフェテリアスタイルのレストランや、地元の伝統産業の製品が並ぶアンテナショップ、新鮮な食材が手に入る広々とした産直市場を備える。
	㈱恋しき	国登録文化財の料亭旅館「恋しき」を再生するため、地元財界の出資により設立された運営会社。
	石州街道出口通り ボランティアガイド協会	石州街道出口通りエリアでの、観光スポットや地域産業の施設等を案内。
	上下商工会	上下地区における商工業の総合的改善発達を図るとともに、商工業者の経営支援や経営改善普及事業と地域振興事業を実施。夏の上下を彩る上下天領花火まつりを主催。
	上下まちづくり協議会	上下地区における歴史や観光資源などを活用した町づくりを行い、上下の活性化に寄与することを目的に設立。
	上下の町並みを愛する会	高齢化や空き家空き店舗の増加等を背景に、白壁の町並みを愛し、地域の営みが脈々と続くことをめざして活動する、地域の人々による会。
	上下ガイド協会	中国地方の山陰山陽の宿場町として栄えた、上下白壁の町並みを中心に案内。
	府中明郷学園	英語版観光パンフレット「Fuchu City Sightseeing Pamphlet」、ガイドマップ「Fuchu City Guide Map」の制作・配布。
	上下学園（上下北小・上下南小・上下中）	上下代官所跡や翁座などを学習の後に、児童生徒が町並みガイドを実践。外国人観光客への案内に挑戦し、地域団体がそれを支援する関係を構築している。

※ 大使関係

備後府中焼き広報大使	片岡光宏　（元広島東洋カープ：平成 27(2015)年 1 月委嘱）
府中市ふるさと大使	アンガールズ（山根良顕、田中卓志：平成 27(2015)年4月委嘱）
府中ロマン親善大使	森友嵐士　（T-BOLAN：令和元(2019)年 6 月委嘱）

b. 府中市観光協会の体制

府中市観光協会はこれまで、一般財団法人まちづくり振興公社からの派遣職員で業務に当たるという脆弱な体制であったため、平成 30(2018)年 10 月から事務局長を配置し、令和元(2019)年度からは独立した体制に見直すとともに、令和 2(2020)年 4 月からは一般社団法人化するなど、事務局体制の強化を進めています。

また、上下エリアの支部でも、これまでは上下歴史文化資料館の職員が資料館業務と観光業務を兼務していましたが、令和 2(2020)年度から専任職員を配置しています。

c. DMO の動き

観光庁においては、平成 27(2015)年に日本版ＤＭＯの登録制度を創設され、府中市内においては、平成 30(2018)年 3 月に日本版 DMO の候補法人として、「株式会社恋しき」（府中市府中町）が登録されています。

ただし、この候補法人を中心とする、地域の観光関連事業者や関係者、住民等が連携・協力する体制づくりには至っておらず、今後の目途も立っていない現状にあります。

d. 広域連携

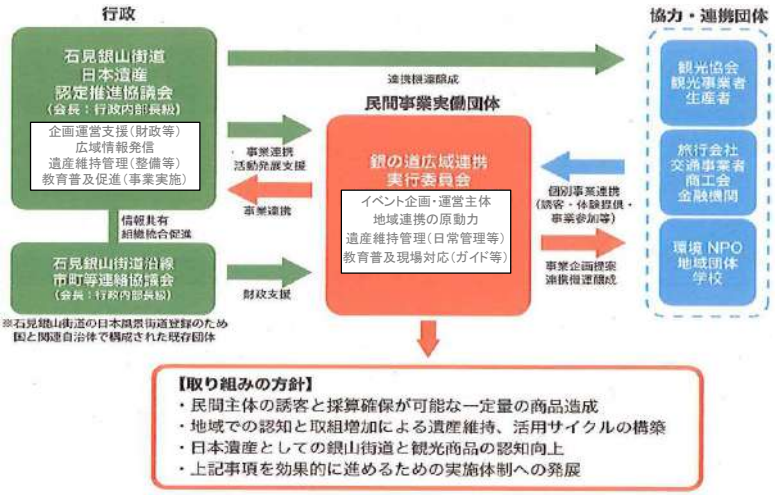
（ｉ）石見銀山街道

国土交通省では、地域活性化、観光振興に寄与し、国土文化再興の一助となることを目的に、景観・自然・歴史・文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創出する運動を促していく「日本風景街道」の登録制度を平成 19(2007)年に創設しました。

中国地方では、９つのルートが登録されており、このうち、中世を中心に、石見銀山からの銀を世界に運んだ「銀山街道（石州街道）」の沿線 10 市町（島根県大田市・飯南町・美郷町、広島県三次市・府中市・世羅町・尾道市・福山市、岡山県笠岡市・井原市）が連携して、民間活動団体を支援することで、官民協同となった沿線地域の活性化に取り組む「銀山街道・陰陽結ぶ銀の道」（島根県大田市～広島県尾道市・岡山県笠岡市）が、平成 25(2013)年に登録されました。

また、国土交通省中国地方整備局では、歴史や文化を今に伝える中国地方の街道を「夢街道ルネサンス認定地区」として認定してきており、府中市内においては、上下地区の「銀山街道上下宿」（平成 16(2004)年度）、府中地区の「石州街道出口通り」（平成 17(2005)年度）の２か所で認定を受けています。

石見銀山街道の日本遺産認定に向け、関係７市町（広島県三次市・府中市・世羅町・尾道市、島根県大田市・飯南町・美郷町）が連携し、申請を行っていますが、認定には至っていません。



（ⅱ）備後圏域連携中枢都市圏

総務省が平成 26(2014)年度から全国展開する「連携中枢都市圏構想」に基づき、平成 27(2015)年に福山市が、備後圏域の市町と連携し、圏域全体の経済をけん引し、圏域の住民全体の暮らしを支える役割を担うという「連携中枢都市宣言」を行うとともに、広島県三原市・尾道市・府中市・世羅町・神石高原町、岡山県笠岡市・井原市との間で連携協約を締結しました。

備後圏域を取り巻く環境、めざす姿、市町が連携する具体的な取組をまとめた「びんご圏域ビジョン」を毎年度策定・推進しています。

なお、令和 2(2020)年度からは「第 2 期びんご圏域ビジョン」を策定し、観光振興については、「圏域の魅力を生かした広域観光の推進」、「インバウンド観光の推進」、「着地型観光の推進」を目指す方向性として掲げています。

（ⅲ）北びんご観光推進協議会

備後地域の北部地域にある、府中市と世羅町、神石高原町は、３市町での観光による交流と連携を通じて、備後北部の新たな観光プロダクトの創出による交流人口の拡大を図るため、平成 31（2019）年 4 月に「北びんご観光連携協議会」を設立しました。

この協議会では、３市町の行政機関と観光関連団体等が連携し、今後、①参加自治体相互間の交流人口の増加に向けた取組の実施、②共同による観光宣伝・誘致活動の実施、③参加自治体を結ぶ新たな観光ルートの創出などに取り組み始めています。

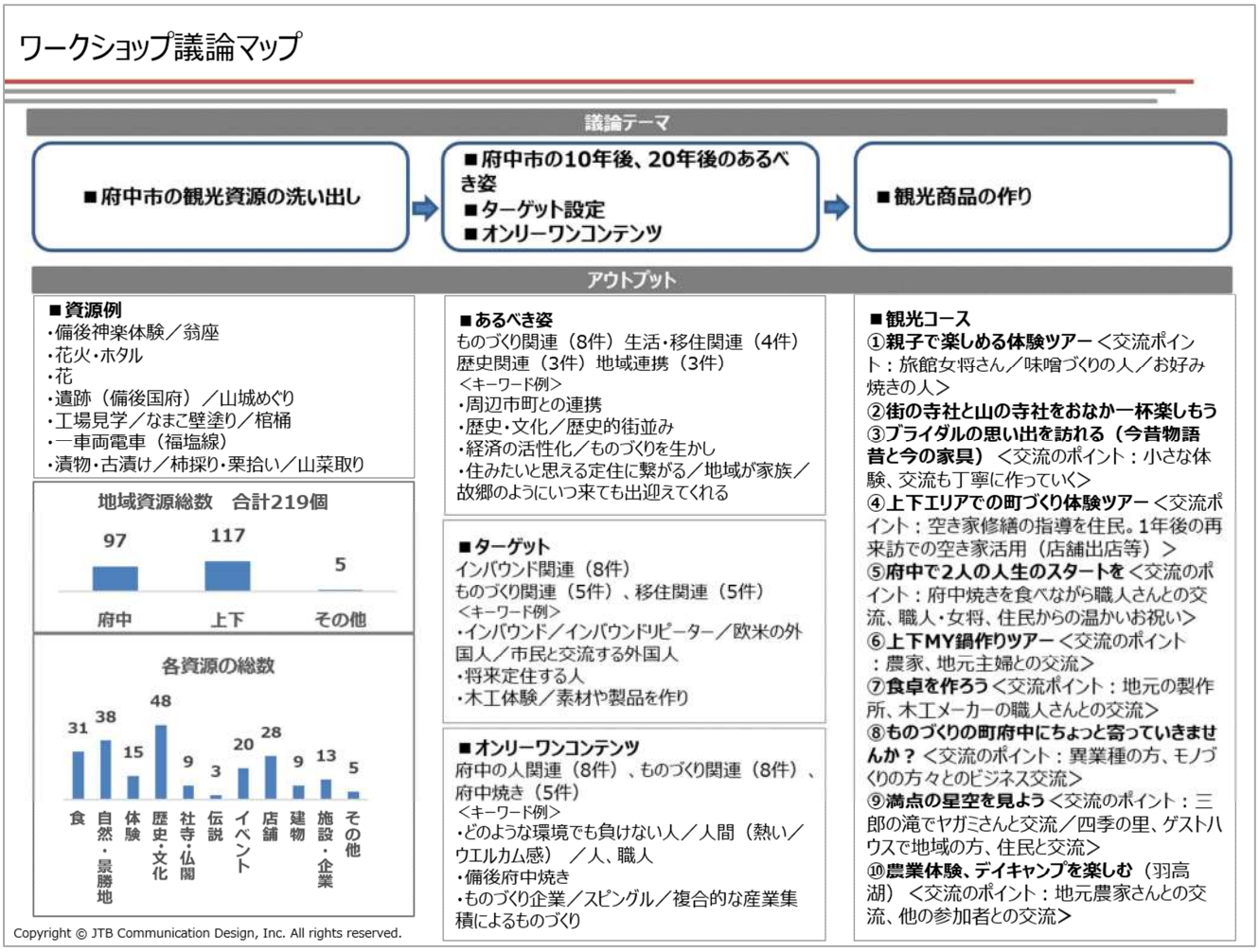
3．府中市の市民の声

観光振興ビジョンの策定に当たり、府中市の現状を把握するため、市民、観光事業者、非観光事業者が参加するワークショップや、市民や各事業者へインタビューを実施しました。

（1） ワークショップ参加者からの意見

◆ ワークショップの実施概要

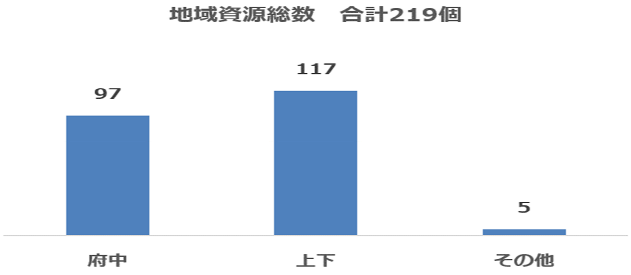
実施日時／テーマ	場所	実施項目
1 回目 令和元(2019)年 10 月 24 日 **「地域資源の洗い出し」**	恋しき	・ 日本・広島県・府中市における観光の現状（講義） ・ 府中市の地域資源の洗い出し （グループワーク）
2 回目 令和元(2019)年 11 月 25 日 **「府中市の観光の可能性」**	生涯学習センター	・ サイクリストとサイクリングについて（講義） ・ キャンプ場を活用した更なる誘客の可能性（講義） ・ 府中市の将来ビジョン／ターゲット設定／オンリーワンコンテンツ（ワークショップ）
3 回目 令和元(2019)年 12 月 16 日 **「府中市の観光商品づくり」**	生涯学習センター	・ 観光商品の作り方（講義） ・ 府中市における観光商品作り（ペアワーク）



第１回のまとめ

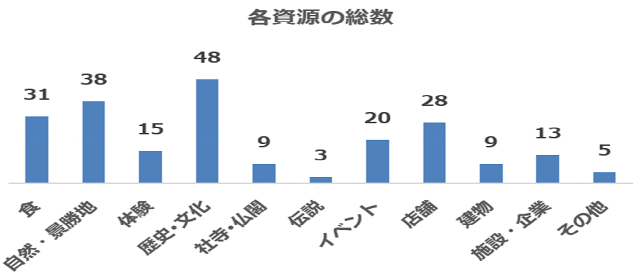
資源のカテゴリー
資源の数

地域資源は府中エリア、上下エリアで「食」、「自然・景勝地」、「体験」、「歴史・文化」、「社寺・仏閣」、「伝説」、「イベント」、「店舗」、「建物」、「施設・企業」、「その他」の11カテゴリー。資源総数は219個。うち、府中エリアに関係するものは97個。上下エリアに関係するものは117個。その他は5個。



各カテゴリーの資源数
特徴

各資源の数で「食＝31」、「自然・景勝地＝38」、「体験＝15」、「歴史・文化＝48」、「社寺・仏閣＝9」、「伝説＝3」、「イベント＝20」、「店舗＝28」、「建物＝9」、「施設・企業＝13」、「その他＝5」となっている。歴史・文化、自然・景勝地といった顕在的観光資源が多く挙がった。



ワークショップテーマ③「まだ観光資源となっていないもので、今後観光客に人気が出そうな地域資源を挙げて、楽しみ方、ターゲットを考える」についての総評。今までに観光資源となっていなかった地域資源を「ターゲット」、「行動様式」とセットにして考えることは3回目の観光ルート開発、商品開発につながる重要な作業となる。時間的な制約があり、完成度は高くないが、集客が期待できる観光コンテンツになるものも一部散見できる。以下、「新規性」、「収益性」、「総合点」、「コメント」の4点で一覧をまとめている。

NO	資源名	ターゲット	行動様式	新規性 他の地域でもあまり見られない＝○ 検索すると散見される＝△ 検索するとよくヒットする＝×	収益性 収益性が高い＝○ 費用が取れるかはケースバイケース＝△ 収益性が低い＝×	評価	コメント
1	備後神楽体験	・インバウンド ・大人 ・やってみたいけど難易度であきらめた人	・神楽を習って、最後は舞台に立つ	△	△	△	神楽体験ツアーで有名なのは宮崎県高千穂の高千穂神楽や島根県の石見神楽。それぞれツアーとして告知販売している。差別化を図るのであれば、それら神楽との違いや魅せ方、体験の仕方での工夫。なお、神楽体験だけでは高額なツアーとはならないので、宿泊などとのセットにする必要がある。
2	山城めぐり	・城マニア ・登山好きな人	・ガイド付きで複数回る ・スタンプラリー	△	○	△	いわゆる城巡りは多くのツアーが存在する。広島県でも、広島城、福山城などは有名である。「山城」に特化した場合、天守閣を眺めるというものではなく、そこで雰囲気を感じる、歴史を感じるという趣旨になるので、ガイドの力量、ストーリーメイキングが重要になる。ただし、城をめぐるとなると時間、日数がかかりその分費用が発生するので収益性は期待ができる。府中市に存在する山城（跡）がどれだけ価値があり、どのようなストーリーを紡ぐことができるかが成否を分ける。
3	花火・ホタル	・サイクリスト ・キャンパー ・家族連れ ・都会の人	・キャンプ場づくり ・キャンプをしながら見る	×	○	△	花火大会、蛍鑑賞、蛍祭りは多くの地域で実施されている。故に新規性は高いとは言えない。一方、キャンプ場でのイベント、宿泊施設を絡めたイベント、プランに仕立てることが出来れば、宿泊する動機に繋がり、また、ファミリー層を狙えるので消費効果を生む可能性はある。府中市としては、キャンプ場とのコラボレーションが期待できる。
4	遺跡(備後国府)	・歴史好きな人	・遺跡を発掘する体験	○	△	○	備後国府は唯一無二の存在でその遺跡を発掘できるとなると新規性は高い。一方、旅行商品として発掘を何度もツアーに出来るか、それにより収益を確保できるかは工夫する必要がある。素材としては面白い。
5	漬物・古漬け	・昔をなつかしむ大人 ・外国人	・漬物を使った料理をPR ・休耕田畑の活用 ・材料の生産から行う ・空家の有効活用 ・地方色を出せる	△	△	△	漬物体験だけでは新規性、収益性の面では期待が持てないが、古民家活用、農作業体験など「地域ならではの生活」に着目し、それをまとめてストーリー化、商品化できると面白味が出てくる。

第１回のまとめ

NO	資源名	ターゲット	行動様式	新規性 他の地域でもあまり見られない－○ 検索すると散見される－△ 検索するとよくヒットする－×	収益性 収益性が高い＝○ 費用が取れるかはケースバイケース＝△ 収益性が低い＝×	評価	コメント
6	棺桶 （日本コフィン）	・これから死ぬ人々 ・特に独り身の人	・終活ツアー ・日本コフィンへ見学ツアー ・デザイナーズブランドの棺桶	○	△	△	日本コフィンは府中市にある企業であり、業界内での存在感も唯一無二。その意味では新規性は高い。「終活」という言葉も認知度が高まり注目度はあるものの、「棺桶」をどのように観光と結びつけるべきかは検討する必要がある。
7	一車両電車 （福塩線）	・鉄道ファン ・撮り鉄 ・外国人	・特別列車 ・サイクリストの移動手段 ・インスタ映えポイントの紹介（マップ）	△	○	△	福塩線の利活用は検討に値する。日本全国地方鉄道でのイベントなどが多く開催されているので、福塩線らしさをどのように作るかがポイントになる。観光ツアーにはなりやすいので集客が見込める場合は収益性が高まる。
8	夏になると県内で一番暑い	・忍耐強い人	・府中焼きをエアコン無しで焼き体験し食べる ・三郎の滝で汗を流す ・がまん大会	×	×	×	ただ暑いだけでは人を呼び込むことは難しい。また県内で一番でも全国的にはもっと暑い場所はあるので差別化は難しい。
9	山菜取りと食べる会	・料理好き ・都会の人	・地元の方が教えてくれる（取り方、食べ方） ・地元の方との交流	△	△	△	長野県はじめ他の地域では山菜ツアーは散見される。クラプツーリズムでも8件のツアーが見られる。一方、府中エリアでは今までにないものであれば、他の資源と組み合わせて独自色を出すことは可能。また地域住民との交流で差別化を図ることや、採った山菜を料理にするところをまでを体験メニューにすることが出来れば価値に繋がる。
10	工場見学ツアー	・家族 ・都会の人	・ものづくりの現場 ・作り手さんとの交流	△	×	△	他のエリアでも工場見学は既に観光商品化されている。府中市の工場見学はここが違うというところまでプログラムに落とし込み必要がある。また、単に工場見学をするだけでは収益は生まない。クラプツーリズム「大人の社会科見学」参照。工場、ものづくりの府中市の強みとなるので今後要検討。
11	河佐駅・中畑駅周辺の花観光						花を好む層は国内外の存在。写真撮影ツアーなどに仕立てればツアーとして成立する可能性がある。
12	なまこ壁塗り	・誰でも老若男女 ・外国人	・動物等の形を作る	○	△	○	「仕事旅行.com」などでは同様のツアーも見られるが、大手旅行会社などではまだ見られない商品。地域性が出ており、またあまり体験ができないので新規性は高い。地元の人との交流、府中らしい生活、ライフスタイル、歴史と絡めて商品化すると希少価値が生まれる可能性がある。
13	柿採り、栗拾い	・外国人（欧米人）	・したことないことをする	△	△	△	全国的に「柿狩り」、「栗拾い」として商品化されている。るるぶなどでも掲載がある。他の資源との組み合わせが必要。
14	企業で体験	・大人も子供も	・工場で作る（何か）	△	△	△	どの工場でどのようなものを作ることが体験できるかによって評価が異なる。現状見られる「木工体験」に代わる面白い体験をラインナップすることで、ものづくりのまち「府中」がアピールできると面白い。
15	翁座	・誰でも何人でも	・歌舞伎体験 ・神楽	○	○	○	文化的価値がある翁座で日本の伝統「歌舞伎」を体験できるものは新規性、収益性も期待が持てる。東京でも歌舞伎座がツアーを実施しているが、あくまで見学ツアーでありどの程度の体験ができるかは不明なので、唯一無二になる可能性はある。インバウンド向けに楽しいプログラムに仕立てることが出来ればヒット商品になる可能性はある。
16	サイクリング	・誰でも	・府中～上下 どこでも	×	△	△	サイクリングコースの整備、サイクリング＋α（キャンプなどのアウトドア）などの工夫が必要である。サイクリング自体は他の地域でも力を入れているので連携を図ることや差別化を検討する必要がある。

ワークショップで挙がった新規資源は16個。その中で、新規性が高いと思われるものは4つ。収益性が高いと思われるものも4つ。総合的に評価が高いものは、「翁座での歌舞伎体験」、「なまこ壁塗り」、「備後国府遺跡発掘」となった。その他の案も、組み合わせ方や魅せ方で変わる可能性があるので来年度以降のワークショップでのブラッシュアップが期待される。

第２回のまとめ

１．ビジョンで頻出するキーワードの整理
ものづくり関連（8件）、生活・移住関連（4件）、歴史関連（3件）、地域連携（3件）

ものづくりを自らの地域のアイデンティティと捉える意見が目立つ。これは地域が誇るコンテンツでも出てくるキーワードである。一方、生活、移住、地元との交流といったキーワードも散見され、地域住民と観光客の交流というのが将来の府中市にとって大切な要素になり得る。また、歴史に関するキーワードや地域連携に関する言葉も見られるので、これらも観光ビジョンや戦略に活用することが望まれる。

２．ターゲット設定で見られる特徴
インバウンド関連（8件）、ものづくり関連（5件）、移住関連（5件）

ワークショップ参加者が望むターゲットは、シニア層、ファミリー層、歴史好きといった今までよく訪問する層に加え、インバウンド関連、ものづくり関心層、移住へつながる層などが挙がった。これらの層を新しいターゲットとして捉え、既存ターゲットに加えて、重点ターゲットして戦略を作ることも府中市の新しい観光を推進する上では重要である。

３．府中市のコアコンテンツ
府中の人関連（8件）、ものづくり関連（8件）、府中焼き（5件）

府中市が他の地域に負けないコンテンツとして参加者が挙げたものは、「府中の人」、「ものづくり関連」、「府中焼き」などである。「ものづくり関連」、「府中焼き」は、現在も集客につながるコアコンテンツであるが、「府中の人」は今までは観光コンテンツとしては捉えられていなかった。「既存資源×府中の人＝交流を通じた観光商品」というような打ち出し方で新規商品開発をすれば、既存観光資源でもヒット商品になる可能性がある。

第3回のまとめ

3回目のワークショップでは、ペアになり府中市での観光コースを作成してみた。全部で10コースが完成した。どの観光コースも、「テーマ」、「ターゲット」、「交流のポイント」を意識したものであるが、興味深いコースもいくつか見られた。実際の観光商品にするには、さらなるブラッシュアップが必要であるが、自分達で観光コースを作ることで、具体的な顧客接点や地域資源の優位性がよくわかり、参加者にとっては観光が身近に感じるワークとなった。

尚、今回作られたコースの中で見られたポイントは、

１．府中市が誇るものづくりに関係するコースが多く見られた点。
特に府中家具を題材にしたコースが目立った。

２．まちづくり体験、キャンプ、農業体験、MY鍋体験など、地域住民と共に体験をするものが目立った。

の2点である。

これらの資源や特徴を今後ブラッシュアップして、他の地域に負けない観光商品を作っていくことが次年度以降の目標となる。

(2) 市民、事業者へのインタビュー

① インタビューの実施概要

調査員 2 名がおよそ 14 名程度の市民、事業者の代表へインタビューを実施しました。

○インタビュー実施日: 令和元(2019)年 12 月上旬

○一人当たりのインタビュー時間: 15－30 分程度

○主なインタビュー項目:

- 府中市の魅力
- 府中市が狙うべきターゲットと楽しみ方
- 観光振興上の課題 など

以下項目ごとに市民の皆さんの声をまとめます。

(ア) 府中市の魅力

食(府中焼きや東屋アイスのインコアイス、バルカカフェのコーヒー)。
上下に出来るゲストハウスは目玉になる可能性がある
備後国府跡
伝統的な家具、みそなどのものづくり
恋しき。ただし土足は止めた方が良い
翁座
美しい町並み、歴史・文化溢れる雰囲気
人柄。地元愛がある
若い方で写真を撮る方。町並みやひな祭りなどを写真に撮るなど古い町並み、歴史などを写真などに撮って楽しむ趣味が明確な層
和紙すき
「国府」と「天領」の町

（イ） 府中市が狙うべきターゲットと楽しみ方

産業観光を売り出して、子供が学ぶ、楽しむ形を目指す
府中市の資源は色々あるので、ターゲットを 1 本に絞るのは危険。商品、観光コースによってターゲットを分ける。但し、シニア、ファミリー層、インバウンド層は重要なターゲットになる
若者に来てほしい
歴史的関心を抱くなど旅行にテーマを持っている層
ものづくりを体感・体験をしたい層（学びたい層）
三世代旅行。家族が集まって楽しく観光
小学校。中学校の工場見学。みそづくりについては、府中市内では出前授業を実施している
インバウンド顧客が日本らしい体験を楽しむ
サイクリストや登山を好む人

（ウ） 観光振興上の課題

観光地としての連携・ストーリーが足りない
これといったキラーコンテンツがない。または各資源がつながっていない
滞在時間を延ばすことが大切。府中焼きを食べて終わりとなっている
外国語などの対応ができていない。メニューの多言語化
府中から見て、上下は遠いというイメージがある。双方のエリアで相互理解することが必要
資源がいろいろあっても、どれも小粒。国府後、恋しき、八幡神社、首なし地蔵などを活用することが大切。小粒な資源でも寄せあって観光ゾーン化することが必要
もっと地域を巻き込んで、受け皿を作る必要がある。強力に推進するリーダーが必要
観光客も住民が交流し双方良い印象を持ち、地域が活性化していく必要がある
経済効果をしっかりと追及する必要がある
地域住民たちが良い場所に住んでいるという自覚が必要
ものづくりは単に見せるのではなく観光客目線で体験させること、商品を作ることが大切
ヒト、モノ、カネといった資源が不足している点
観光振興を本気で実施する人、リーダー。意思と行動
備後国府のブランドが生かせていない
市内で味噌料理を食べられるところがない
滞在時間が短いのが問題
上下は、食事処を充実した方がよい
イベントがある日しか観光客が来ないこと
観光客が楽しめる体験メニューが少ない。農業関係、ものづくり関係で体験メニューが欲しい
観光による経済効果が欲しい
市内に観光で人を呼ぶというイメージがないこと
SNS などの情報発信力が弱いこと
地元の人が地元を知らないことが多い
外には宣伝しているが、中の人への告知が出来ていない
観光を推進する上で、協力者をもっと増やすべき
府中と上下で温度差があること

４．モニターツアーの実施

観光振興ビジョンの策定に当たり、府中市の観光資源を旅行会社や旅行関連事業者等に実際に訪問・体験いただき、ビジョンの方向性を確認するとともに、今後の商品化に向けた意見交換会を行いました。

・ **実施日時**　令和２(2020)年２月３日（月）　１３：３０～１６：００
２月４日（火）　９：００～１６：００

・ **訪問場所**　･･･ ターゲットとして設定する「ものづくり」、「歴史・文化」を中心に検証

２月３日（月）府中エリア（市街地・協和地区）
午後　ワーキングウェア会社見学（㈱BURTLE）
阿字和紙と紙すき体験
２月４日（火）ＪＲ福塩線、上下・府中エリア
午前　府中駅からＪＲ福塩線で上下駅へ移動
上下白壁の町並み散策
午後　キテラス府中（備後府中焼き）
石州街道出口通り・府中味噌
旅行会社との意見交換会（恋しき）

・ **招へい者**　旅行会社等のツアー造成者 11 名
(㈱ＪＴＢ、㈱ＪＴＢＧＭＴ、日本旅行、東武トップツアーズ、
KNT-CT ホールディングス㈱、㈱国際ツーリスト、ＭＡＴＣＨＡ、
あすか観光バス合同会社、(一社)日本旅行業協会)

・ **訪問先と主な意見**

訪問先	目論見	主な意見
ワーキングウエア会社（㈱BURTLE）	今後、社会見学などの教育旅行での旅行商品となりうるかの検証	・社長から直接話を聞けたのが新鮮。 ・作業される中を見学するのは気を遣う。
阿字和紙と紙すき	地域文化の紙すきを、体験という観光素材として観光客に売り込めるかの検証	・他地域では作れない紙製品が持ち帰れるようになれば良い。 ・接客が不慣れ。
福塩線	JR 福塩線を活用した観光の可能性	・徳島の奥祖谷に近い印象。 ・駅員さんが手を振るなど、派手でない取組はどうか
上下白壁の町並み	町並みの内部の見学を加えることで、滞在時間の延長の可能性の検証	・コンパクトでやりやすいが、受入のキャパは小さい。 ・店員からの案内が欲しい。
備後府中焼き	（昼食）	・マップは良いが、紹介止まりのため、店の特長などを書くべき
府中味噌	府中の特産品「府中味噌」を活用した観光の可能性	・体験や工場見学を無理にお願いすると、事業者から協力が得られないのでは。

５．府中市における観光の現状と課題

今までの調査等を踏まえ、ここで府中市における観光の現状と課題を 6 点挙げます。

１ 観光客数の増加

① 総観光客数は長期的に見ると横ばいにあり、市内や近郊から訪れる人が多い傾向にあるため、市外や県外、海外から観光客を取り込むことが必要です。

② 訪れた観光客の満足度を高めることで、知り合いに勧め、自らもリピーターになってもらえることを目指した取組が必要です。

③ 観光客の回遊性を高めることで誘客の拡大を図るため、近隣市町とも連携しながら、観光地の間をつなぐ 2 次交通や、ツアーとしてのルートづくりを進める必要があります。

２ “稼ぐ観光”の実現

① 観光消費額は年々増加しているものの、観光客一人当たりの金額で備後地区全体と比べると半分程度に止まっており、まだ十分稼げていません。

② 府中市に訪れる観光客は、滞在時間が短く、大半が日帰り客であり、宿泊していない現状にあります。

③ 地域で稼いでいくためには、観光イベントの開催のみならず、宿泊先の確保・提供、地域資源を活かした体験メニューやお土産物づくり、魅力ある周遊観光コースづくりなどを通じ、観光客の満足度を高め、滞在時間を延ばしていくことが必要です。

３ 観光を推進する地域づくりと推進体制の整備

① 全国の観光地の中で府中市観光を際立たせていくためには、府中市で観光振興に取り組む主体が一体となって推進していく必要があります。

② 観光振興を図っていくためには、市民においても、観光振興により地域が活性化したと思えるとともに、市民の理解や参画が進むよう、施策を推進していくことが必要です。

③ 府中市全体で観光を推進していくためには、府中市観光協会がその中核を担っていく必要があります。

④ 学校教育と連携して観光に取り組むことは、子供たちが我がまちに誇りを持つことにつながるとともに、市外で暮らすようになっても、子供の頃の誇りを思い出すことで、U ターンのきっかけになることも期待されます。

４ 観光商品づくり

① 国内での観光のトレンドは、「モノ消費」から「コト消費」、「見る観光」から「体験する観光」にシフトしているため、訪れる人が楽しめ、満足する、多様な体験メニューづくりに取り組むことが必要です。

② これまでの体験メニューは、短時間で楽しむものが多いため、長時間で楽しめる体験メニュー開発や、短時間の体験を組み合わせるなどの工夫が必要です。

③ 府中市の北部にある「上下エリア」と南部の「府中エリア」では、歴史的背景や観光へのこれまでの取組などが異なるとともに、観光資源も観光施設や自然環境、産業、イベントなどに違いがあるため、それぞれのエリアの特色を活かした観光商品づくりを行う必要があります。

④ 「キャンプ」や「サイクリング」をはじめ、観光に関わる新たなトレンドについては、市外から誘客する方策として、観光客のニーズを把握しながら、検討していくことが必要です。

５ 受入環境の整備

① 訪れた観光客の誰もがストレスなく楽しんでもらうため、快適なトイレや公衆フリーＷｉ－Ｆｉ、キャッシュレス対応など、受入環境の整備が必要です。

② 海外からの観光客を受け入れるためには、案内看板へのピクトサインや外国語による表記や、観光客向けのパンフレットやホームページでの多言語化などの対応が必要です。

③ インバウンドの拡大を見据え、高速バスなどによる広島空港からのアクセス整備が必要です。

④ 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、訪れる観光客にとって、公衆衛生上の不安が無く、安全・安心に観光ができる環境を整えるとともに、訪れても安心であるという情報も発信していく必要があります。

６ プロモーション

① 府中市は、同じ「府中」という名前の市町があり、特に県外の人には知られていないため、府中らしさがイメージできるコンセプトを持ちながら、プロモーションに取り組み、ブランド化を図っていくことが必要です。

② ＩＣＴ化の進展を受け、これからの観光客は、スマートフォンをはじめ、インターネットからの情報を基に訪問先を決める人がますます増えてくることが予想されるため、観光のホームページやＳＮＳ等を通じ、府中市観光の特長や新たな取り組みなどの情報発信を充実していく必要があります。

③ 令和元(2020)年に広島県内で実施されるデスティネーションキャンペーンをはじめ、県や国が取り組む観光プロモーションや、東京にある府中市アンテナショップ「NEKI」と連携・活用した取り組みが必要です。

第4章

基本戦略と将来ビジョン

1．観光における府中市の強み・弱みと基本戦略

（1）SWOT 分析

府中市の観光を取り巻く環境を、外部環境・内部環境のプラス面・マイナス面から整理します。

	プラス面	マイナス面
内部要因	**強み（Strengths）**	**弱み（Weaknesses）**
	✓ 史跡や歴史的建造物など、歴史・文化あふれる地域資源が豊富 ✓ ものづくりなどの地元企業の力 ✓ 多くのファンを持つ備後府中焼きなどのグルメ ✓ 山や川が織り成す豊かな自然 ✓ 豊かな自然で作られる農産品 ✓ 独立心旺盛だが人に優しい地域性 ✓ 備後地域の市町間での広域観光を目指した連携 ✓ 上下エリアでの地域団体が連携したインバウンド観光への取組 ✓ 道の駅や古民家宿泊施設など、誘客が生まれる施設の開業	✓ 観光の推進体制が弱く、地域での担い手が不足 ✓ 目玉となる強い観光資源が少ない ✓ お金を払っても体験したくなるような観光メニューが乏しく、観光で稼げていない ✓ 魅力的な観光周遊コースが未整備 ✓ 地域内では車での移動が中心であり、二次交通アクセスが不充分 ✓ トイレや観光案内板など、海外等の観光客を受け入れる環境が不充分 ✓ 市外での観光地としての認知度・知名度が不足
外部要因	**機会（Opportunities）**	**脅威（Threats）**
	✓ 世界的に、観光は巨大な成長産業 ✓ 観光振興による地域の経済・雇用への高い波及効果 ✓ これまで成長の著しい、国内でのインバウンド需要 ✓ 有名観光地以外のローカルな本物の日本に触れる旅を求める動き ✓ 体験型観光や交流型観光、学びの観光へのニーズの高まり ✓ キャンプやサイクリングなどのアウトドアブーム ✓ デスティネーションキャンペーンなど、県内一体での観光推進	✓ 全国的なインバウンド誘客など、観光での地域間競争の激化 ✓ 人口減少や高齢化があいまった、全国的な観光業での人手不足 ✓ 県内における瀬戸内沿岸部への観光客の偏り ✓ 平成 30 年 7 月豪雨災害による観光地やアクセス道路への被害 ✓ 新型コロナウイルスによる世界規模での悪影響（観光業への打撃、東京五輪の延期）

（2）府中市がとるべき戦略

まず、府中市が持つ強みと外部環境の機会を捉え、積極的に観光振興を進める案を考えます。

①　強みを生かし、積極的に攻めていく戦略

府中市の強み　×　外部環境のプラス面
（ア）府中市の歴史・文化資源の活用　×　交流型観光へのニーズ ⇒　地元ガイドによる、物語性のある歴史町並み観光の促進
（イ）備後府中焼きなどのグルメ　×　ローカル志向／本物志向 ⇒　備後府中焼き等の食べ歩きコースの強化、周遊ルート、リピーター向け商品開発
（ウ）ものづくり系企業の力　×　体験型観光／学びツーリズム ⇒　教育旅行などの学生向けのものづくり体験商品
（エ）山や川が織り成す豊かな自然　×　アウトドアブーム ⇒　キャンプ場の整備やサイクルツーリズム

次に、機会を使って府中市の弱みをカバーする改善的戦略を挙げます。

②　追い風を活用し、弱点を改善する戦略

府中市の弱み　×　外部環境のプラス面
（ア）観光推進体制の弱さ　×　観光振興による地域の経済・雇用への波及効果 ⇒　地域の理解・協力に基づく、一体となった観光振興の推進
（イ）観光周遊コースが整っていない　×　本物志向／学び志向 ⇒　テーマ性のある観光ルートを整備
（ウ）観光で稼げていない　×　本物志向／学び志向 ⇒　オンリーワンコンテンツやお土産物の開発など、満足度の高い観光商品の開発
（エ）二次交通の弱さ　×　アウトドアブーム ⇒　サイクリングコースの設定、受入環境づくり
（オ）受入環境が整備されていない　×　成長著しいインバウンド需要 ⇒　インバウンドのニーズにも適った受入環境の整備
（カ）認知度・知名度不足　×　成長著しいインバウンド需要 ⇒　インバウンドを視野に入れたウェブプロモーション、SNS の活用

これら 2 つの戦略を基本として、アクションプランを策定します。

２．府中市での観光の将来像

（１）府中市での観光の目指す姿

「観光」が府中市を支える産業の一つとなること

自然、文化、歴史、ものづくり、食、ライフスタイル、住民などの府中市の魅力を生かし、市民の観光に対する機運を醸成し、観光客と市民が観光を通じた交流を図ります。

このような交流を通じて、市民も観光客も府中市に愛着を感じ、「府中ファン」となることで、市民のシビックプライドの醸成、市内外の関係人口の増加、そして、地域経済の成長に貢献する「産業としての観光」を確立します。

* ライフスタイル　：生活様式。転じて、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方
* シビックプライド：自分の地域に対する誇りや愛着。自分自身が関わって地域を良くしていこうとする自負心

（２）観光がもたらす効果

①　観光客に対して

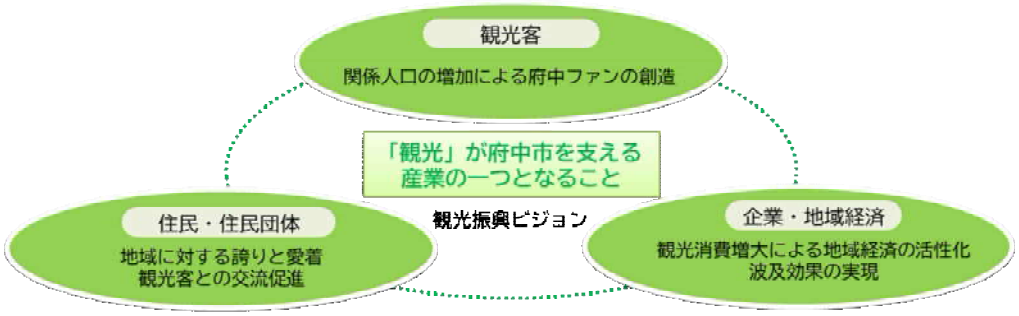
市外から訪れる観光客にあっては、住民に温かく迎えられ、新たな時代の中で古き良き時代の面影も残る府中市ならではの「歴史・文化」、「ものづくり」、「生活文化」などに触れ、交流し、共感することで、びんご府中のリピーターになることを目指します。

②　住民・住民団体に対して

観光に関わる住民や団体にあっては、市外から訪れる観光客を、納得いただける対価を得ながら、誇りある地域資源を更に磨き上げて活用し、交流し、おもてなしすることで、府中市の魅力に共感する人々を増やし、地域活性化の後押しにつなげていきます。

③　企業・地域経済に対して

市内の企業・団体にあっては、市外から訪れる観光客をお客様として、お互いが納得できる対価を得ながら、その企業・団体ならではの製品・サービスの紹介や提供を通じ、企業・団体の認知度向上を図ることで、府中市の魅力向上に貢献するとともに、将来的な売上の増加や人材の確保につなげます。



（3） 2つのエリアでの観光振興

府中市の北部にある上下エリアと南部の府中エリアでは、歴史的背景や観光資源、観光へのこれまでの取組などが大きく異なるため、それぞれの特色を活かした観光振興に取り組む必要があります。

＜上下エリアでの観光振興＞

（1） 白壁の町並みを中心に、農業等の地域資源を活かした通年での誘客
（2） 上下が核となり、周辺地域とつながる広域周遊観光
（3） 歴史的な建物の再生・活用による、国内外から誘客の拡大

① 上下エリアの現状

（上下エリアの歴史的特色）

上下町は江戸時代において、大森銀山と福山・笠岡を結び、人々の往来や物資の流通の役割を担った「石州街道」における宿場町として、発展した地でした。

また、上下町は、当時の藩主であった水野家が跡継ぎ不在で断絶してから、18 世紀の初めに上下町域の一部が幕府の直轄地となり、代官所（後の石見銀山大森代官所出張陣屋）が置かれることで、周辺の政治・経済の中心地となっていました。また、代官所が大森銀山の産出銀を元手に有力商人に金融貸付業（上下銀）を営ませたことで、広島や福山などの周辺地域にも及ぶ、金融を中心とした商業の町、豪商の町としても発展を続け、今なお江戸から明治・大正時代にかけて建てられた重厚な建物で構成される町並みが形成され、昭和初期の道路拡幅にも関わらずその繁栄ぶりが随所に残されています。

また、山陰・山陽を結ぶ交通の要衝であったことから、早くから都会の文化と触れ合う機会もあり、儒学者の頼山陽や菅茶山などの儒学者が訪れ、京都の俳人・蝶夢らと地元の俳人との交流により俳諧文化も培われました。明治時代には田山花袋もこの地を訪れており、代表作「蒲団」では、上下出身の文学者・岡田美知代がヒロインのモデルとなっています。

（上下エリアの主な観光資源）

上下の町並み一帯には、「天領」の時代の史跡や、明治・大正・昭和の頃の歴史的文化的な価値を持つ建造物が建ち並び、「白壁の町並み」として上下エリアでの観光の中核的な地区です。

「矢野地区」では、中核となる矢野温泉の温泉施設が休業中であるものの、あやめ園やオートキャンプ場、手打ちそば店などを備える「矢野温泉公園四季の里」を市が整備しています。

また、これらの地区以外の「周辺の地区」でも、季節の花が楽しめる自生地や庭園、地元の農産物・加工品を取り揃える直売施設、畜産体験ができる牧場など、自然や農畜産業を活用した資源が点在しています。

図表 32：上下地区の観光資源と楽しみ方

種 別	名 称	地 区	楽しみ方	備 考(イベント等)
歴史的町並み	白壁の町並み	①上下	町歩き	ひなまつり、白壁まつり等
歴史的	上下代官所跡	①上下	町歩き	県史跡
建造物等	上下町商工会館、旧片野製パン所	①上下	町歩き	国登録有形文化財
	上下キリスト教会、旧警察署	①上下	町歩き	
	翁座	①上下	館内見学	国登録有形文化財(答申)
	市上下歴史文化資料館	①上下	館内見学	
	民営資料館(眞野、重森、末広等)	①上下	館内見学	
	泊まれる町家「天領上下」	①上下	宿泊・観光案内	
自然公園等	矢野温泉公園 四季の里	②矢野	あやめ、紅葉、ｷｬﾝﾌﾟ	あやめまつり、かかしまつり
	矢野温泉	②矢野	温泉(休業中)	国民保養温泉地指定
	宇根カタクリの里	③周辺(宇根)	カタクリ自生地	宇根かたくりまつり
	京願坊の里	③周辺(矢多田)	ｱﾈﾓﾈ、ササ百合等	京願坊の里アネモネまつり
	ユキワリイチゲ自生地	③周辺(松崎)	ユキワリイチゲ等	
	おづかバラ園	③周辺(小塚)	庭園(バラ)	
	久井・矢野の岩海	②矢野	山歩き	
	岳山(矢多田登山口)	③周辺(矢多田)	登山	
神社仏閣	善昌寺	①上下	座禅	
	専教寺	①上下	俳句	
	安福寺	②矢野	庭園(あやめ)	
食・物販	上下ぎゅ～そば・うどん(各店舗)	①上下	食事	
	上下まんまる屋	①上下	食事、物販	JR 上下駅構内
	備後矢野駅食堂	②矢野	食事、物販	JR 備後矢野駅構内
	法界山産地直売センター	③周辺(井永)	物販	
体験	矢野温泉公園 四季の里【再掲】	②矢野	そば打ち、ﾋﾟｻﾞづくり	
	池田牧場(遊牧民)	③周辺(井永)	バター作り、搾乳	

(上下エリアでの観光振興へのこれまでの取組)

昭和 40 年代以降、過疎化や若者流出が進む中、上下町社会教育委員からの提唱により、歴史的伝統的な町並みの保存活用に向けた検討が始まりました。平成元(1989)年に旅行事業者出版部が「歴史のある町並み 200 選」に選定したことで、地域住民にも町並みづくりの機運が高まり、研究会活動やボランティアガイドなどにも取り組むようになりました。

また、平成 8(1996)年に建設省（現・国土交通省）により、歴史的文化的価値を有する道路として「石見銀山街道上下宿」が「歴史国道」として選定、平成 16(2004)年には夢街道ルネサンスへ指定されるとともに、平成 17(2005)年度の電線地中化工事により、町並みの景観が一層向上しており、重要伝統的建造物群保存地区を目指した活動につながっています。

近年では、県・市・上下まちづくり協議会が連携して、観光資源の価値向上事業（平成 27(2015)年度）として、大正期の芝居小屋「翁座」などの歴史的建造物の補修やモニターツアー、空き店舗の活用など、観光を中心とした活動に取り組み、これをきっかけに、上下町が外国人観光ツアーの行程に組み込まれ、「上下天領ツーリズム」と冠し、地域をあげてのおもてなしを実践しています。

また、この協議会では、国や県、市の支援を得ながら、地域資源を活用し、上下町内全域を「おもてなし空間」として来訪者受入を目指しており、古民家を活用した宿泊施設の整備のほか、外国語対応を含めた観光人材の育成などに取り組んでいます。

②　上下エリアにおける観光振興の課題

（ア）通年の誘客を実現する観光素材づくり

上下エリアでは、「天領上下ひなまつり」や「白壁まつり」などのイベントを中心とした期間限定での集客が中心となっているため、年間を通じての来訪を目指し、観光客に第一の目的地として選んでもらえるような、歴史・文化や農業等を組み合わせた観光素材づくりに取り組む必要があります。

（イ）上下エリアにある資源の活用や周辺市町との広域連携による観光振興

白壁の町並みの周辺にある、矢野温泉公園四季の里や伝統芸能、温泉などの観光資源や、６次産業化に取り組む農業などの地域資源が十分に生かし切れておらず、また、世羅町や神石高原町などの近隣市町にある観光資源とまだ十分連携できていません。

（ウ）白壁の町並みの保存・活用

白壁の町並みという景観を形成する建物については、その歴史的な価値を可能な限り後世に残し、伝えていくため、所有者の理解を得ながら保存を促進するとともに、市外からの定住者等による利用を含めた空き家の活用・保存を促していく必要があります。

③　上下エリアにおける観光の目指す姿

（ア）白壁の町並みを中心に農業等の地域資源を活かした通年での誘客

白壁の町並みの中にある、宿泊と観光案内機能を併せ持つ「泊まれる町家　天領上下」を基点として、上下地区に点在する飲食店・各種資料館や、矢野地区の四季の里などの観光関連施設、農業エリアである周辺地区の地域住民・団体が提供する民泊・農泊や地域資源を活かした新たな体験・交流メニュー、上下陣屋(代官所)や温泉資源の活用など、上下エリアでの多様な楽しみ方を宿泊者や来訪者に提供し、どの季節でも周遊・滞在してもらうことで、地域全体で稼ぎ、持続的に観光に取り組める仕組みが実現しています。

（イ）上下が核となり、周辺地域とつながる広域周遊観光

上下エリアに隣接する近隣市町や府中エリアの地域団体・観光関連事業者・団体等と連携し、それぞれの観光資源を組み合わせた魅力あるルートづくりや旅行事業者による商品化、市町が共同したプロモーションなどに取り組むことで、上下を中心に周遊して訪れる客が増えるなど、新規客の開拓が進んでいます。

（ウ）歴史的な建物の再生・活用による、国内外から誘客の拡大

白壁の町並みという景観を形成する数々の建物について、その歴史的な価値を可能な限り後世に残し、伝えていくため、行政と市民が連携して、保存・活用に取り組んでいる。また、木造建築芝居小屋「翁座」が、賑わいを見せていた当時の姿に再現され、一般に公開されることで、白壁の町並みとともに上下エリアのランドマークとして、インバウンドに対応した展示や催し物等を提供することで、国内外から多くの人々が年間を通じて訪れています。

*ランドマーク：地域の景観を特徴づける目印となるもの。

＜府中エリアでの観光振興＞

（1） 地域が主体となり、府中らしい地域資源を観光に活用する体制づくり
（2） 「ものづくり」や「食」を活かした観光振興
（3） 近世から今につながる歴史を感じさせる町並みの再生・活用

① 府中エリアの現状

（府中エリアの歴史的特色）

府中市の市街地は、中心市街地周辺地域は、奈良時代から平安時代末までの約 500 年間にわたって「備後国」の行政府である国府が置かれ、備後地域の政治・経済・文化の中心となりました。国府跡における考古学的な発掘調査では、鋳造遺構（鋳型や鉱滓など）や漆容器（接着剤として）等が出土しており、国府という都市空間の中で必要な産業がすでにこの地に根付いていたことがわかっています。

中世以降は行政機関としての国府は機能しなくなりますが、府中市街地は依然として、情報・物資とともに、多くの人々が関わりを持つ備後南部の内陸拠点〝符中（ふちゅう）〟としてあり続けました。

近世・江戸時代には、瀬戸内側と日本海側を結ぶ主要街道である「石州街道」の宿場町が出口町から府中町一帯に発展し、また農林産物の集散地であるとともに、繊維・木工・食品（醸造業）などの家内工業が盛んとなりました。

明治期には、金属加工や繊維、染色等の多彩な産業が集積することで、「ものづくりのまち」としての基盤が生まれました。石州街道沿いにある、明治創業の老舗割烹旅館「恋しき」は、和風建築として増改築されながら格式高い交流空間として名声を高め、明治後期に東の町外れに建設された洋館「旧芦品郡役所」等とともに、海外の最新デザインを随所に取り入れた町のシンボル的な建物でした。

明治後半以降、この郡役所周辺に専売局や軽便鉄道府中町駅などの主要施設が建設されることで、新たな市街地が形成・発展したことから、出口通りから府中駅にかけてのエリアでは、近世から明治・大正・昭和と連続した時代性を感じさせる町並みが、今なお残されています。

（府中エリアの主な観光資源）

府中市の市街地には、パワースポットとして参拝客の絶えない「首無地蔵」をはじめ、「日本一の石灯篭」、「石州街道出口通り」、「恋しき」など、歩いて巡る観光地があり、また近年では、ご当地グルメ「備後府中焼き」が市内外での認知度が高く、市において「道の駅びんご府中」や「キテラスふちゅう」などの集客施設や、大規模イベント開催のための広場としての「お祭り広場」・「お祭り通り」などを整備しています。

また、市街地の周辺地域においても、天然のすべり滝として長年人気を誇る「三郎の滝」

や、「羽高湖」、「河佐峡」、「オオムラサキの里」などの自然を活用したスポットをはじめ、季節の花が見学できる寺院などが、数多く点在しています。

図表 33：府中エリアの観光資源と楽しみ方

種 別	名 称	地 区	楽しみ方	備 考（イベント等）
歴史的町並み	石州街道出口通り	①市街（出口町）	町歩き	ひなまつり、ほたる祭り
歴史的建造物等	恋しき	①市街（府中町）	施設・庭園見学	国登録有形文化財
	市歴史民俗資料館（旧芦品郡役所）	②周辺（土生町）	国府資料見学 古代体験	市指定重要有形文化財
	日本一の石灯篭（金毘羅神社）	①市街（府中町）	町歩き	市指定重要有形文化財
自然公園等	三郎の滝	②周辺（三郎丸町）	滝滑り、紅葉	三郎の滝ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ、紅葉祭り
	羽高湖 森林公園	②周辺（諸毛町）	キャンプ、桜	湖畔ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ、ごんぼう祭り
	河佐峡	②周辺（諸毛町）	川遊び、キャンプ	河佐峡ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ
	府中公園	①市街（府中町）	桜、大賀ハス	備後国府さくらまつり
	オオムラサキの里	②周辺（僧殿町）	国蝶の観察	ｵｵﾑﾗｻｷを自然に帰す集い
	七ツ池自然公園	②周辺（本山町）	ハイキング	
	お祭り広場・お祭り通り	①市外（府中町）	イベント広場	備後国府まつり、食博など
	岳山（斗升登山口）	②周辺（斗升町）	登山	
神社仏閣	首無地蔵	①市街（出口町）	祈願	春の大祭、秋の大祭
	神宮寺	②周辺（栗柄町）	庭園（紫陽花）	あじさい祭り
	安楽寺	②周辺（目崎町）	庭園（さつき）	安楽寺さつき祭り
	十輪院	②周辺（鵜飼町）	祈願、写経堂	火渡り秘法
	府中八幡神社	①市街（出口町）	紅葉	
食・物販	備後府中焼き（各店舗）	（各所）	食事	備後府中焼きの日（2月 28 日）
	道の駅びんご府中	①市街（府川町）	食事、物販	
産業観光	民間事業所	（各所）	工場見学、買物 味噌づくり等体験	
体験	キテラスふちゅう	①市街（府中町）	府中焼き体験	
	協和公民館（阿字和紙）	②周辺（阿字町・木野山町）	紙すき体験	

（府中エリアでの観光振興へのこれまでの取組）

平成 19（2007）年度策定の府中市中心市街地活性化基本計画において、「賑わいの創出」と「歩いて暮らせる中心市街地の形成」を目標に掲げ、府中市の顔となる拠点の整備、歴史的・文化的資源の再確認、周辺観光施設やイベントとの連携などにより、回遊性を向上させ、交流機会の増加を促すよう、取り組みを進めてきました。

具体的には、ハード事業として、市民や来街者の交流拠点としての「キテラスふちゅう」や「お祭り広場」の整備、交流・社交の場としての「恋しき」の保存・再生事業、首無地蔵の参拝客を商店街や恋しきに誘導する回遊路としての石州街道出口地区街なみ環境整備などを進め、ソフト事業として、「備後国府まつり」、「食で賑わうまちおこし（食博）」、「２０１４関西・中国・四国 B-1 グランプリ in 府中」などを企画・開催しています。

② 府中エリアにおける観光振興の課題

（ア）観光客を受け入れる機運の醸成

府中エリアでの観光は、見学やイベントによる滞在時間の短い観光が中心となっており、先進的な観光地に比べ、観光による地域経済への効果が少なく、日常的に訪れる観光客に対するおもてなしなどの機運や、観光客のニーズに合わせることで満足感を

高めていく経験・ノウハウも少ない現状です。

（イ）産業観光への理解

府中エリアの特長として、ものづくり産業の集積があり、これまでも府中商工会議所を中心に産業観光に取り組まれてきましたが、受け入れる企業側にとって生産活動に支障が生じるなどの課題があります。

（ウ）府中エリアを代表する特別感のある目的地づくり

府中エリアには、気軽に訪れることのできる観光スポットやイベントがあるものの、遠方からもわざわざ足を運んでみたくなる素材として磨きがかけられていないため、観光事業者や外国人観光客も引き付けられるような、府中エリアならではの歴史やものづくりなどの資源を活用した、質の高い観光ブランドづくりに取り組む必要があります。

③　府中エリアにおける観光の目指す姿

（ア）地域が主体となり、府中らしい地域資源を観光に活用する体制づくり

それぞれの地域に根差した歴史･文化や自然等の資源を基に、地域の団体が主体となり、観光協会や専門家等の意見を聞きながら、「府中市らしさ」のある観光素材を磨き、満足度の高い体験メニューとして市外からの観光客をもてなすことで、地域が活性化していきます。

（イ）「ものづくり」や「食」を活かした観光振興

府中市の特色である「ものづくり」を、キャリア教育を中心とした教育旅行として訪れる学生を中心にターゲットを絞り、作る楽しさを共有していくことで、「ものづくりのまち府中」を実感し、若年層にものづくりに関心を持つ人が増え、リピーターにつながっています。

また、「備後府中焼き」をはじめとする、府中ならではの食を味わうことで、びんご府中ファンとなり、口コミなどでその魅力が広がっています。

（ウ）近世から今につながる歴史を感じさせる町並みの再生・活用

石州街道沿いにある「恋しき」など数々の歴史的建物の織り成す町並みが、特別感のある、このエリアのランドマークとして広く認知され、その建物の持つ歴史的・文化的価値の活用にあわせ、建物の背景にある「ものづくり」をはじめとする地域産業の発展などの歴史ものがたりも共に伝えていくことで、これらを魅力に感じる観光客が市外･海外から訪れ、市街地を拠点に周辺地域の観光スポットにも周遊しています。

第5章

観光振興アクションプラン

１．基本方針　　～ 観光振興に向けた基本的な考え方～

方針	内容
（１）選ばれる観光地づくり (1)-1　観光素材の開発・磨き上げ	・他との「違い」や「物語性」を際立たせた観光商品の開発・磨き上げ ・既存の観光資源を組み合せることで、優位性のある商品を開発 ・誘客するターゲットを想定した上での、府中市らしさを伝えるＰＲ ・商品開発にあたって、市外の人からの評価によるチェック
(1)-2　ターゲット設定 ※ 新型コロナ感染の収束後	・市全体でのターゲットの設定と、個別商品でのターゲット設定 ・①福山市・尾道市　②広島市　③世羅町・神石高原町 からの誘客 ・外国人観光客は、上下エリアでは実績ある欧米豪を中心に、府中エリアはアジアを中心に、トライアルとしての誘客 ・個人・グループ客を中心としたアプローチ ・ビジネス客に着目したアプローチ
(1)-3　府中市らしさを伝えるプロモーション	・府中市らしさがイメージできるキーワードを抽出し（歴史・文化、ものづくり、住民との交流）、コンセプトやキャッチフレーズで発信
（２）地域で稼ぐ観光の実現	・満足度の高い観光商品やお土産物の開発 ・長期滞在型を志向した観光商品の開発 ・稼ぐ観光に資する事業に挑戦する人への立ち上がり支援
（３）観光を推進する体制づくり	・観光が経済成長を支える産業となることを目指し、オール府中の体制で推進 ・市民等に対する観光振興への理解や参加の促進（インナープロモーションの推進） ・「新しい生活様式」での安全・安心な観光

（１）選ばれる観光地づくり

■ ポイント

① 市外から訪れた人が楽しめる「府中市らしい」、「物語性のある」観光素材となるよう、どこからどのような観光客を呼び込むかを考えつつ、市外の人の意見を聞きながら、魅力ある資源を磨き上げ、育成していきます。

② 磨き上げた観光素材について、共感してもらえた観光客に知り合いの人へ勧めてもらうとともに、ターゲットとして設定した市外の人たちにその魅力が分かりやすく伝わるよう情報発信することで、「びんご府中ファン」を増やしていきます。

現 状	・府中市における総観光客数は、備後地区（4市2町）の中で下から2番目に少ない状況です。 ・平成に入ってからの総観光客数の推移を見ると、元年には 100 万人台であったものの、17 年以降減少に転じ 22 年には 70 万人を割り込みました。その後、「恋しき」のリニューアル(24 年)や、「キテラスふちゅう」(27 年)や「道の駅びんご府中」(28 年)の整備などにより 100 万人台を回復しましたが、長期的に見ると伸び悩んでいます。 ・観光客は、県外よりも県内から訪れる人が占める割合が高く（府中市での県内客：84%、県全体での県内客：55%）、県外からの観光客を呼び込めていません。 ・府中市の認知度は、県内を訪れる観光客では約6割ですが、東京都内では1割程度であり、外国人観光客にはほぼ知られていません。 ・市内・県内・都内を訪れる観光客に対して、旅行で行き先を選ぶ際に重視するポイントを聞いたところ、「その土地ならでは」という項目が上位に挙がっており、その地域に根付いた観光資源が好まれる傾向が現れています。 ・府中市を知っている県内観光客のうち、府中市を訪れてみたいと思う割合は半数でした。また、

	府中市を知らなかった東京都内の観光客に対して、観光情報を伝えした上で来訪を希望した人は、約半数に止まりました。 ・ 県内観光客に対して、府中市の**観光資源で興味のあるもの**を聞いたところ、**「府中家具」、「備後府中焼き」、「府中味噌」が上位**に挙がりました。 参照【第３章】図表 27：総観光客数の推移（府中市・備後地区・広島県）、 図表 28：発地別総観光客数の割合（広島県・備後地区・府中市）、 【アンケート・クロス集計（１）（３）（４）】、 【アンケート調査（②広島県内）】問 10
課 題	・ 府中市は市外において**観光地としての認知度が低い**ため、**遠くからでもわざわざ訪れたくなるような観光資源への魅力づけに注力**するとともに、その**魅力が伝わりやすい情報発信**となるように工夫する必要があります。
方向性	・ 県内外から府中市を訪問先として選んでもらうため、**他地域との違いや物語性を際立たせた「観光素材の開発・磨き上げ」**を行い、**観光素材ごとに、どこから誰を誘客するかという「ターゲット設定」**を行います。 ・ **府中市と聞いて具体的に受け手がイメージできる**よう、観光資源に基づいた**「府中市らしい魅力」を発信する**プロモーションを企画・展開します。

（１）－１　観光素材の開発・磨き上げ

現 状	・ 府中市では地域資源を活用した観光素材づくりに取り組んでいるものの、市外から訪れる**観光客のニーズに合致した商品づくりの方法を模索している段階**です。 ・ 府中市においては、観光客にとって**第一の目的地としてもらえるような、誘客力の極めて高い観光素材はまだありません**。 ・ 市内・県内・都内を訪れる観光客に対して、旅行で良く訪れる場所を聞いたところ、いずれも「定番の観光スポット」、「食事・グルメ」、「温泉」などが上位に挙がっています。 ・ 府中市に訪れたことのある市内・県内の観光客に対して、**府中市観光への満足度**を聞いたところ、「とても満足」及び「満足」と答える割合は市内で約7割、県内では約5割を占める一方で、**「とても満足」という積極的な回答はいずれも1割程度**に止まっています。また、「どちらともいえない」と答えた人が市内で2割、県内で5割近くを占め、**全体として満足度は高い状況とは言えません**。 ・ 府中市を訪れたことのある観光客のうち、５～6割の人が、再び「とても訪問したい」または「訪問したい」というリピートの意向を示されたものの、**「とても訪問したい」という強い再訪意向は約1割**に止まっています。また、「わからない」という回答も多く、県内観光客では半数近くを占めています。 ・ 府中市を訪れたことのある観光客のうち、府中市を家族・知人・友人に勧めたいと思うかについて、**「とても勧めたい」という積極的な回答は1割**前後に止まっています。また、「どちらでもない」と答えた人が市内で3割、県内で5割以上を占めています。 参照【アンケート・クロス集計（５）（６）（７）（８）】
課 題	・ 提供する観光素材は、イベントを含め、**「府中市ならでは」という他地域との「違い」を際立たせて磨く**とともに、そのものが持つ**「物語性」を明らかにし、魅力を高めていく**ことが必要です。 ・ 観光素材は、地元で売りたいものを売るだけの自己満足に終わってしまいがちであるため、**自己満足を排除するための外部の人から評価を聞くこと**が必要です。 ・ 市外の観光客に当市を目的地としてもらえるような、**メインのコンテンツとともに、あわせて立ち寄ってもらえるようなサブのコンテンツも用意**する必要があります。 ・ 数ある地域資源の中から磨き上げを行う場合には、まずは優先順位をつけてから取り組むことが必要です。

方向性	・観光素材の開発に当たっては、事前に外部人材からのチェックや評価を受けることで、市外から訪れる観光客に興味を持ってもらえる商品に育てていきます。

＜チェックリストのイメージ＞

- □ **① 自己満足的に「売りたい商品」を売るのではなく、観光客にとって魅力ある「売れる商品」を売ること**
  - ・ 売れる商品かどうかは、よそ者（府中市から遠くに住む人や遠くから転居してきた人）からの評価を、複数人から受けること
  - ・ 年配の男性だけでなく、若者や女性の評価を受けること
- □ **② 他の地域には無い、「府中市ならでは」の商品を売ること**
  - ・「府中市ならでは」について具体的に文章化し、その価値を際立たせること
- □ **③ 他の地域に同じ商品がある場合は、「違い・特徴づけ」を具体的に文章化し、その価値を際立たせること**
  - ・「違い・特徴づけ」は、他の地域でも言えることではない商品にすること
- □ **④ 商品には必ず、歴史・文化などの「物語」を持たせること**
- □ **⑤ 商品ごとに、売る先となる「ターゲット」をあらかじめ設定すること**
  - ・ 観光客の居住エリアのほか、年代や性別、趣味嗜好などを参考に、具体にターゲット化すること
  - ・ 商品には、通用しないターゲット層があることを心得ること
- □ **⑥ 今は売れない商品でも、売れるように磨き上げること**
  - ・ 他の商品と組み合わせて売ることも考えること
- □ **⑦ 商品づくりにどんどんチャレンジすること**
  - ・ ただし、売れる商品は「千にひとつ」と心得ること
- □ **⑧ 数年間売れない商品は、あきらめて、次の商品を売ること**
- □ **⑨ インターネットでの情報発信には、スマートフォンによる閲覧に対応すること**
- □ **⑩ 情報発信の際は、府中市をイメージさせるようなデザインや配色等に努めること**

・ 観光素材を開発している地域団体等を対象に、外部専門家を招聘して観光素材を評価してもらう会議を開催することで、地域における観光素材の磨き上げを支援します。

・ チェック項目をクリアできた商品については、対外的に情報発信し、クリアできなかった商品については、外部人材からの助言をもらいながら、魅力を高める磨き上げに継続的に取り組みます。

（1）－２　ターゲット設定

重点ターゲット（テーマ × 属性）

1．歴史まち歩き関心層
- 居住エリア：県内・近隣県を中心に首都圏・関西、海外（欧米豪）　年齢層：不問　旅行形態：夫婦、一人
- 楽しみ方：ガイドや住民と交流しながら、天領・白壁の町並みや国府、石州街道等の歴史や文化に触れる「まち歩き」

2．グルメ関心層
- 居住エリア：県内・近隣県を中心に首都圏・関西　年齢層：若年～中年層　旅行形態：仲間、一人
- 楽しみ方：店主や常連客との交流を通じて、備後府中焼きなどのグルメを味わい、食べ比べ、口(くち)コミする

3．学びを求める層　～「教育旅行」と「府中市らしさ（ものづくり産業、歴史・文化等）」とのコラボレーション
- 居住エリア：近隣県を中心に首都圏・関西、海外（アジア）　年齢層：学生　旅行形態：教育旅行団体
- 楽しみ方：職人や経営者、伝承者等との交流を通じて、府中市に息づくものづくり産業、歴史・文化などを体感

4．アウトドア層
- 居住エリア：県内・近隣県　年齢層：若年～中年層　旅行形態：家族、仲間、一人
- 楽しみ方：自然の中で、遊び、癒される（キャンプ：羽高湖・河佐峡・四季の里、水遊び：三郎の滝、河佐峡、登山：岳山等）
  ルートで交流しながら楽しむ（サイクリング：「上下」と「府中・世羅・神石高原」をつなぐルート、JR福塩線での輪行）

現 状	・観光を振興するにあたりこれまでは、どこから誰を呼び込むのかという**ターゲットが設定されていません**。 ・観光客は、県外から呼び込めておらず、また、国を挙げてインバウンド観光を推進する中で、**総観光客数に占める外国人観光客数の割合は、**県全体（4.23％）と比べて、**極めて少ない**（0.03％）状況です。 ・ビジョン策定にあたり実施した観光客へのアンケート調査では、広島県内の観光客のうち、府中市に来訪経験がある府中市外の人に来訪目的を聞いたところ、「観光」が3割以上を占める一方で、「ビジネス目的」も3割近くを占め、産業が集積する地域としての特色が見られます。 参照【第３章】図表 28：発地別総観光客数の割合（広島県・備後地区・府中市） 【アンケート調査（②広島県内）】問９
課 題	・誘客に当たっては、観光客の満足度を高めるため、地域資源ごとに、その資源に合うターゲット（居住地、年齢層、旅行形態（個人・団体）等）を想定する必要があります。
方向性	・観光振興にあたっては、**市全体で重点的に誘客するターゲットを設定**するとともに、**個別の観光素材においても、その魅力で引き付けやすいターゲットをそれぞれ想定して設定する**ことで、効果的なプロモーションを選択・実施し、多様な客層での誘客に繋げていきます。（上記枠内の4つのターゲット） ・まだ誘客力の高い観光素材が無い現状では、当市を県外から訪れる第一目的地にしてもらうことは難しいため、第一段階として、 **① 備後地区の中で観光客数の多い「福山市」・「尾道市」** **② 国内外からの観光客数が最も多く、高速バスでつながる「広島市」** **③ 隣接する「世羅町」や「神石高原町」等** に訪れる国内外の観光客に対し、**第二・第三の目的地として足を延ばしてもらう**よう、磨いた観光素材を基に、アプローチします。 ・インバウンド客については、 **① 上下エリアでは、これまでの実績があり、日本の歴史・文化を好む英国などの欧米豪を中心に** **② 府中エリアでは、市内企業との関係のあるアジアを中心に** 誘客を想定し、観光素材の開発や磨き上げに取り組むとともに、受入人材を育成することで、訪問先の選択肢を増やします。 ・誘客力が高く大人数で楽しめる観光素材がまだ無く、大人数が宿泊できる施設も少ないため、**団体客よりも個人・グループ客をメインターゲットとして設定**します。 ・歴史ファンや神社仏閣ファン、キャンパー、サイクリスト、鉄道ファンなど、**趣味をベースにした誘客**や、企業の集積を活用し、**ビジネス客に対して仕事帰りなどに立ち寄ってもらう誘客**を図るなど、新たな視点での取組も検討・実施していきます。

（1）－３ 府中市らしさを伝えるプロモーション

現 状	・「国府」と「天領」という異なる歴史的背景を持つ、2つのエリアが存在します。 ・ 府中エリアでは、備後国府跡に関する講演会や歴史講座・古代体験イベントが開催されたり、石州街道出口通りでの歴史的町並みでの観光ガイドや、府中商工会議所と地元企業が連携し、「ものづくりのまち」という特色を生かした「産業観光」に取り組んできました。 ・ 上下エリアでは、地域で連携して江戸時代からの「白壁の町並み」を生かした観光振興に取り組んでいます。
課 題	・ 他地域との観光と伍していくためには、府中市での観光の特色を一言で伝えられ、聞くものがイメージできるよう、整理しておく必要があります。
方向性	・ 他の地域と比べても違いがあり、府中市らしさがイメージできるキーワードを選び出し、それらを基にコンセプトを定め、府中市での観光の特色を一言で表せるキャッチフレーズにより周知し、県内外の観光客の誘客につなげていきます。

キーワード

（1） 府中・上下エリアの歴史・文化（「備後国府」の府中、「天領上下・白壁の町並み」の上下）
（2） 府中市が誇るものづくり（「ものづくり・匠の技」、「ものづくりを育んだ風土」、「100 年企業」）
（3） 地域住民と観光客の交流（交流を通じて伝わる「府中らしさ」「日々の暮らしぶり」）

基本方針

府中市にある観光資源を、「ガイド」、「観光事業者」、「ものづくり事業者」などの「地域の人＝びんご府中人（びと）」を通じて、訪れる観光客にお届けします。

地域を代表する観光資源やものづくりなどの地域資源の魅力はもちろん、府中が誇る歴史・文化を中心に、人々の営み＝ライフスタイルそのものを府中の魅力として、びんご府中人が内外に発信します。

歴史・文化やものづくりの技など、有形・無形の「府中らしいライフスタイル」を観光客が安心感を持って体感できる今までにない観光地が、府中が目指す観光のかたちです。

魅力的な観光資源 × 住民との交流 × ライフスタイルの体感
⇒ びんご府中らしい観光

コンセプト

観光客と住民が交流する“ライフスタイルツーリズム”の推進地、びんご府中
～ 歴史・文化、ものづくりなど、びんご府中でのライフスタイルを交流しながら楽しむ～

※ 府中らしいライフスタイルツーリズムとは

びんご府中人と交流することを通じて、脈々と継承している歴史・文化、暮らしを支えてきた「ものづくり」などの産業を体感し、あわせて日々の暮らしぶりを垣間見てもらうことで、ありのままのびんご府中を感じてもらい、びんご府中のファンになってもらう観光の形。

（2） 地域で稼ぐ観光の実現

■ ポイント

① 府中市を訪れる観光客は、日帰り客が大半で、滞在時間も短いため、観光に係る消費額が少なくなっています。

② 観光振興へ継続的に取り組むためには「稼ぐ」ことが必要であり、満足度の高い観光素材・お土産物などの開発や、民泊・農泊の推進などの長期滞在型の観光への取り組みを促進することで、「地域で稼ぐ観光」を実現していきます。

現 状	・ 一人当たりの観光消費額は、備後地区（4市2町）の中でも 4 番目と低位です。 ・ 日帰り・宿泊の別では、宿泊施設が少ないこともあり、宿泊客の割合は極めて低く、（府中市：1%、県全体：14%）日帰り客がほとんどです。 ・ 市内の観光客に対し、一般的な日帰り旅行の際の一人当たりの旅行代金を聞いたところ、「5,000 円以上 10,000 円未満」との回答が最も多く、10,000 円以上を使う人も 4 割近くいる反面、府中市内での消費額を聞いたところ、「2,000 円未満」との回答が最も多く、全くお金を使わなかった人も約3割いるなど、市内での消費が少ない現状です。 ・ 府中市に来訪している又は来訪経験のある観光客に対して、市内での滞在時間を聞いたところ、「2時間以内」、「半日以内」が多く、立ち寄りや日帰りで訪れています。 ・ 広島県内の観光客に対して府中市の来訪経験を聞いたところ、そもそも府中市を知らない人が約4割、知っているが訪れたことがない人が2割いるものの、府中市を訪れたことのある人の来訪頻度は「3回以上」の割合が高く、一定数がリピートしています。これは、府中市内の観光客における来訪頻度でも、同様の傾向が伺えます。 参照【第３章】図表 30：観光消費額の推移 【アンケート調査（①府中市内）】問 15、問 29 【アンケート・クロス集計（10）（11）】
課 題	・ 観光が、ものづくり産業に次ぐ、府中市を支える産業の一つとなるためには、観光消費額の拡大を促進するとともに、稼ぐ方法を具体的にイメージして共有する必要があります。 ・ 「府中市ならでは」の地域資源を評価して、磨きをかけることで、外から人を呼び、「稼ぐ観光」につなげる必要がある。 ・ 観光消費額を増やすには、市内での宿泊客数の増加が効果的であり、民泊や農泊の促進が考えられるものの、その実現に向けては、事業を始める人への動機づけや後押しが必要です。
方向性	・ 観光振興へ継続的に取り組むため、満足度の高い観光素材やお土産物を開発したり、長期滞在型の観光への取り組みを促進することで、「稼ぐ観光」を実現します。 ・ 普段は未公開の宝物を特別に公開して、特別料金を設定するなど、観光客の満足度に応じた新たな観光素材の企画も、地域と連携しながら推奨していきます。 ・ 民泊や農泊をはじめ、稼ぐ観光の実現に資する取組に対しては、取り組みを促すための立ち上がり支援を行います。

（3） 観光を推進する地域づくり

■ ポイント

① 地域経済の底上げや、定住人口や交流人口、関係人口の拡大へとつなげていく方策として観光振興に取り組み、「観光」が「ものづくり」とともに、経済成長を支える産業の一つとなることを目指すため、オール府中の体制で推進します。

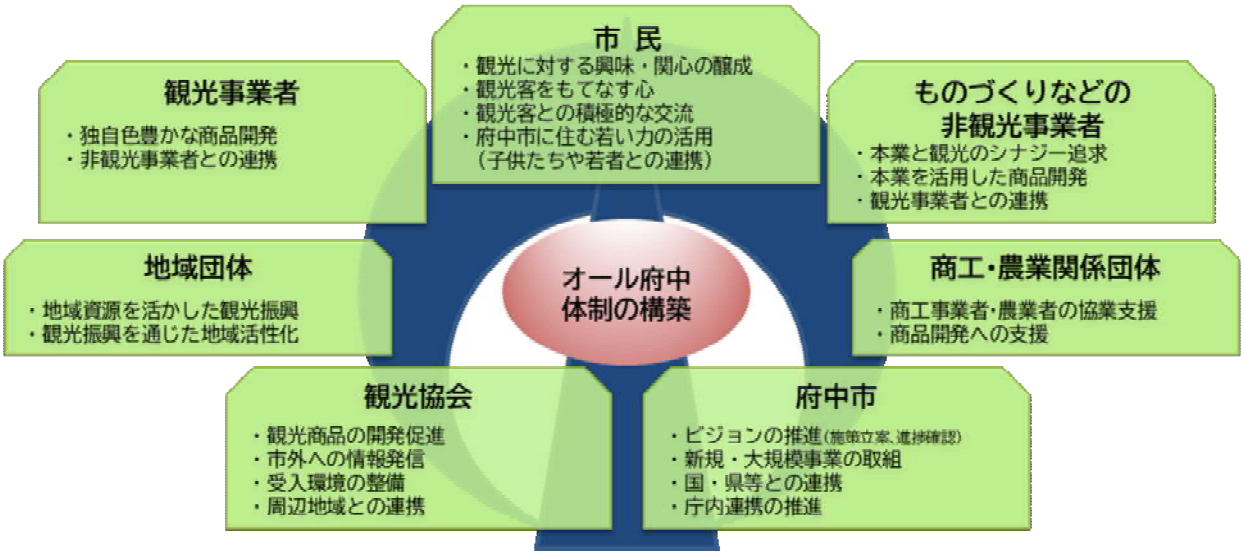
② 観光振興を推進するに当たり、市民や企業等に対して、観光客を受け入れていくことに広く理解を得るとともに、それぞれの地域での観光振興に参加・協力し、観光客と交流してもらえるよう、「インナープロモーション」の取組を進めます。

③ 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い求められる「新たな生活様式」を踏まえ、観光客側にとっても、受入側にとっても、安全・安心に楽しめる観光地づくりを進めます。 新型コロナウイルスへの対応

<table>
<tr><td>現 状</td><td>・観光振興に当たっては、これまで、府中市や府中市観光協会はもとより、ガイド協会やまちづくり団体などの地域団体や、府中商工会議所、上下町商工会などの各種団体も、これまで推進に寄与しています。
・観光に取り組む地域団体では、構成メンバーの高齢化が進んでいます。
・令和元(2019)年末から、新型コロナウイルスの世界的拡大に伴い、市民生活において、感染防止のための行動変容が求められています。</td></tr>
<tr><td>課 題</td><td>・全国の市町でも観光振興に取り組んでおり、その中で地域間での競争に伍していくためには、市や観光協会、地域団体など、<u>観光に関わる人や団体同士で連携し、観光振興に興味を持つ若者などの市民も参加しながら、推進</u>していくことが必要です。
・<u>観光振興を図っていくためには、</u>観光客が楽しむだけではなく、<u>市民においても、観光振興により地域が活性化したと思え、また市民の理解や参画が進んでいくよう、施策を推進していくことが必要</u>です。
・新型コロナウイルスの世界的な広まりに伴い、今後もしばらくは、感染防止のための「新しい生活様式」の徹底が求められるとともに、<u>観光地においても、清潔性の確保や接触機会を減らしたおもてなしなど、十分な感染防止対策にニーズが高まることが予想</u>されます。</td></tr>
<tr><td>方向性</td><td>・<u>府中市の地域経済の底上げや、定住人口・交流人口・関係人口の拡大など、地域の活性化につなげていく方策として、観光振興に取り組み、</u>「観光」が「ものづくり」とともに、地域経済の成長を支える産業の一つとなることを目指すため、<u>オール府中の体制で推進</u>していきます。
<table>
<tr><td>府中市</td><td>○ 府中市観光協会と連携しながら、施策の立案・進捗管理、市予算の確保を主に担うことで、府中市での観光の振興を図る。
○ 観光振興に当たっては、市役所内部においても歴史・文化、製造業・サービス業・農業等の産業、中心市街地活性化などの幅広い行政分野との連携が不可欠であることから、これらを所掌する関係部署と協力・連携しながら取り組む。</td></tr>
<tr><td>一般社団法人
府中市観光協会</td><td>○ 一般社団法人化に伴い、積極的な事業展開が可能となることから、観光促進事業の受託や旅行業の取得による誘客など、府中市観光の推進役として活動の範囲を広げていく。</td></tr>
<tr><td>市民</td><td>○ 府中市を訪れてもらう観光に対して興味・関心を持ち、地域に暮らす子供たちや若者など幅広い世代で、びんご府中を愛する心を持ちながら、ガイドや交流など様々な形で観光客をもてなすことで、びんご府中ファンを増やし、地域の活性化に一緒になって貢献していく。</td></tr>
<tr><td>地域団体</td><td>○ 観光客の来訪を通じた地域活性化のため、地域住民等が相互に連携を図り、観光協会や外部専門家等からの助言・支援を得ながら、地域の資源を活かした観光振興に主体的に取り組む。</td></tr>
<tr><td>観光事業者</td><td>○ 飲食・販売・宿泊・輸送等の快適なサービスを観光客に提供するほか、非観光事業者等とも連携しながら「府中中らしい」特色のある観光商品の開発等を行う。</td></tr>
<tr><td>非観光事業者
（商工・農業）</td><td>○ 本業を活用した観光素材づくりを行うなど、本業と観光を結び付けることで、収益拡大を図るとともに、本業の価値を高める。</td></tr>
<tr><td>商工・農業
関係団体</td><td>○ 観光が府中市を支える産業の一つとなることを目指す意義を理解して、地域産業の発展という観点から、継続的な連携・協力関係を構築する。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

	・ 観光振興を推進するに当たり、市民や市内企業等に対して、市内で観光客を受け入れていくことに広く理解を得るとともに、それぞれの地域での観光振興に参加・協力し、観光客と交流してもらえるよう、「インナープロモーション」の取組を進めます。 ・ 子供たちが我がまちに誇りを持つことは、市外で暮らすようになっても、子供の頃の誇りを思い出すことで、U ターンのきっかけになることも期待できるため、地域の学校とも連携しながら、観光振興に取り組みます。 ・ 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い求められる「新たな生活様式」を踏まえながら、人との身体的距離を取るなど接触機会を減らしたり、マスクや手洗いをするなどを通じ、各種の感染症を防ぐことで、観光客側にとっても、受入側にとっても、安全・安心に楽しめる観光地づくりを進めます。

図表 34：推進体制図



2．実施項目（アクションプラン）

（１）府中市観光の体制づくり

① 推進体制の構築

現 状	・ 府中市においては、市内の観光振興を推進するための組織として、府中市観光協会を位置付け、令和元(2019)年度から専任職員の配置や上下支部の設置を行い、令和 2(2020)年度から一般社団法人となるなど、事務局体制の充実強化に取り組んでいます。 ・ 令和元(2019)年度において、「観光」を、本市を支える産業の一つとして発展させていくため、今後進めるべき観光振興施策の方向性を示すための「観光振興ビジョン」の策定を進めました。
課 題	・ 府中市での観光の推進役としての府中市観光協会については、観光需要の拡大に向けた体制の充実を図る必要があります。 ・ 観光振興ビジョンを策定した後においても、観光振興により実現する「目指す姿」の実現に向け、その進捗状況を随時確認する仕組みが必要です。
方向性	・ 府中市観光協会については、一般社団法人化に伴い、積極的な事業展開が可能となることから、観光を促進していく事業の受託や、旅行業の取得による誘客などに取り組むことで、府中市観光の推進役として、活動の範囲を広げていきます。 ・ 行政と民間との幅広い連携により、観光地域づくりを推進する法人である「DMO」については、市内に候補法人があるものの設立の目途が立っておらず、また新たなDMOの設立についても、この地域の核となる観光事業がまだ育成段階にあることから、今後観光による地域づくりが進展していく中で検討していきます。 ・ 観光振興ビジョン策定のため設置した策定委員会及びワーキング会議については、計画の進捗を把握し、策定後の環境変化に対応するためのフォローアップを行う会議として再編し、PDCAサイクルによる施策の継続的な改善を図ります。

② インナープロモーション（市民や企業等に対する観光客受け入れへの理解促進）

現 状	・ 観光客は特定の観光スポットやイベントに集まり、日帰りで帰るため、市民の多くが観光客を迎える機会は限られており、おもてなしの経験は少ないです。 ・ 県では、県民総ぐるみで観光客へのおもてなしを推進する『広島県「みんなで」おもてなし宣言』に取り組んでいますが、府中市内での賛同者は 10 団体で、県全体(1,920 団体)の中では０．５%を占めるに止まっています。
課 題	・ 観光振興を図っていくためには、観光客が楽しむだけではなく、市民においても、観光振興により地域が活性化したと思えるよう、施策を推進していく必要があります。
方向性	・ 観光振興を推進するに当たり、市民や市内企業等に対して、市内で観光客を受け入れていくことに広く理解を得るとともに、それぞれの地域での観光振興に参加・協力し、観光客と交流してもらえるよう、「インナープロモーション」の取組を進めていきます。 ・ 市民も観光客をおもてなしすることを目指し、観光客を迎えるに当たっての心構えや接遇など、市民に広く呼び掛ける広報などを通じ、市外からの誘客を図る気運づくりを行います。 ・ 観光が府中市の将来を担う産業に発展するよう、市民・事業者を対象にしたワークショップを開催し、観光素材づくりを具体的に進めます。

③ 観光人材の育成・招へい

現 状	・ 観光ガイドなどを通じ観光地域づくりを担う地域団体においては、**構成メンバーの高齢化**が進んでいます。 ・ 府中市での観光振興を図るため、令和元(2019)年度に、市に観光課を新設するとともに、府中市観光協会においても、事務局体制の充実強化を図っています。
課 題	・ 地域団体においては、**若年者や外部から、新たなメンバーの確保**を図り、組織の活性化を図る必要があります。 ・ 市及び市観光協会においては、外部の目から見た地域資源の掘り起こしや観光素材づくり、プロモーションが担える人材を招へいすることで、体制を強化する必要があります。
方向性	・ 市内の各地域において**観光振興に取り組む団体づくりを促進**し、その地域にある資源を観光素材として磨き上げるとともに、**ガイド役や資源の保護などの役割を担う人材を育成**します。 ・ **観光事業者等と連携して、観光に係る専門性の高い外部人材を確保**し、市外から訪れる観光客のニーズに対応した観光地づくりを推進します。

④ 周辺市町との広域連携

現 状	・ **市町を超えた広域での観光周遊を推進**していくため、令和元（2019）年度から、世羅町と神石高原町と連携した「北びんご観光連携協議会」を設置して取り組みを進めるほか、これまでも「しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会」や「備後圏域連携中枢都市圏」、「石見銀山街道沿線市町等連絡協議会」などを通じた連携に取り組んでいます。
課 題	・ 近隣市町には、それぞれの市町にはない魅力ある観光素材があるため、**お互いに足りない観光素材を補完していくことで、総合的な魅力を高めていく**必要があります。
方向性	・ 北びんご観光推進協議会やしまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会等の広域連携組織を活用し、各市町にある魅力ある観光素材をつなぐルートを作るなど、**近隣市町からの相互誘客**を目指します。

（２）地域資源の観光商品化

① 地域資源を活用した観光商品開発

①-1　体験メニューづくり・周遊ルートづくり

現 状	・ 国内観光のトレンドは、「モノ消費」から「コト消費」、「見る観光」から「体験する観光」にシフトしています。 ・ 川や湖を利用した遊び場所として、「三郎の滝」での天然の滑り台、「河佐峡」でのウォータースライダーや川遊びなどがあり、夏場を中心に多くの観光客で賑わっています。 ・ 市内では、府中・上下の両エリアにおいて、それぞれ観光ガイドの団体が、有料でのガイドサービスを提供しています。 ・ 市観光協会や地域団体、キャンプ場の指定管理者等の事業者においても、独自の体験メニューを企画し、提供しています。 ・ ビジョン策定のためのアンケート調査では、府中市内の観光客に対して、今回の旅行での他の立ち寄り先を聞いたところ、7割以上が市内で他に立ち寄ることなく帰るという状況にありました。 参照【アンケート調査（①府中市内）】問 11、問 12
課 題	・ 観光客には様々なニーズや嗜好があることから、多様な体験メニューを用意しておく必要があります。 ・ これまでの体験メニューは短時間で終わってしまうものが多かったため、長時間の滞在につなげられるメニューも用意しておく必要があります。
方向性	・ 観光客に対して、自らに合うものを選んでもらえるよう、様々な体験メニューなどの商品を用意しておくことで、市内での滞在時間の延長につなげます。 ・ 基本となる観光ルートに加え、地域の協力も得ながら、オプションとなる体験メニューなどの観光資源を用意しておき、組み合わせることで、周遊性を高め、滞在時間の延長につなげます。

①-2 産業観光・教育旅行

現 状	・ 内陸工業都市である府中市は、機械・家具・金属・繊維・非鉄金属などの製造業を中心とした「ものづくりのまち」として発展してきました。先進技術を駆使した工作機械などを海外に輸出している企業も多く、日本一を誇る商品もある技術力のまちであり、100 年以上続く企業が多数存在します。 参照【第２章】◆府中ハンドレッドクラブ ・「ものづくりのまち」という産業集積を活かし、府中商工会議所と市内企業が連携し、産業観光の取組が近年行われ、ものづくりや食品、リサイクルなどの工場見学に応じる市内企業があります。 ・ 市外においては、国内や海外で活躍する上場企業とともに、伝統的な製品として「府中家具」や「府中味噌」などが知られています。 ・ 産業以外でも、国蝶・オオムラサキの保護活動とともに観察もできる「オオムラサキの里」、公設・私設による地域の歴史・文化を伝える資料館など、観光客も訪れて学べる様々な施設があります。
課 題	・「見る」ことから「体験」や「学び」にシフトする観光客のニーズを踏まえた受け入れ対応が必要です。 ・ 企業にとっては、観光への協力は時間的制約や機密保持等において、生産活動への支障が生じるなどの課題もあり、産業観光の実施が難しい面もあります。 ・ 府中家具や府中味噌をはじめ、府中を代表するものづくり製品について、他の産地のものに比べ優れている点や、その製品が持つこれまでの物語などがあまり知られていないため、産業観光に取り組む際には、分かりやすく整理した上でプロモーションする必要があります。
方向性	・ ものづくりは、府中市の特色の一つであり、有力な観光素材になりうる要素であるため、市内企業において、実施の理解や協力を得るとともに、実施内容について、来訪者の満足度向上が図られるよう、企業と連携します。 ・ ものづくり企業の協力を得ながら、他の産地の製品との違いや、開発史などのこれまでの物語性を分かりやすくまとめることで、産業観光や教育旅行を受け入れる際の観光素材づくりやプロモーションなどに活用していきます。 ・ 民間団体等が取り組む「ものづくり産業」の集積を活かしたイベントを観光振興の側面から支援することで、ものづくりに興味を持つ層への誘客を促進します。 ・ 教育旅行では、現場見学のみならず、企業のトップから直接話を聞いたり交流できる機会を設けるなど工夫をすることで、市外からの将来を担う世代を呼び込めるよう、内容を充実するとともに、市や観光協会でも企業・学校・旅行会社など関係者との連携・調整を図り、企業活動の一助となることをめざします。 ・ ものづくりの他にも、紙すきや壁塗りなどの「地域文化」や、昆虫や星空などの「自然体験」、地元の素材を活かした「食文化」などを組み合わせることで、学ぶ観光素材づくりをめざしていきます。

①-3 農業・酪農業

現 状	・ 府中市の特産として、米、漬物用野菜などをはじめとした各種野菜、果物などを生産し、物販施設等を通じて、販売しています。 ・ もち米を使ったもち加工品や、生姜、ごぼうなどを使ったお菓子類、地元野菜を使ったお弁当等が作られるなど、6次産業化に取り組んでいます。 ・ 市内にある牧場では、自然と動物に触れあえる牧場として、一般公開日を設け、酪農体験者を受け入れています。
課 題	・ 過疎化や高齢化に伴い、農業分野においても、新たな担い手の確保が必要であり、収入向上に向けた6次産業化を更に進める必要があります。 ・ 従来の観光資源と農業・酪農業を組み合わせることで、観光資源の更なる魅力付けに取り組む必要があります。
方向性	・ 6次産業化とともに、農業・酪農の体験や食資源を活かした商品開発、キャンプ客への農産品・加工品の販売など、農業と観光を連携させていくことで、府中市ならではの観光資源としての魅力付けを図るとともに、連携する農業者の収益につなげ、農業の振興に寄与します。 ・ 都会に暮らす人や外国人向けの宿泊先として、農家に泊まって地域ならではの生活を体験する「農泊」などについて、住民や地域団体の理解や協力を得ながら、促進していきます。

①-4 歴史・文化

現 状	・ 府中エリアは、奈良時代に備後国の国府が置かれ、約 500 年間にわたり備後地域の中心地として栄えた場所であり、その後の中世以降も物資や情報が行き交う備後内陸部の拠点となっていきました。中心市街地に広がる備後国府跡は、その一部が平成 28（2016）年に国史跡に指定されました。 ・ 上下エリアは、江戸時代、石州街道の宿場町であるとともに、幕府の代官所が置かれ、上下銀と呼ばれる金融業が栄えることで、現在の町並みの基礎ができました。明治時代においても商業・金融業が活発に営まれ、当時の面影を町並みなどに見ることができます。地域団体では、重要伝統的建造物群保存地区を目指した活動を進めています。
課 題	・「国府」や「天領」に対する住民の思いは強いものの、史跡の整備が行われておらず、<u>市民の理解を深める有効な手段が講じられていない</u>。
方向性	・ ヴァーチャルリアリティ(VR)や絵や写真を用いた看板などのほか、「国府」や「天領」があった当時の建物や関わりのある人物等を明らかにするなど、他の「国府」や「天領」の地には無い特徴づけを行うことで、<u>訪れる人にとって分かりやすく親しみやすい観光資源として磨き上げを行います</u>。 ・ 上下エリアの<u>白壁の町並みについては</u>、建物の持つ文化財的な価値を持つ建物に対して、<u>その価値の保存活用のための取組(調査)について検討</u>を進めます。

■ ご利益（首無地蔵、神社仏閣など）

現 状	・ 府中市内には、長い歴史をもつ神社仏閣・教会等が数多くあり、花咲く季節を中心に来訪者を迎えるなど、観光に一役買っている施設もあります。 ・ 首無地蔵では、近年来訪者数は減少しているものの、近隣地域はもとより海外等からもご利益を求める者は、年間を通じて、絶えず訪れており、駐車場も備えています。
課 題	・ 神社仏閣等の中には、ものづくりや商業、建設、木工などの事業者などに崇敬されているところがあるなど、あまり知られていないご利益を持つものもあり、掘り起こしが必要です。 ・ 首無地蔵は、物語性を持つとともに、年間を通じて誘客の実績を持つスポットであるが、将来的な誘客確保を考えると、特に若者や海外に向けた周知を試みる必要があります。
方向性	・ 首無地蔵やあまり知られていないご利益を持つ神社仏閣等について、そのストーリー性を明らかにし、ご利益やパワースポットに興味関心を持つ国内外の愛好者をターゲットにした誘客を図ります。

①-5 イベント

現 状	・ 市内各地では年間を通じて、市外からの誘客も目指した大小様々なイベントが開催されています。 ・「天領上下ひなまつり」では、旅行会社が造成する旅行商品の中で、立ち寄り先の一つとして選ばれるようになっています。
課 題	・ 市民の多くには、**「観光＝イベント」というイメージ**が強くなっています。 ・ 府中市内でのイベントは、総じて滞在時間が短く、日帰りを前提としているため、**消費額としては大きくなりにくいです。**
方向性	・ 市外からの誘客を目指したイベントについては、滞在時間の延長につながるよう、体験型や交流型の催しを組み込むことを促すほか、**イベント開催前には近隣の観光資源や宿泊施設などを合わせて情報発信**していきます。

イベント名	来場者数	開催期間
備後国府まつり	6万7千人	令和元(2019)年7月 （2日間）
天領上下ひなまつり	3万人	平成 31(2019)年2～3月 （約1か月間）
府中☆産業博	2万 9 千人	令和元(2019)年5月 （2日間、隔年開催）
備後府中食博	2万1千人	令和元(2019)年 11 月 （1 日）
首無地蔵 春・秋の大祭	1万1千人	平成 30(2018)年4月、10 月 （各1日）
神宮寺あじさい祭り	1万1千人	令和元(2019)年6月 （25 日間）

①-6　花

現 状	・ 市の木「さくら」、市の花「あじさい」、市民の花「さつき」、「あやめ」、「かたくり」などに代表される四季折々の花々が、市内の公園や寺院の庭などで楽しめ、これらの**花にまつわるイベントも開催**されています。 ・ 令和 2（2020）年度には県や市町等が連携し、広島ならではの花や緑等の地域資源を活用して、県内全域で回遊と交流を生み出す花と緑の祭典「ひろしま はなのわ 2020（第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア）」が開催されます。
課 題	・ 花のイベントは、**多くが単独での開催**であり、来訪者の満足度を高めるためには、**同様の花のイベントや、他の観光素材とも組み合わせるなどの工夫**が必要です。
方向性	・ **花をテーマにしたイベントや施設をつなぎ**、花に興味関心を持つ国内外の観光客をターゲットにした**情報発信に取り組む**とともに、その時期に楽しめる**近隣の観光素材もあわせて紹介**し、来訪者の満足度を高め、滞在時間の延長を図ります。 ・「ユキワリイチゲ」や「カタクリ」など、**市内に自生する花にもスポットを当て、その時期にしか見られない観光資源**として、開花時期に合わせた情報発信を行います。

①-7　新分野のスポーツ

現 状	・ 府中市では、全国から参加チームが集う「EV・ゼロハンカーレース」や、寺院などを舞台にした「ドローンレース」など、オンリーワン、ナンバーワンの新しい分野のスポーツのイベントが開催されており、市の内外から注目を集め始めています。
課 題	・ アーバンスポーツやeスポーツなど、これまで想定されていなかった新しい分野でのスポーツが生まれる中、これまで市内を舞台に開催されているEV・ゼロハンカーやドローンなどの技術を活かしたレースについても、地域資源として捉え、観光に生かしていくことを考える必要があります。
方向性	・ スポーツの持つ特性が、単に「する」だけではなく、「する」・「見る」・「支える」ことで、皆がその価値を享受できるものへと変わる中で、「EV・ゼロハンカーレース」や「ドローンレース」など新分野のスポーツでの取組を、府中市らしい観光資源化を図る観点からのアプローチを検討していきます。

①-8　物販施設・飲食施設

現 状

・ 府中市内には、「道の駅びんご府中（府中地区）」、「まちの駅上下まんまる屋（上下地区）」、「法界山産地直売センター（井永地区）」など、**市内のお土産物や地元の農産品・加工品を販売するとともに、周辺の観光情報もあわせて発信**している物販施設があります。

・ 観光スポット毎の観光客数では、「道の駅びんご府中」が総観光客数の4割超を占めます。

平成 30 年（2018）	道の駅 びんご府中	首無地蔵	備後国府 まつり	河佐峡	地域交流 センター
	約 46 万人	約 12 万人	約7万人	約6万人	約4万人

・ 府中エリアでは、府中商工会議所において「備後府中焼き MAP」を、上下エリアでは、上下まちづくり協議会において「府中市上下町グルメガイド」をそれぞれ作成し、観光客や市民に情報を発信している。

・ 東京都千代田区神田には、広島県府中市アンテナショップ「NEKI（ネキ）」を開設（運営・府中商工会議所）しており、備後府中焼きが味わえる「飲食ブース」、府中市の名産品を販売する「物販ブース」、観光や就職、企業情報を提供する「企業ブース」を備え、府中市の魅力を発信しています。

課 題

・ 物販・飲食施設は、観光客の誘客に資する魅力ある資源であるため、観光スポットとしての賑わいづくりの核となる施設や、産業振興に資する施設等については、利用を促進する取り組みが必要です。

・ **「NEKI」は、広島県内の市町で設置する都内のアンテナショップとしては唯一**の施設であり、東京都内に向けた観光情報の発信拠点として、有効に活用していく必要があります。

方向性

・ **観光素材づくりや観光ルートづくりを行う際**には、**物販・飲食施設の利用を想定**して組み合わせることで、観光客にとって魅力ある商品化・ルート化を進めていきます。

・ 広島県府中市アンテナショップ「NEKI」については、**首都圏からの国内観光客とともに、首都圏に数多く滞在する訪日外国人も意識**しながら、観光情報の発信施設として、**更なる活用を図ります**。

①-9　食べ物

現 状

・ 備後府中焼きは、「備後府中焼きを広める会」を中心に、各地でのイベント出店や独自のマップを製作・配布し、**府中市を代表する食べ物**として、イメージキャラクター「ミンチュー」とともに、**市の認知度向上に貢献**しています。

・ 備後府中焼き以外にも、「上下ぎゅ～そば」などのメニューや、「洋酒ケーキ」などのお菓子も各種製造されています。

課 題

・ 備後府中焼きは、広島風お好み焼の一種として捉えられてしまいがちです。

・ **食べ物は、来訪のきっかけにもつながる強力なコンテンツ**でありますが、備後府中焼きに匹敵するようなコンテンツは、まだありません。

方向性

・ **備後府中焼きについては**、広島風お好み焼きとの違いを、食材や焼き方に加え、今日まで住民の食として浸透してきた**歴史を基に物語性を持たせることなどで際立たせ**、市外の人々に府中市に興味を持ってもらう観光資源として更なるPRに取り組み、**府中市のみならず、広島県を代表する食べ物の一つとなることを目指します**。

・ **食べ物の持つ誘客力に着目し**、市民や事業者の協力を得ながら、**食べ物を活用した更なる誘客を検討・検証するため、「食べ物」に関するワークショップなどの取り組みを企画・開催します**。

② ニーズを踏まえた新たな観光商品開発

②-1　キャンプ場の活用

現 状	・ 市が指定管理により運営しているキャンプ場は、3か所あり、近年のキャンプブームもあり、来場者は増加傾向にあるものの、まだ誘客に余力のあるキャンプ場もあります。
課 題	・ トイレが洋式化されていないなど、キャンプ場利用者に対する最低限必要な受入環境を速やかに整備する必要があります。 ・ 誘客力を高めるためには、キャンパーにとって何が求められているかを把握していく必要があります。
方向性	・ トイレの洋式化やシャワーの設置など、速やかに対応すべき環境整備へ計画的に取り組むことで、利用者の満足度を高め、持続的な誘客を図ります。 ・ 自転車や遊具など、誘客を上積みする設備については、現地調査や社会実験によりニーズを把握しながら改善を図るとともに、令和3(2021)年度末の指定管理期間の満了を見据え、運営方法についても改善策を検討します。 ・ 地域団体が企画するイベントとキャンプ場が連携することで、府中市独自のキャンプ場の魅力向上や、イベントの開催効果の拡大、宿泊機能の補完などに貢献していきます。

②-2　サイクルツーリズム（サイクリングを活用した観光振興）

現 状	・ 近年、市内では休日でもサイクリングを楽しむ人々の姿を見かけるようになっており、従来のコース以外での楽しみを探しています。 ・ 府中市内においては、現在、市として紹介できるサイクリングコースはありません。
課 題	・ 近隣には「しまなみ海道」というサイクリングの強力なコンテンツがあるため、ここからの誘客を図るためには、府中市ならではの特徴づけを行う必要があります。 ・ 県が取り組むサイクリストの休憩施設である「ひろしまサイクルおもてなしスポット」について、府中市内にはまだ数か所しか設置されておらず、サイクリストに選ばれるための環境づくりが必要です。
方向性	・ 地元の食や景色など、サイクリストが訪れる目的となるものを設定しながら、府中市として紹介できる推奨サイクリングコースを設けるとともに、JR福塩線の車両に自転車を乗せて移動（輪行）するプランも検討・設定し、サイクリストに提案することで、サイクリングが楽しめるエリアとしての認知を高めていきます。 ・ 市内の事業者に広く「ひろしまサイクルおもてなしスポット」への登録に賛同してもらえるよう呼びかけ、その箇所を増やしていくことで、安心して快適にサイクリングを楽しめる環境づくりを進めていきます。

②-3　古民家を活用した宿泊施設

現 状	・ 国内では、外国人観光客の増加に伴い、ホテルの数が増えるとともに、ゲストハウスなどの簡易宿所や歴史的な建築物や古民家等を活用した宿泊施設も増えています。 ・ 空き部屋や空き家を活用して宿泊サービスを提供する「民泊」に対しては、健全な民泊サービスを普及するため、平成 30（2018）年に住宅宿泊事業法（民泊新法）が施行されました。 ・ 人口減少、少子高齢化が進行する中、空き家となっている古民家が生じています。 ・ 府中市上下町でも、地域団体が中心となり、白壁の町並みの中にある明治時代の商家を活用した宿泊施設が令和元（2019）年度に整備されました。
課 題	・ 宿泊施設が多くない現状にあり、古民家が今なお数多く残る府中市においては、地域住民の理解を得ながら、歴史的な建築物や古民家等を活用した宿泊施設の整備を促進していく必要があります。 ・ 外国人観光客においては、その地域に伝わる生活文化の体験にも関心が集まっており、そのニーズに応える仕掛けが必要です。
方向性	・ 地域の理解を得ながら、古民家等を活用した宿泊施設の整備に取り組む人に対しては、整備に向けた立ち上がり支援や情報発信などを通じ、促進していきます。 ・ 古民家を活用した宿泊施設の魅力を引き出すため、宿泊のみならず、古民家が持つ歴史を宿泊者に伝えるとともに、府中市の生活文化に基づく体験メニューづくりを促進していきます。

②-4 府中エリアと上下エリアをつなぐ観光素材づくり

現 状	・ これまで府中エリアと上下エリアでは、それぞれの地域で観光振興に取り組んできたことから、一体的な観光振興には至っていません。
課 題	・ 府中エリアと上下エリアとでは、異なる地域資源・観光資源があることから、これらを組み合わせることでの魅力づくりに向け、取り組む必要があります。 ・ 府中エリアと上下エリアの中間地点にある地域資源について、観光資源として磨き、育成することで、人の流れが生まれるよう、取り組む必要があります。
方向性	・ 府中エリアと上下エリアを結ぶ石州街道やJR福塩線を活用し、サイクリングコースの設定やイベント開催を通じ、両エリアが繋がる誘客促進や観光素材開発を進めます。 ・ 両エリアの中間地点にある協和地区など、観光素材化が見込まれる地域資源を持つエリアについては、外部からの評価を得ながら、育成・支援に取り組んでいきます。

③ 新たなお土産物の開発

現 状	・ 市内の事業者や地域団体では、府中味噌やみそを原材料とする味噌製品、米・ゴボウ・お茶等の農産品、ケーキや饅頭などのお菓子、家具や小物の木工製品など、地場産業から生産される産品や加工品がお土産物として商品化されています。 ・ 上下地区においては、地域団体の女性が中心となり、地元に自生する野草を基に塩調味料を開発し、お菓子等に利用するなど、特産品化に取り組んでいます。 ・ 全国の観光地においては、嗜好の多様化やトレンドの変化などに沿ったお土産物が、絶えず開発され、競われています。
課 題	・ 観光客にとって、その地域にしかないお土産物へのニーズは高く、また、稼ぐ観光を実現していくためにも、観光客のニーズに合わせた「府中市ならでは」のお土産物の開発を促進していく必要があります。
方向性	・ 府中市に訪れる観光客にとって、安心して購入してもらえるよう、お勧めのお土産物について、府中市独自のお土産ブランド名を冠することで、独自性のあるお土産物開発を促進します。

（３）受入環境整備

①　トイレ環境の整備

現 状	・ 府中市内の観光施設でのトイレの洋式化の割合は、便器総数ベースで 43.9%、洗浄機能付き便座の設置率は、26.8%となっています。（令和元(2019)年 12 月現在）
課 題	・ 訪れる人々の快適性をもたらし、**リピーターを確保するため**にも、観光客が利用するトイレについては、数の確保とともに、**洋式化などの改善**を図る必要があります。
方向性	・ 観光地の公共トイレについては、**観光客が数多く訪れる公共トイレから優先的に整備**することで、順次、市内におけるトイレ環境の充実を図ります。 ・ 公共施設のほか、**観光客に対してトイレ利用に協力いただける店舗・事務所等に対し**、「府中市おもてなしトイレ(仮称)」として**ステッカーを貼ってもらい、観光客の利便性向上を図る**とともに、観光のホームページでも周知を図ります。 ・ あわせて、高齢者や障害者、子供連れなど多様な人が訪れやすい、バリアフリーな観光エリアとなることを目指し、多目的トイレの設置箇所についても、観光のホームページで周知します。

②　公衆フリーWi-Fi の設置

現 状	・ 府中市内には、キテラスふちゅう、道の駅びんご府中、上下歴史文化資料館の3か所において、**Hiroshima Free Wi-Fi を観光客向けに設置**しています。
課 題	・ 市内を訪れる観光客はまだ少ないため、市内に設置したいずれのWi-Fiの利用状況は低調ですが、**今後の誘客拡大を踏まえた設置**を進めていく必要があります。
方向性	・ **今後、多くの外国人観光客の来訪が見込まれる公的な観光スポット**においては、無料の Wi-Fi が利用できるよう、**積極的な配置**を進めます。

③　観光案内板の整備

現 状	・ JR駅前や観光スポット等では、観光協会等において、観光客向けの案内看板を整備されています。
課 題	・ 設置されている案内板には、老朽化が進み文字が読みづらくなっているものや、外国人観光客の来訪を想定した外国語表記がなされていないものなどがあります。
方向性	・ 観光協会が設置している**案内板については、老朽化が進んでいるものから順次、英語表記などの工夫を加えながら改善**していきます。

④　キャッシュレスへの対応

現 状	・ 世界的にキャッシュレス化が進展しており、住民の利用はもとより、外国人をはじめとする観光客の利便性を高めるツールとして、利用が広まっています。
課 題	・ 市内の主な観光スポット周辺において、キャッシュレス化はまだ浸透していません。
方向性	・ 今後、**多くの来訪客が見込まれる観光スポットにおいて、キャッシュレス対応が進んでいくよう、設置を促進**していきます。

⑤　多言語対応

現 状	・観光パンフレットのうち、府中市で作成するものは日本語のみであるが、地域団体や学校が独自に作成するものには英語版を作成しているところもあります。 ・上下エリアのガイド団体においては、独自でガイドの外国語学習に取り組んでいます。 ・府中市観光協会と上下歴史文化資料館では、英語・中国語・韓国語に対応した観光地を案内する「音声ガイドペン」を有料で貸与しています。 ・府中市観光協会のホームページは、日本語表記のみとなっており、インバウンド対応ができていません。
課 題	・今後、海外からの誘客を図るためには、事前の情報提供手段となるホームページでの外国語対応が必要であるとともに、府中市を訪れた際に観光素材を深く理解してもらうためにも、パンフレットやガイド等での外国語対応が必要です。
方向性	・インバウンド対応を図るため、**府中市観光協会ホームページについては多言語化へ対応**し、府中市にある観光素材の魅力をネイティブな外国語や写真・動画を盛り込むなど、充実を図ります。 ・観光パンフレットなどの紙媒体については、英語版を作成するとともに、他の言語については、市広報誌のウェブ閲覧用に導入しているアプリ「カタログポケット」や、観光協会ホームページのスマートフォン等での閲覧により対応します。 （カタログポケットでの対応言語は、日本語と9言語＜英語、韓国語、中国語繁体、中国語簡体、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語＞）

⑥ 交通アクセスの確保

現 状	・交通アクセスでは、**自家用車の利用が9割近く**を占めています。 参照【資料】３．参考データ：（２）⑥交通機関別観光客数（広島県・備後地区・府中市）
課 題	・自動車での来訪が多い現状を踏まえ、**需要に応じ、駐車場を確保**する必要があります。 ・**自動車が利用できない国内外観光客のため、アクセス確保**策を検討する必要があります。 ・**JR福塩線を活用**し、福山方面からの誘客を促進する必要があります。 ・**広島空港からの誘客**など、県外からのルートを検討する必要があります。
方向性	・観光客の増加が確実に認められる観光スポットについては、駐車場としての近隣の空き地の確保を、バス等の車種等を含めた駐車台数や**財政状況を勘案しながら、検討**します。 ・観光客や事業者等から需要を把握しながら、**タクシーを活用した旅行商品を検討**します。 ・福塩線対策協議会と連携し、鉄道ファンをターゲットにした**臨時列車の企画**を、行楽シーズンに合わせて継続的に実施します。 ・北びんご観光連携協議会と連携し、**広島空港から3市町をつなぐ予約制の大型タクシー運行などの取り組みを検討**します。

⑦　公衆衛生環境の確保　新型コロナウイルスへの対応

現 状	・令和元(2019)年末に発生した新型コロナウイルスは、世界全体に感染を拡大しており、これに伴い、国内外での観光需要は大きく低下し、観光事業者に大きな悪影響が及んでいます。
課 題	・今後、新型コロナウイルスの感染が収束し、観光需要が回復した時においても、**訪れる観光客にとって、**「密集・密接・密閉」を回避でき、手洗い等で清潔を保つことができるなど、**公衆衛生上の不安が無く、安全・安心に観光ができる環境を整える**とともに、**訪れても安心であるという情報も発信していく必要**があります。
方向性	・国などから提供される「新しい生活様式」や科学的に確かな情報を踏まえながら、観光客にとっても受入側にとっても安心できる感染症に配慮した観光地として、受入環境づくりを市や観光協会が中心となって推進し、その取組をホームページなどで発信します。

（４）プロモーション活動

① 市や地域の名称

<table>
<tr><td>現 状</td><td>・ 地方自治体名として、国内では「3つの府中」が存在します。
（東京都府中市、広島県安芸郡府中町、広島県府中市）
・ 市外・県外から訪れる人にとって、府中市内の地名には読みにくいものがあります。
（例：「上下」 ・・・ 市民にとっては「じょうげ」と読めるが、市外・県外では地名に見えず、「うえした」と誤読されてしまう。）</td></tr>
<tr><td>課 題</td><td>・「府中」や「府中市」という表現では、特に県外の人にとって、「広島県府中市」に結び付きにくいため、分かりやすい表現が必要です。
・「上下」をはじめ、地名を伝える場合は、市外からの観光客にとっての読みにくさを想定しながら、プロモーションに取り組む必要があります。</td></tr>
<tr><td>方向性</td><td>・ 文字による広報の際、市の名称は、発信先を意識しながら、他の地域の府中と区別できる表記を使用します。
<table>
<tr><th>情報の発信先</th><th>フォーマルな表記</th><th>愛称的な表記</th></tr>
<tr><td>市内向け</td><td>「府中」</td><td>「びんご府中」</td></tr>
<tr><td>県内向け</td><td>「府中市」</td><td>「びんご府中」</td></tr>
<tr><td>県外向け</td><td>「広島県府中市」</td><td>「びんご府中」</td></tr>
<tr><td>海外向け（英語表記）</td><td>「Hiroshima Fuchu City」</td><td>「Bingo Fuchu City」</td></tr>
</table>
・ また、地域の名称は、市外・県外に情報が届くかどうかを想定し、ふりがなや英語を併記するなど、分かりやすい表記に努めます。</td></tr>
</table>

② 観光情報の発信

現 状	・ 府中市の認知度は県内を訪れる観光客では約6割でしたが、東京都内では1割程度であり、外国人観光客にはほぼ知られていません。 ・ 県内観光客に府中市に訪れたいと思うか聞いた際、「訪れたいと思わない」との回答の理由として、「情報が少ない」ことが2番目に多くなっています。 ・ 旅行先を決める際の情報収集の手段を聞いたところ、「インターネット」、「家族・友人・知人」、「旅行雑誌」との回答が多くなっています。 参照【アンケート・クロス集計（1）（4）（13）】参照
課 題	・ 県外に対しては、「誘客」とともに、「認知」に向けた情報発信が必要です。 ・ 県外はもとより、県内においても、府中市の観光情報が届いていない状況にあり、基本的な観光情報の発信が必要です。 ・ 情報発信の手段としては、WEB によるプロモーションや口コミが重要です。
方向性	・ これまで取り組んできたパンフレットやポスターによる情報発信に加え、国や県が取り組むプロモーションと積極的に連携するとともに、広島県府中市アンテナショップNEKIや広島県ブランドショップ TAU,県の地方機関などの県外施設を活用することで、市外への効率的・効果的な露出による認知の拡大を図ります。 ・ 旅行を検討する際に多くの人が利用するインターネット上での情報は、重要な位置を占めていることから、府中市観光協会で設置するホームページについて、府中市での観光に関する情報収集の総合窓口となるよう、掲載内容の充実・改善とともに、外国語対応やスマートフォン閲覧、YouTube などの動画の活用などを考慮したリニューアルを行います。 ・ フェイスブックやインスタグラムなどの SNS による情報発信については、新たに磨き上げられた観光素材を積極的に取り上げ、見る者を惹きつける写真や動画を掲載するなど、共感や口コミが広がっていくように取り組むことで、びんご府中ファンを増やしていきます。 ・ 「Googleマップ」等のウェブサービスは、多くの観光客に訪問場所やルートの検索に利用されているため、まだ登録されていない観光スポットについて、府中市や観光協会、地域団体など、その魅力や歴史などを知る者が率先して、情報発信ツールとして積極的に活用していきます。 ・ 魅力的な観光素材や観光商品が増え始めた段階で、旅行会社やウェブや出版等のメディアと連携しながら、設定したターゲットに向けた観光プロモーションに取り組みます。

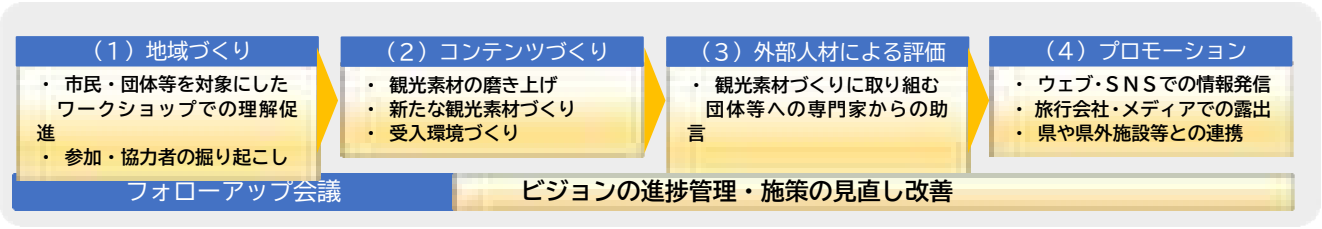
3．今後の観光振興に当たっての留意点

（1）推進スケジュール

① 事業の進め方

事業の実施に当たっては、魅力的な観光素材が無い中での過大なプロモーションは、訪れた観光客の満足度の低下に繋がってしまうため、①観光商品化を担ってもらえる「地域づくり」、②地域資源の観光商品化や受入環境整備を進める「コンテンツづくり」、③観光商品を磨き検証する「外部人材による評価」、④評価を得て磨かれた観光素材や観光商品をターゲットに合わせて市外へ発信する「プロモーション」の順に進めていきます。

なお、ビジョンに盛り込んだ戦略や事業実施に当たっては、その進捗状況や、時代のニーズ等に合わせた改善策を講じていくため、このビジョンの作成に関わっていただいた有識者関係者を中心とする「フォローアップ会議」を半年程度の周期で開催していきます。



② リソースを踏まえた段階的な取り組み

これまでの観光振興に向けた取り組みについては、取り組みの優先順位付けは行っていませんでした。

しかし、観光振興ための「人・モノ・金」というリソースは限りがあることから、市としても、段階的に取り組む必要があります。

観光客から他の地域と比べても、選んでもらうためには、訪れて楽しめる「観光素材の開発」や「体制づくり」が不可欠であることから、当面はこれらを重点的に取り組んでいくとともに、観光客を受け入れる環境を順次整備し、磨きをかけた観光素材から情報発信するなど、段階的な取り組みを進めていきます。

③ 観光振興の推進に必要となる財源の確保

今後、観光振興を推進するに当たっては、ハード事業やソフト事業を含め、実施項目に挙げた多様な取り組みが必要となる一方で、それに伴う財源が年々必要となります。

このため、国や県などで講じられる観光振興に係る補助制度を活用するほか、「企業版ふるさと納税制度」を含めた「ふるさと納税制度」や「クラウドファンディング」という手法を取り入れることで、府中市での観光振興の取組を広く発信するとともに、応援したいという寄付者を募ることで、観光振興に係る財源確保の一助としていきます。

（２）新型コロナウイルスに伴う観光需要の回復段階を踏まえた取り組み

①「感染の拡大・新型コロナとの共生」段階について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、国内外での観光需要は大きく低下し、観光事業者に大きな悪影響が及んでおり、府中市でも、令和2(2020)年春からの各種イベントの縮小や中止が相次ぐなど、府中市観光を支える地域団体や事業者等に大きな打撃を与えています。

国においては緊急対策として、助成金や資金繰り対策などで下支えすると同時に、観光振興では、感染防止に取り組む期間を、積極的な「助走期間」と位置付けることとしています。

府中市においても、感染の拡大や新型コロナウイルスと共生しなければならない時期においては、観光振興に向けた体制づくりや観光素材づくりなどの準備を着実に進め、観光需要の回復時期からの誘客促進に向けた取組ができるよう、国・県等と連携しながら備えていきます。

②「感染の収束」以降について

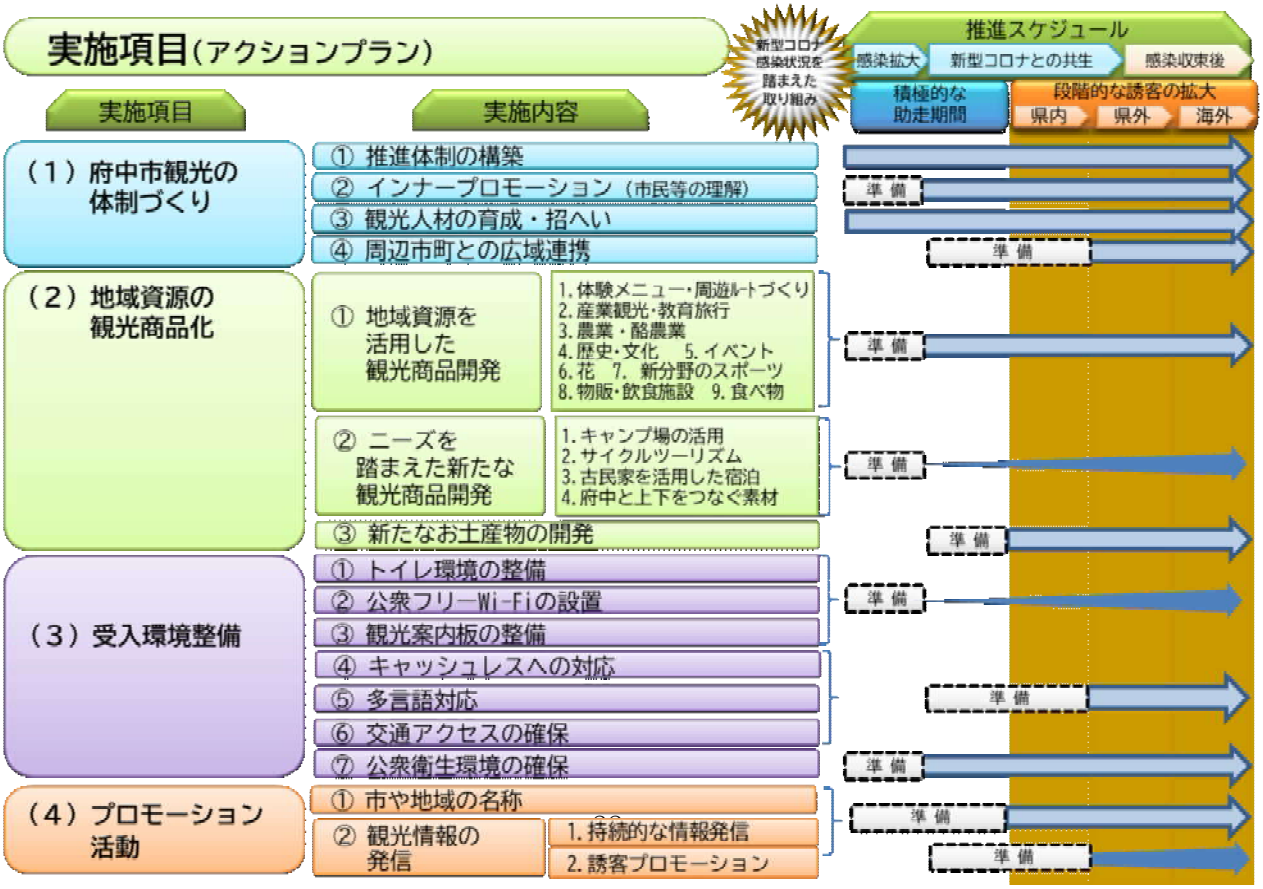
国においては、収束段階の時期に、反転攻勢のための官民一丸となった観光キャンペーンなどの実施を計画しています。

ただ、新型コロナウイルスが収束する時期は未だ見通せないため、観光需要の回復時期も明確に設定できない状況にあります。

また収束には、年単位での長期戦も予想される中、今後の観光需要については、感染の再拡大を防止する観点からも、①「近隣地域・県内」、②「県外」、③「海外」の順に回復していくことが想定されます。

さらに、感染収束後においても、「新しい生活様式」が定着していくことに伴い、観光へのニーズや受け皿となる観光業の変化（従来のビジネスモデルの衰退や新たなビジネスモデルの誕生など）も推測されるため、そのような変化を捉えた新たな振興策にも備えておく必要があります。

このため、府中市においては、観光振興ビジョンの進捗管理や施策の見直し・改善を検討するため、観光振興の関係者や有識者で組織し設置することとしていた「フォローアップ会議」を活用し、開催時期での国内外での感染状況や観光へのニーズや観光業などの環境変化を踏まえた対応策を検討し、推進スケジュールの時点修正等の対応を講じるものとします。



【参考】「観光振興ビジョンにおける実施項目」と「令和2年度当初予算の主要事業」の位置づけ

実施項目	実施内容	R２年度の取組
（１）府中市観光の体制づくり	① 推進体制の構築	**① ビジョン推進体制の構築** ・フォローアップ会議の開催
	② インナープロモーション	**②-1 観光商品開発・ブラッシュアップ事業** ・観光への理解促進に係るワークショップ開催
	③ 観光人材の育成・招へい	**③ 地域おこし企業人の活用** ・旅行会社経験者の招へいによる観光地づくり
	④ 周辺市町との広域連携	**④ 周辺市町との広域連携** ・北びんご観光連携協議会との連携 ・せとうち広島デスティネーションキャンペーン 等
（２）地域資源の観光商品化	① 地域資源を活用した観光商品開発	**②-2 観光商品開発・ブラッシュアップ事業** ・「歴史文化」、「食」、「ものづくり」等に係るワークショップ開催
		②-3 観光商品開発・ブラッシュアップ事業 ・外部専門家からの助言による商品開発支援
		⑤ 観光チャレンジ補助金 ・民間による受入環境整備や商品化等への支援
	② ニーズを踏まえた新たな観光商品開発	**⑥ 翁座の耐震・大規模修繕改修設計** ・木造芝居小屋「翁座」の復元改修に向けた設計
		⑦ 旅行事業者を招聘したマーケティング ・府中エリアでの海外誘客を目指した招へい事業
		⑧ 新たな観光商品開発に向けたトライアル ・ものづくりイベントとキャンプとのコラボレーション ・サイクリングルートを活用したイベント企画・実施
	③ 新たなお土産物の開発	
（３）受入環境整備	① トイレ環境の整備	**⑨「びんご府中おもてなしトイレ」の普及** ・観光客のトイレ利用に協力する事業者の認定 ・キャンプ場のトイレ改修
	② 公衆フリーWi-Fi の設置	**⑩ 矢野温泉公園四季の里の改修整備** ・はなのわイベントと連携した施設改修
	③ 観光案内板の整備	**⑪ 公衆フリーWi-Fiの設置** ・観光協会上下支部への整備
	④ キャッシュレスへの対応	
	⑤ 多言語対応	
	⑥ 交通アクセスの確保	
	⑦ 公衆衛生環境の確保	**⑤ 観光チャレンジ補助金（再掲）** ・民間による受入環境整備や商品化等への支援
（４）プロモーション活動	① 市や地域の名称	**⑫ 情報発信の強化** ・インバウンド向けメディアを活用した情報発信 ・観光協会ホームページのリニューアル ・観光プロモーション用動画の作成
	② 観光情報の発信	**⑬ 国と県等と連携したプロモーション** ・オリンピック開催を踏まえたイベントや県外施設と連携したプロモーション活動

4．数値目標

（1）目標設定の考え方（設定する指標）

○ これから「観光」が府中市を支える産業の一つとなるためには、

① 府中市の魅力が伝わるターゲットを想定しながら、観光素材の開発・磨き上げや、認知を高めるプロモーションに取り組むことで、観光客から選ばれる観光地となり、その結果、観光客数の増加につなげていくことが必要です。

② さらに、今後、持続的に観光を振興していくためには、磨き上げにより魅力を高めた府中市ならではの観光素材により、訪れた方に高い満足感を得てもらうことで、びんご府中のファン（リピーター）になってもらい、SNS や知人への口コミにより、来訪客や宿泊客が増え、観光消費額の増加につなげていくことが必要です。

③ 加えて、府中市に多くの観光客を迎え、何度も訪れてもらうためには、受け入れ側の市民が、府中市の歴史・文化、ものづくりなどの産業、自然などに誇りと愛着を持ち、訪れる人々に府中市の魅力を伝えてもらえるようになることが必要です。

○ これらの状況を踏まえ、以下の指標を目標数値として設定します。

（2） 設定する指標と目標値

①府中市観光の認知を高める取り組み

○ 本市における総観光客数は、平成 27（2015）年にキテラスふちゅう、平成 28（2016）年に道の駅びんご府中を新たに開設したことに伴い、平成 29（2017）年まで伸びてきており、県内からの観光客が増える傾向にある一方で、県外や海外からの観光客にはその効果が及んでいないことが伺えます。

	H26（2014）年	H27（2015）年	H28（2016）年	H29（2017）年	H30（2018）年
総観光客数（千人）	852	819	1,016	1,328	1,114
市内観光客数	253	231	299	365	299
県内観光客数	386	381	502	732	637
県外観光客数	213	207	215	231	178
外国人観光客数	0	0	0	0	0

○ ビジョン策定に当たり実施したアンケート調査では、府中市の認知度は、本市を除く県内に居住する観光客（県内客）で 8 割以上の認知はあるものの、県外に居住する観光客（県外客）にあっては、約3割と大きく下回る状況にあることから、特に県外客からは、そもそも訪問先として選ばれず、来訪に結び付いていないものと考えられます。

【アンケート・クロス集計（１）】参照

府中市観光ホームページのアクセス数

○ 府中市観光協会が設置しているホームページについて、アクセス数は平成 28(2016)年度までは増加傾向にあったものの、その後は 10～12 万人で推移しており、伸び悩みの状況にあります。

年度(平成)	25 年度 (2013)	26 年度 (2014)	27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)
アクセス数(千件)	19	83	113	147	102	128
【参考】主なトピックス	B-1 グランプリ 支部大会	キテラス ふちゅう開業	―	道の駅開業	―	豪雨災害

(注) 平成 25 年度は、10 月～3月までの実績

○ このため、府中市に興味を持っていただいた方が、訪れる前に情報収集するにあたり、観光資源を知り、行ってみたくなり、府中市を来訪先として選んでもらうための第一歩として、府中市観光のポータルサイトとして府中市観光協会の設置するホームページのリニューアルを図り、5 年間の取組で、これまでの倍増の年間 30 万件のアクセス数を目指します。

総観光客数

○ 本市における総観光客数は、平成 27(2015)年にキテラスふちゅう、平成 28(2016)年に道の駅びんご府中を新たに開設したことに伴い、平成29(2017)年まで伸びてきたものの、平成30(2018)年は 7 月豪雨災害のため、前年割れとなりました。

○ 県においては、ひろしま観光立県推進基本計画の目標値について、総観光客数及び宿泊客数について安芸・芸北・備後・備北のエリア別での目標値を設定しており、このうち、備後エリアでの総観光客数については、平成 29(2017)年実績値(2,283 万人)から令和 4(2022)年の目標値として 8%増の 2,460 万人を設定しています。

○ 本市を訪れる観光客のうち、現状では来訪の少ない県外客および外国人観光客を伸ばすことを目指しながら、県計画における目標値での伸び率(年率 1.5%増)に準じ、平成 30(2018)年に比べ 36 万人増の 147 万人を設定します。

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
府中市	総観光客数 (千人)	852	819	1,016	**1,328**	1,114	―	―	―	―	―	**1,474**

年 1.5%増・7年

■ひろしま観光立県推進基本計画におけるエリア別目標値(県)

備 後	総観光客数 (千人)	―	―	―	**2,283**	2,140	―	―	―	**2,460**	―	―

年 1.5%増・5年

②府中市の観光の魅力を高める取り組み

○ 府中市に訪れたことのある観光客に対して、府中市観光への満足度を聞いたところ、「とても満足」及び「満足」と答える割合は 6 割以上を占める一方で、「とても満足」という回答は約1割に留まり、「どちらともいえない」との回答も 3 割以上を占め、全体として満足度は高い状況とは言えません。

このため、府中市を訪れた観光客に対して満足度を高め、「びんご府中ファン」を獲得していくためには、「とても満足」と高く共感してもらえる人を増やしていくことが必要です。

【アンケート・クロス集計（6）】参照

○ 府中市を訪れたことのある観光客のうち、府中市観光を家族・知人・友人に勧めたいと思うかについてたずねたところ、「とても勧めたい」という積極的な回答は約1割に止まっており、また、「どちらでもない」と答えた人が 4 割を占めました。

府中市を訪れた観光客が、「びんご府中」のファンになってもらい、府中の良さを積極的に推奨してもらえる人を獲得していくことが必要です。

【アンケート・クロス集計（8）】参照

観光商品開発によるツアー催行での新規来客数

○ 本市の重点ターゲットとして設定した、地域に根差した「歴史・文化」、ものづくりなどを活かした「教育旅行」、府中市ならではの「食」などに係る観光素材について、新たな開発や改善を加え、商品化を図ることで、満足度や推奨意欲につなげる成果として位置付けます。

○ このようなツアーを催行することで、5 年間で累計 380 人の誘客を目指します。

年度	令和2年度（2020）	令和3年度（2021）	令和4年度（2022）	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）	累計
観光商品開発による ツアー催行での新規来客数（人）	60	60	80	80	100	380

SNS での反応 （フォロワー数、いいねの数、シェアされた数）

○ 府中市観光協会では、SNS ではフェイスブックとインスタグラムを利用した情報発信に取り組んでおり、いいねの数は年々増加してきているものの、数多くの誘客実績を持つ市と比べると、大きな隔たりがあります。

○ これらの SNS について、府中市の魅力を伝える投稿に対し、府中市をこれから訪れる人などに共感してもらったことを表す「いいね」の数や、びんご府中ファンとしての数を表す「フォロワー数」、お勧めすることを表す「投稿をシェアされた数」について、それぞれ1年ごとでの3割増を目指します。

媒　体	指　　標	令和元年度（2020）	令和 6 年度（2025）
Facebook	フォロワー数	439 人	1,632 人
	1投稿当たりの「いいね」の数	34.9 件	129.5 件
	1投稿あたりのシェア数	1.6 件	5.7 件
Instagram	フォロワー数	146 人	542 人
	1投稿当たりの「いいね」の数	23.0 件	85.3 件

観光消費額

○ 本市における観光消費額は、総観光客数と同様に、平成 28（2016）年、29（2017）年と順調に伸びてきたものの、平成 30（2018）年は 7 月豪雨災害などのため、前年割れとなりました。

○ 本市の観光消費額は、平成 28（2016）年から 30（2018）年まで、施設の開設や災害という特殊な事情で増減しているため、備後エリアにおける観光消費額のうち、平成 24（2012）年から 29（2017）年の増加率（年率 3.5％増）で、本市の平成 29（2017）年の額から目標年次まで伸びることを想定し、約 29.4 億円を設定します。

		H24		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
府中市	観光消費額（百万円）	976		1,562	**2,307**	1,998	―	―	―	―	―	**2,937**

年 3.5%増・7年

■備後エリアにおける観光消費額（実績）

備　後	観光消費額（百万円）	**63,658**		73,621	**75,750**	73,142	―	―	―	―	―	―

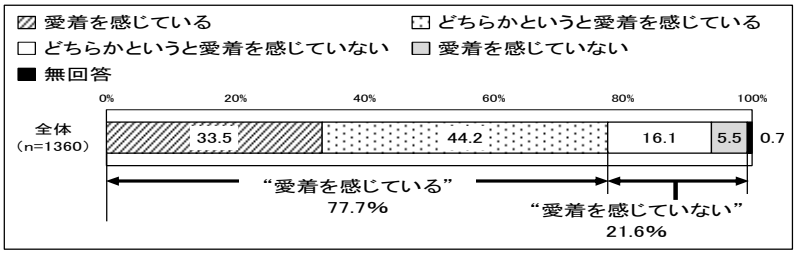
年 3.5%増・5 年

③地域住民の愛着

○ 平成 27(2015)年に実施した「市民意識調査」において、市に対する愛着をたずねたところ、「どちらかというと愛着を感じている」が最も多く（約 44％）、次いで「愛着を感じている」（約 34％）が続いており、これらをあわせた愛着を感じている人は約 78％となっており、総じてまちへの愛着度は高くなっています。

○ 今後、観光振興に取り組むにあたっては、観光客が来訪し過ぎることで地域住民の生活に支障が生じる「オーバーツーリズム」を避けながら、観光客を受け入れることで、地域住民にとっても市への愛着が継続されることが重要であることから、80％以上を維持することを目指します。

【アンケート（府中市）】　市への愛着度について



出典；府中市「市民意識調査」（平成 27 年 3 月）

１　府中市観光の認知

指　　標	現状（令和元(2019)年）	目標値（令和 6(2024)年）	集計
① 観光ホームページへのアクセス数	12.8 万件	30.0 万件	年度
② 総観光客数	1,114 千人	1,474 千人	年

指　　標		現状(平成 30(2018)年)	目標値(令和 6(2024)年)	集計
③ 観光商品開発による新規来客数		―	5 年間の累計　380 人 (令和 2～6 年度)	年度
④ ＳＮＳでの反応				年度
Facebook	フォロワー数	439 人	1,632 人	
	１投稿当たりの「いいね」の数	34.9 件	129.5 件	
	１投稿当たりのシェア数	1.6 件	5.7 件	
Instagram	フォロワー数	146 人	542 人	
	１投稿当たりの「いいね」の数	23.0 件	85.3 件	
⑤ 観光消費額		1,998 百万円	2,937 百万円	年

３　地域住民の愛着

指　　標	現状(平成 27(2015)年)	目標値(令和 6(2024)年)	集計
⑥ 地域住民の愛着度	愛着度　　78% (府中市「市民意識調査」)	愛着度　　80%以上	－

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

なお、現状では、新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況にあるため、このビジョンの目標値については、今後の本市及び国内外での観光の回復状況を踏まえながら、フォローアップ会議の中で、適宜見直しを行うものとする。

資料

ビジョン策定にあたっての参考資料

1．ビジョン策定にあたってのアンケート調査

観光振興ビジョンの策定にあたり、府中市、府中市外の広島県内、東京都内の３か所で、観光客を対象にしたアンケート調査を実施しました。これによりオープンデータ調査ではわからない観光客におけるニーズや、本市の観光資源に対する評価を把握しました。

【各調査の実施概要】

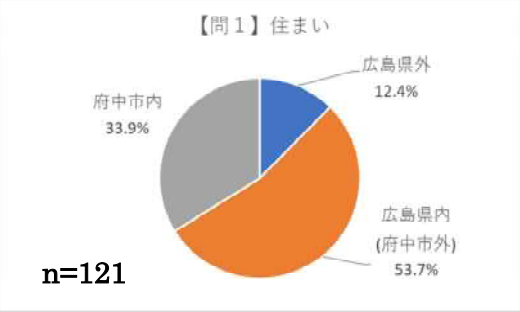
	①府中市内	②広島県内	③東京都内
調査日	令和元(2019)年 10 月 20 日 11 月 11 日	令和元(2019)年 11 月 5 日 11 月 7 日	令和元(2019)年 12 月 14 日
調査実施場所	上下町商店街(10/20) 三郎の滝(11/11)	福山駅(11/5) 広島駅(11/6) 広島空港(11/7)	ひろしまブランドショップ TAU (東京都中央区銀座)
有効回答数	121 件	188 件	50 件
調査方法	対面式アンケート調査	対面式アンケート調査	対面式アンケート調査

①　府中市内でのアンケート調査

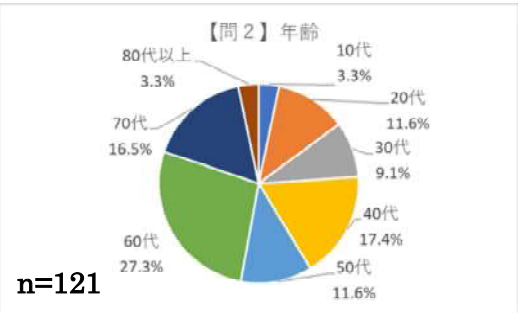
府中市内でのアンケート調査における回答者の属性は、以下のとおりです。

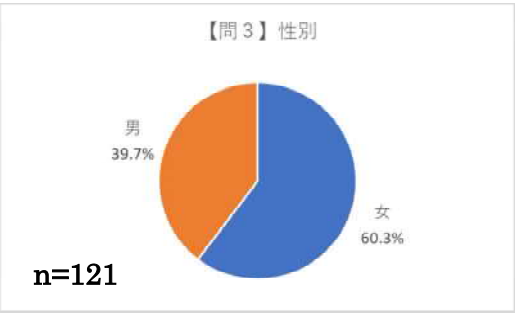
（居住地）　市外のうち、県内では福山市・尾道市、県外では岡山県など、近隣からの来訪が中心であったが、東京都、北海道など遠隔地からも少数ながら来訪があった。
（年　齢）　60 代以上で半数近くを占めており、高齢者層の来訪が多い。
（性　別）　男女比は４：６であり、大きな傾向は見られない。

アンケート調査（①府中市内）　問1～3：回答者の属性（住まい・年齢・性別）



広島県内（87.6%）	府中市内		41	33.9%
	府中市外（53.7%）	福山市	31	25.6%
		尾道市	8	6.6%
		広島市	5	4.1%
		東広島市、世羅町	各 3	各 2.5%
		呉市、熊野町	各 2	各 1.7%
		三原市、三次市、庄原市、神石高原町	各 1	各 0.8%
		（無回答）	7	5.8%
広島県外（12.4%）		岡山県	4	3.3%
		東京都	3	2.5%
		北海道、愛媛県	各 2	各 1.7%
		奈良県、兵庫県	各 1	各 0.8%
		（未回答）	2	1.7%
計			121	100.0%



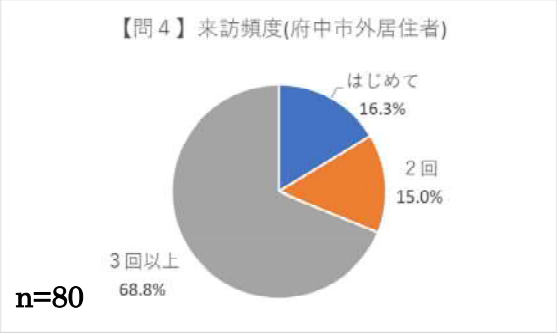


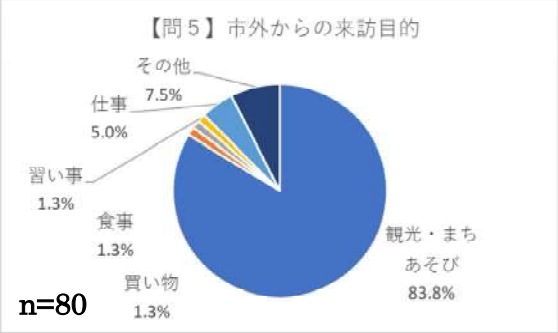
■ 府中市への訪問頻度

市外からの来訪者における府中市への訪問頻度は、「3 回以上」が 70%近く、「２回」が 15%と、市外からの来訪者の大半はリピーターであることがわかりました。

また、来訪目的は約 8 割が「観光・まちあそび」でした。

アンケート調査（①府中市内） 問4： 府中市外からの来訪頻度、 問5： 来訪目的（いずれも市外からの来訪者）





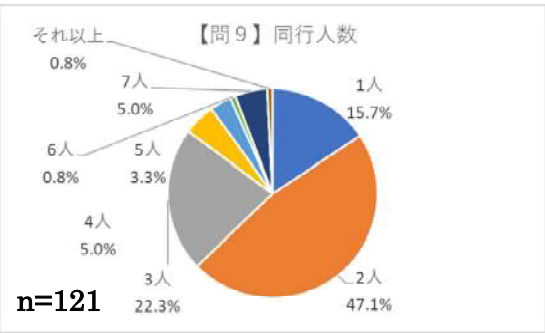
■ 旅行形態（訪問人数・同伴者）

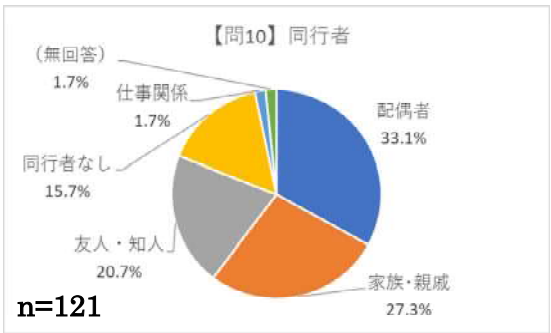
訪問人数を聞いたところ、「2 人」が約半数、「3 人」が 22%、「1 人」も 16%と、個人または少人数で訪問していることがわかりました。

また、同伴者を尋ねたところ、「配偶者」33%、「家族・親戚」27%、「知人・友人」21%という回答を得ました。

これらのことから、府中市への旅行は、家族、友人・知人、一人旅が主流であり、いわゆる個人型旅行者が多いことがわかりました。

アンケート調査（①府中市内） 問9： 府中市への訪問人数、 問 10： 同行者



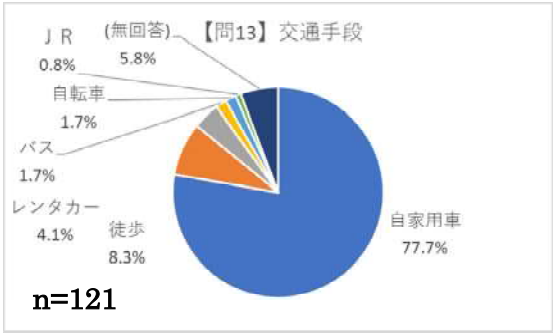


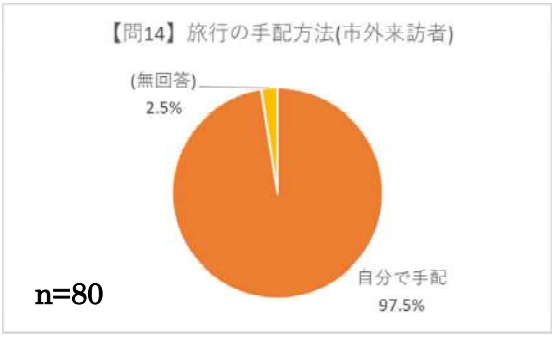
■ 府中市までの交通手段・旅行の手配方法

府中市内までの交通手段は 78%が自家用車、レンタカーが 4%と、多くの来訪者は車を活用していることが分かりました。

市外から来訪する人は、旅行会社等によるツアーではなく、自己手配で訪れる人が大半でした。

アンケート調査（①府中市内） 問13： 府中市への交通手段、
問14： 旅行の手配方法（市外からの来訪者）





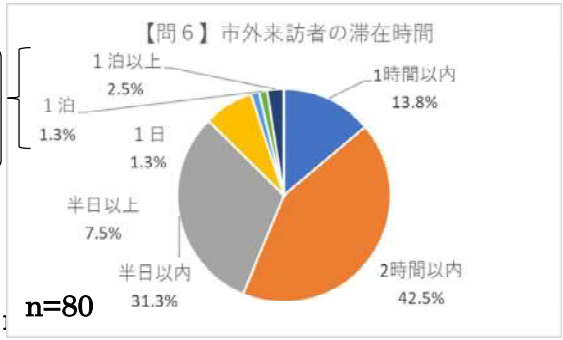
■ 府中市への滞在時間・宿泊先

市外からの来訪者における滞在時間は、「１時間以内」が 14%、「２時間以内」が 43%で、この２つで半数を超えるなど、全体的に滞在時間は短い傾向にあり、宿泊者はごくわずかでした。

アンケート調査（①府中市内） 問6： 府中市での滞在時間、 問7： 府中市での宿泊先
（いずれも市外からの来訪者）

【問7】市外来訪者（宿泊者）の宿泊先

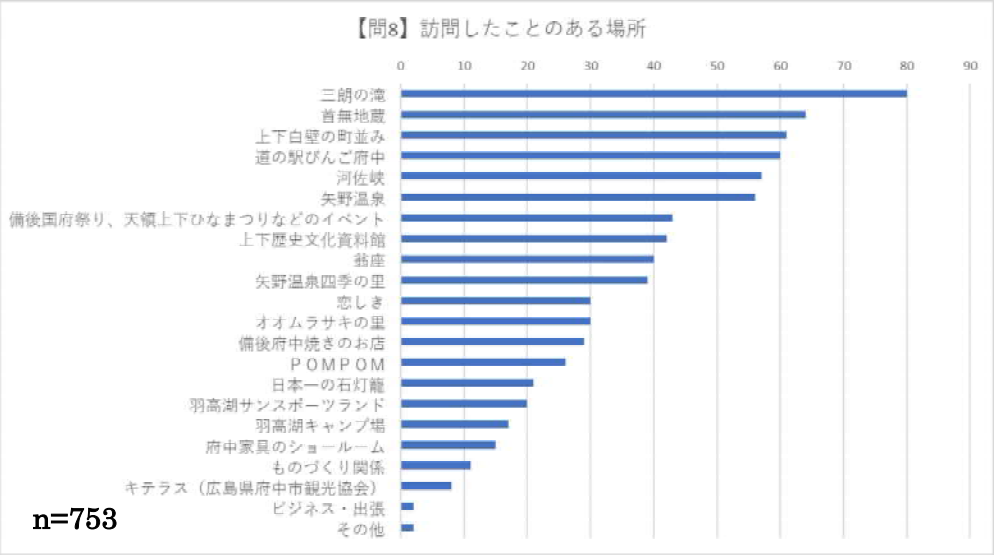
ホテル 2.5%
その他 1.3%



■ 府中市での訪問先

府中市でこれまで訪問したことがある場所を尋ねたところ、「三郎の滝」、「首無地蔵」、「上下白壁の町並み」、「道の駅びんご府中」などの観光スポットが上位に選ばれています。

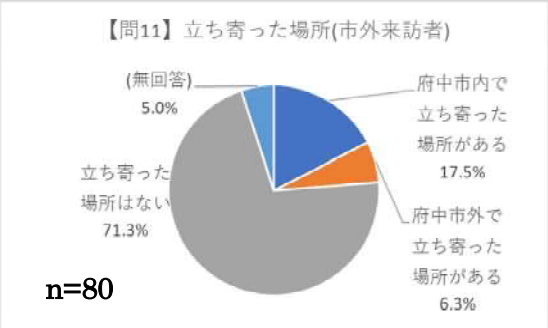
アンケート調査（①府中市内） 問8： 府中市で訪問したことのある場所 （複数選択）

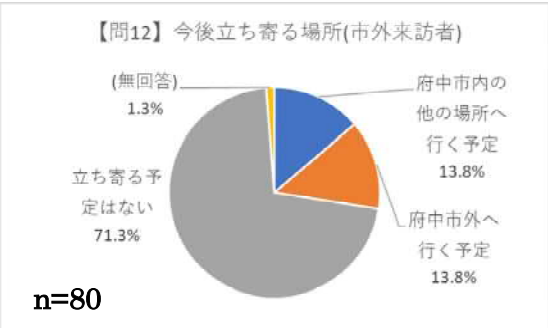


■ 府中市での立ち寄り先

市外からの来訪者に対して、アンケートの場所に来る前に立ち寄った場所はあるか、また、この後立ち寄る場所があるかを尋ねたところ、「市内に立ち寄った場所がある」18%、「市内の他の場所に行く予定」14%と、市内を回遊している傾向は見られませんでした。これらのことも滞在時間が短い要因の一つと考えられます。

アンケート調査（①府中市内） 問11： 府中市への立ち寄った場所、 問12： 今後立ち寄る場所
（いずれも市外からの来訪者）



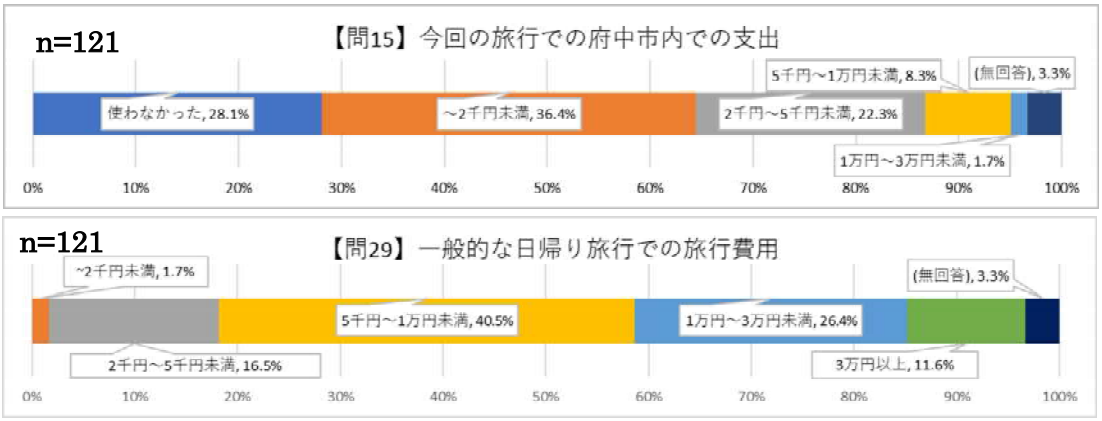


■ 府中市内での消費額（一人当たりの旅行代金）

一般的な日帰り旅行の際の一人当たりの旅行代金を聞いたところ、「5,000 円以上 10,000 円未満」との回答が最も多く、「10,000 円以上」を使う人も 4 割近くいる反面、今回の旅行における府中市内での消費額を聞いたところ、「2,000 円未満」との回答が最も多く（36%）、「全くお金を使わなかった」と答えた人も 28%いました。

市内での消費額が少ないことに加え、全く使わなかった層も多くいることから、旅行による消費額を上げる取り組みが課題です。

アンケート調査（①府中市内） 問15：今回の旅行での府中市内での支出
問29：一般的な日帰り旅行での旅行代金



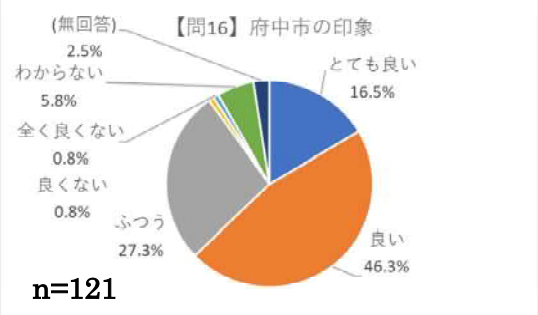
■ 府中市の印象・滞在時の満足度

府中市の印象は、「とても良い」16.5%、「良い」46.3%となっており、6 割以上の回答者が良い印象を持っていましたが、「ふつう」が約 3 割存在し、また「とても良い」という最高の評価が少ない結果であるため、もっと良い印象を持ってもらう対策が必要です。

府中市の満足度については、「とても満足」14.0%、「満足」56.2%となっており、 7 割以上が満足していますが、「どちらともいえない」と回答した層が 2 割以上存在し、こちらも「とても満足」という最高の評価は少ないことが分かりました。

再訪意向、他者への推奨意向を上げるために満足度は重要な要素であるため、今後観光客の満足度を上げるための対応が大切だといえます。

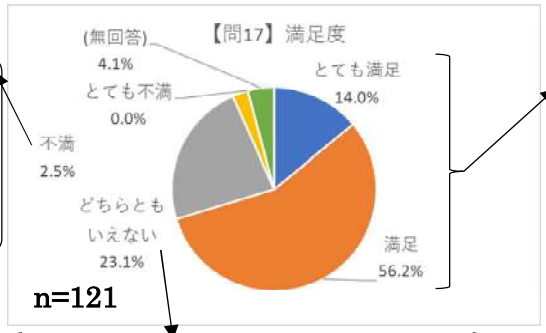
アンケート調査（①府中市内） 問16：府中市の印象、問17：満足度、
問18～20：満足・不満等の理由



アンケート調査（①府中市内）　問17：満足度、問18～20：満足・不満等の理由

【問 19】「不満」の理由

特別なものが無いから	0.8%
観光地として知名度が低いから	0.8%
魅力的なイベントが少ないから	0.8%



【問 18】「とても満足」、「満足」の理由

観光地としておもしろいから	25.6%
食べ物がおいしいから	15.7%
魅力的なイベントがあるから	11.6%
特産品・名産品があるから	7.4%
アクセスが良いから	5.8%
その他	2.5%
(無回答)	1.7%

【問 20】「どちらともいえない」理由

何がおもしろいと思わせてくれるかです
コミュニティとホスピタリティを見るチャンスが少ない
現地の人々が優しいが、特徴が乏しい
イメージしていた祭と違っていた
観光客を集めるものが少ない
駐車場が分かりにくい
紅葉が紅葉していなかった

など

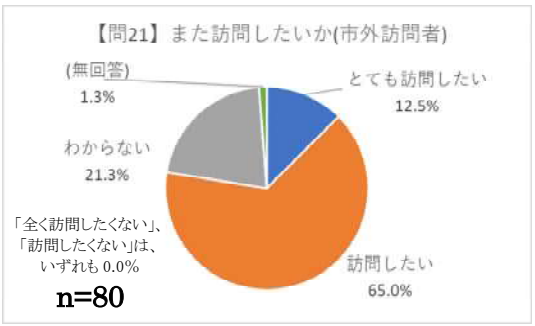
■ 府中市への再訪意向・推奨意向

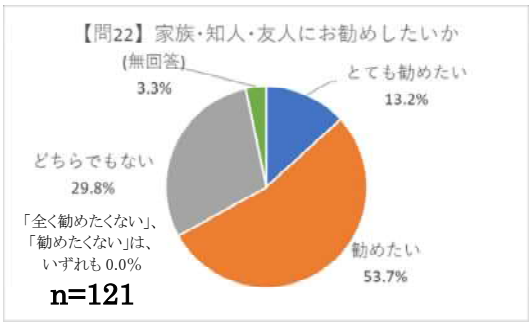
市外から訪れた人において、府中市への再訪意向は、「とても訪問したい」12.5%、「訪問したい」65.0%、「わからない」21.3%となっており、再訪意向は一定程度あるものの、「とても訪問したい」という最高の評価においては決して高いものではなく、まずは満足度向上から再訪意向を上げることにつなげる一連の観光資源の開発、磨き上げが求められます。

また、推奨意向は、「とても勧めたい」13.2%、「勧めたい」53.7%、「どちらでもない」29.8%となっており、「どちらでもない」との回答がやや高く、「とても勧めたい」という最高の評価は、こちらでも多くありませんでした。

SNS などが盛んな現代では、このような情報発信ツールを活用して、推奨意向を高めることが、人気の観光地になるためには必要となります。

アンケート調査（①府中市内）　問21：府中市への再訪意向、問22：推奨意向

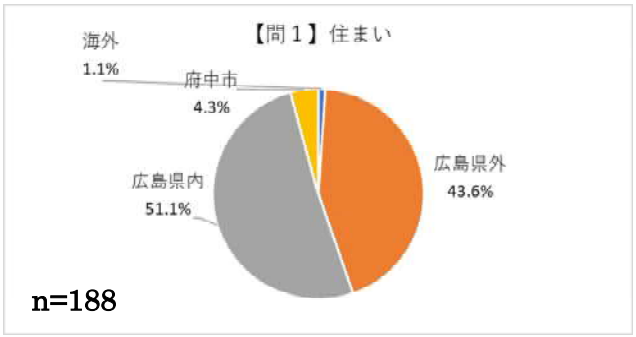




②　広島県内（府中市外）でのアンケート調査

広島県内（府中市外）でのアンケート調査における回答者の属性は、以下のとおりです。

アンケート調査（②広島県内）　**問1～3：回答者の属性（住まい・年齢・性別）**



広島県内

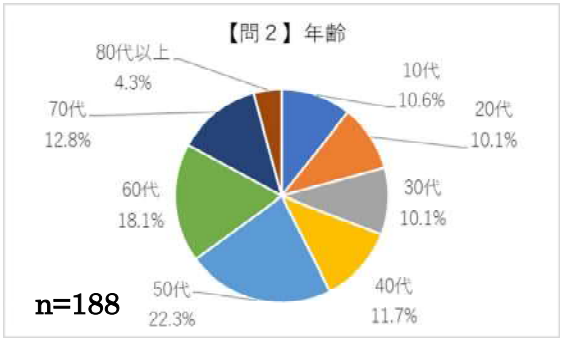
広島市	20.2%
福山市	10.6%
府中市	4.3%
三原市	3.2%
呉市	2.7%
東広島市	2.7%
尾道市	2.1%
府中町	1.1%
竹原市	0.5%
庄原市	0.5%
廿日市市	0.5%
(未回答)	6.4%

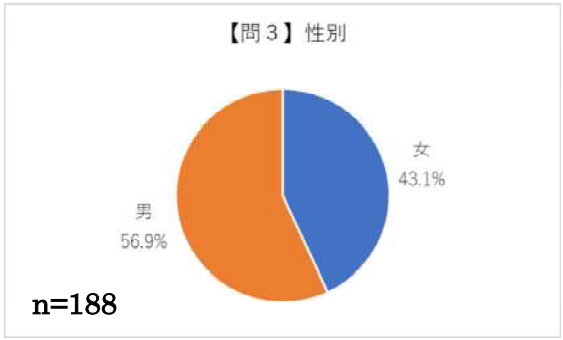
海　外

豪州	0.5%
(未回答)	0.5%

広島県外

岡山県	4.8%
茨城県・東京都	4.3%
北海道	3.7%
栃木県・神奈川県・兵庫県	2.7%
千葉県・大阪府・福岡県	2.1%
山口県	1.6%
福島県・埼玉県・長野県・愛知県・滋賀県	1.1%
宮城県・三重県・京都府・鳥取県・愛媛県・佐賀県・熊本県・鹿児島県	0.5%
(未回答)	1.1%



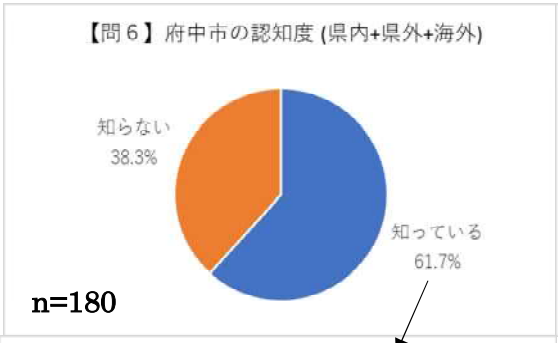


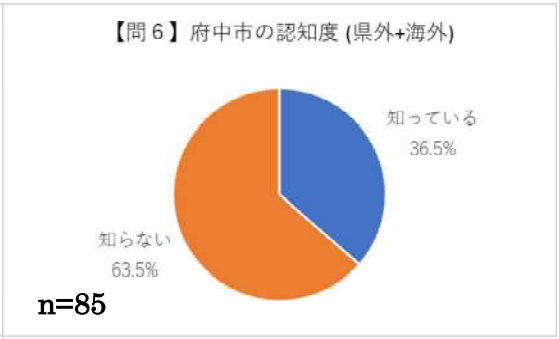
■ 府中市の認知度・訪問予定

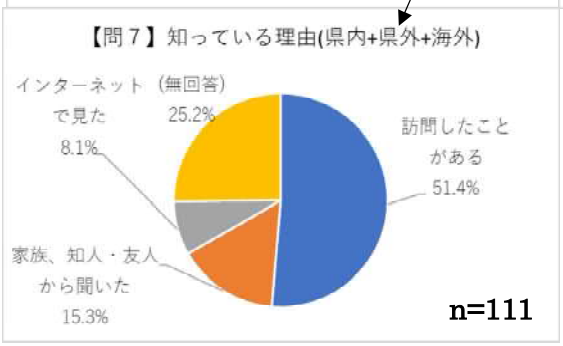
府中市のことを知っているか聞いたところ、広島県内の人を含めて集計した場合では、認知している人の割合の方が高い（「知っている」61.7%、「知らない」38.3%）ものの、県外の人のみで集計した場合では、認知していない人の割合が高く（「知っている」36.5%、「知らない」63.5%）、結果は逆転しましたが、県外の人に限った場合でも、一定の認知度はあることがわかりました。

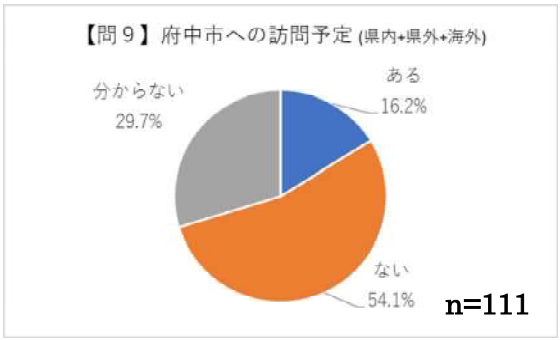
府中市への訪問予定を尋ねたところ、「ない」54.1%、「分からない」29.7%との回答で大半を占め、県内の主要な交通機関の玄関口から府中市に訪れる人は少数でした。

アンケート調査（②広島県内） 問6： 府中市の認知度、 問7： 知っている理由、
問9： 府中市への訪問予定





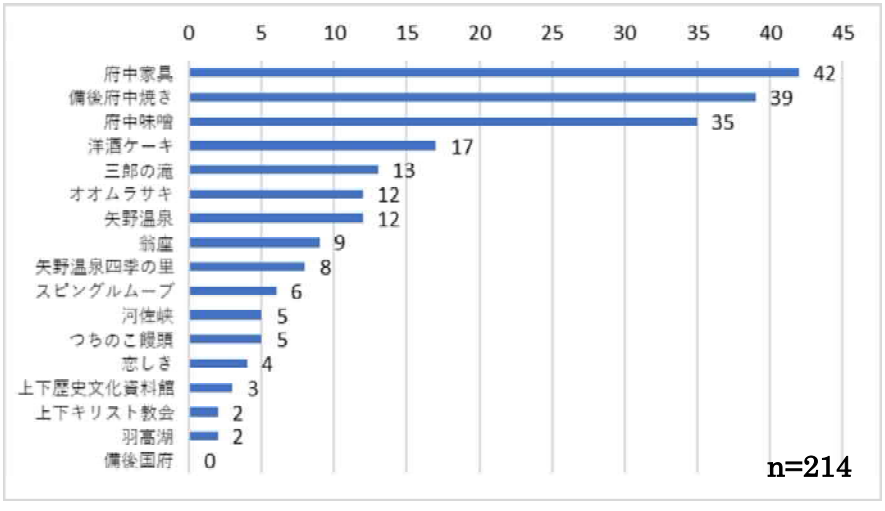




■ 府中市に関係するもので興味があるもの

府中市に関係するもので興味があるものを聞くと、「府中家具」、「備後府中焼き」、「府中味噌」が上位となりました。このような「ものづくり」や「食」にまつわるものが、潜在的観光客にとっては魅力になり得る可能性を示しています。

アンケート調査（②広島県内） 問10： 府中市の観光資源で興味があるもの（複数回答）



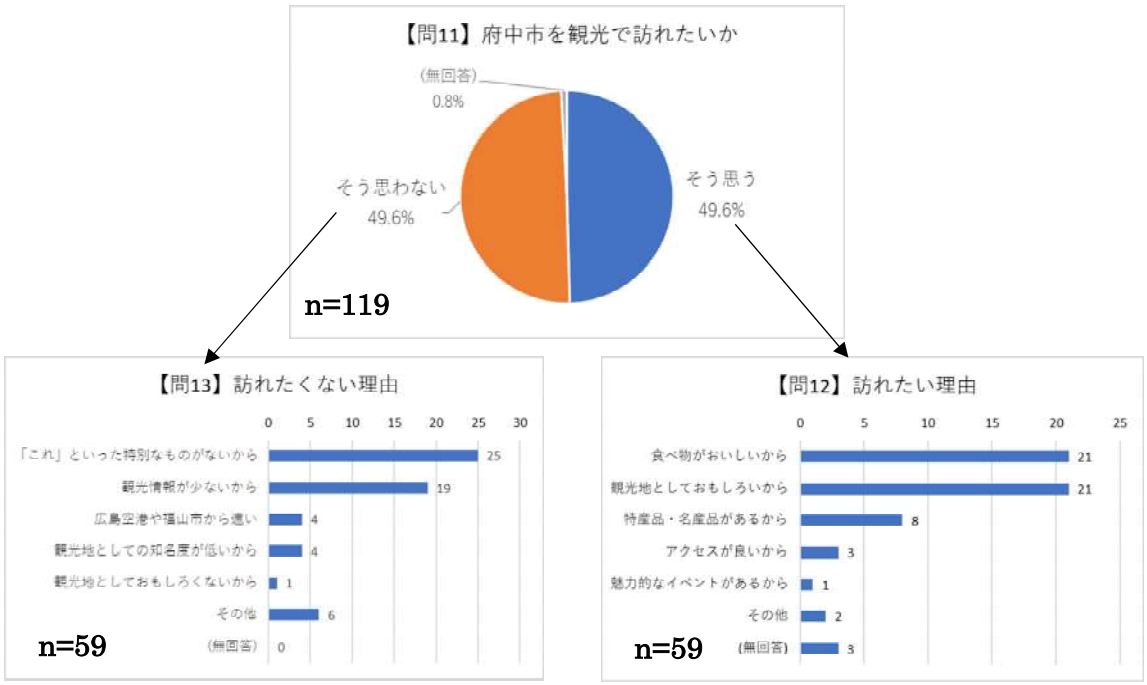
■ 府中市への訪問意向

府中市を「観光で訪れたいまち」か聞いたところ、「そう思う」と「そう思わない」の割合が半々となりました。

訪れたいと思う理由としては、「グルメ」や「観光地としての魅力」を挙げる人が多く、逆に訪れたくないと思う理由としては、「これといった特別なものがない」ことや「観光情報が少ない」ことを挙げる人が多い結果となった。

このことから、観光客に訪れてみたいと思わせる「その土地ならでは」の魅力的な「観光コンテンツ」や、観光客のニーズを捉えた情報発信が改めて必要と考えられます。

アンケート調査（②広島県内） 問11： 府中市への訪問意向、
問12： 訪れたいと思う理由、 問13： 訪れたいと思わない理由

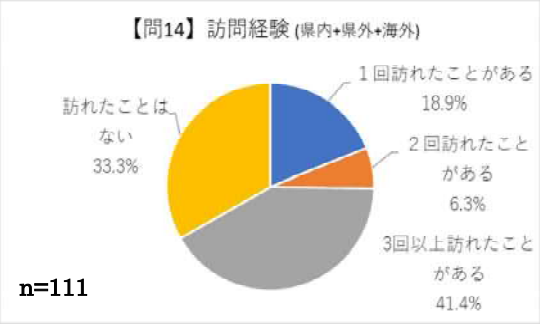


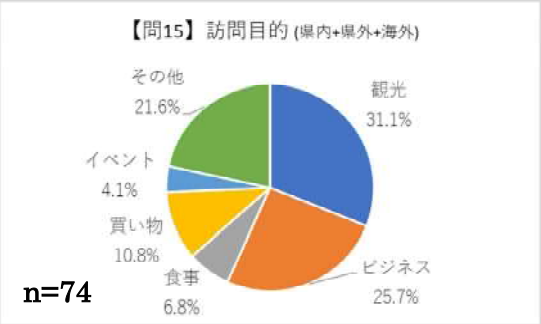
■ 府中市への訪問経験・訪問目的

市外居住者の方に対し、これまで府中市に訪れたことがあるか聞いたところ、66.7%の人が「訪れたことがある」と答えており、また半数近くが複数回訪問していました。

訪れた経験がある人での訪問時の目的としては、「観光」31.1%や「ビジネス」25.7%が多くなっていますが、観光目的は３割止まりであることから、今後は観光を目当てに来てもらう人をさらに増やすことで、交流人口や関係人口を増やしていくことに力を入れる必要があります。

アンケート調査（②広島県内） 問14： 府中市への訪問経験、 問15：訪問目的

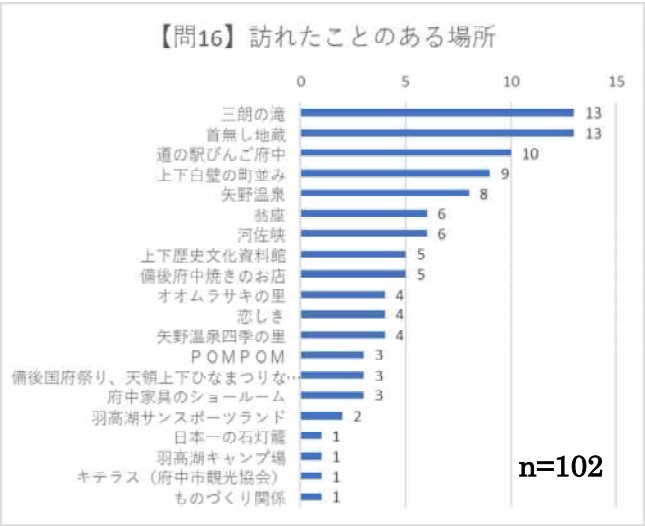




■ 府中市に観光目的で訪れた人の訪問場所

訪問目的で、「観光」と答えた方にどこに訪れたか確認しました。その結果、「三郎の滝」、「首無地蔵」、「道の駅びんご府中」、「上下白壁の町並み」が上位となりました。また、今は活用されていない矢野温泉を訪問したという回答も複数ありました。一方、興味関心が高かった「ものづくり関係」に対する訪問経験はまだまだ少ないこともわかりました。

アンケート調査（②広島県内） 問16： 府中市での訪問場所 （複数回答）



■ 府中市での滞在時間・交通手段

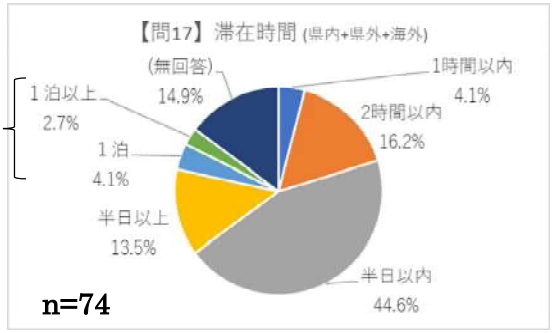
府中市外の人が府中市内に訪れた際の滞在時間は、「半日以内」44.6%、「2 時間以内」16.2%と、府中市でのアンケート同様、短い傾向となっている。

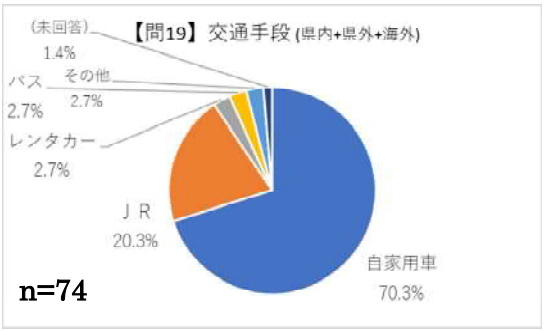
府中市までの交通手段は「自家用車」が 70.3%、「JR」が 20.3%となっており、府中市でのアンケートと同様、車での来訪が多い。

アンケート調査（②広島県内） 問17：府中市での滞在時間、 問18：宿泊先、 問19：交通手段

【問18】宿泊者の宿泊先

旅館 1.4%
知人宅 1.4%
その他 2.7%





■ 府中市に対する推奨度・満足度・再訪意向

府中市の推奨度、満足度、再訪意向を確認したところ、推奨度は「どちらでもない」52.4%と「勧めたい」37.8%を上回りました。「とても勧めたい」という回答も 6.1%に留まり、推奨度は低い結果となりました。

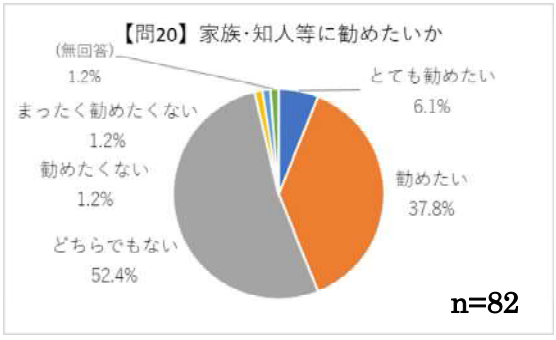
満足度も、「どちらともいえない」が 43.9%と「満足」の 41.5%を上回り、満足度が低い結果となりました。

再訪意向も「わからない」45.9%、が「訪問したい」43.2%を上回る結果となりましたが、県外及び海外から訪れた人に、広島県への来訪頻度を伺うと、７割以上が２回以上で、５割以上の人が５回以上という回答であったことからも、対策を講じれば府中市に訪れてくれる機会を作れるものと考えます。

以上のように、推奨度、満足度、再訪意向の向上が府中市にとって観光を推進する上での大きな課題となっていることがわかります。

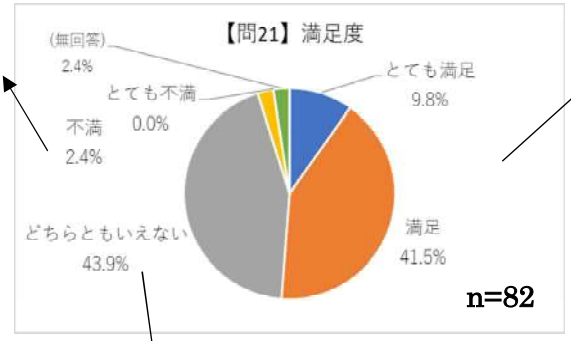
アンケート調査（②広島県内）

問20：府中市に対する推奨意向、 問21：満足度、
問22～24：満足・不満等の理由、 問25：再訪意向



【問 23】「不満」の理由

特別なものが無いから	1.2%
観光地として知名度が低いから	1.2%



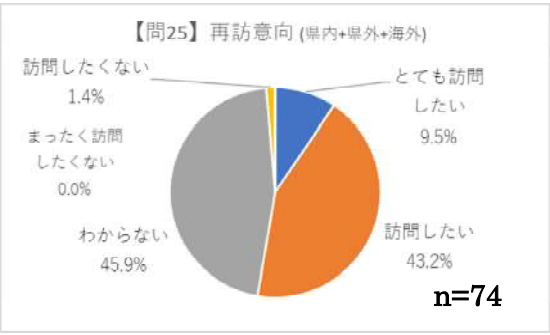
【問 22】「とても満足」、「満足」の理由

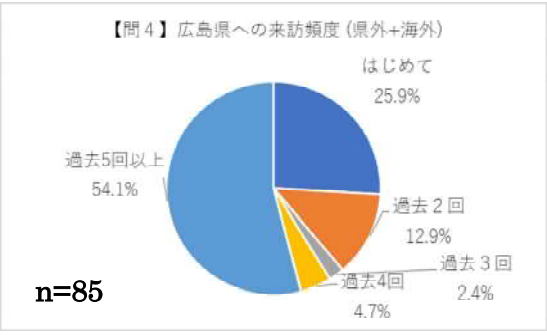
食べ物がおいしいから	19.5%
観光地としておもしろいから	18.3%
特産品・名産品があるから	6.1%
魅力的なイベントがあるから	2.4%
アクセスが良いから	2.4%
その他	1.2%
(無回答)	1.2%

【問 24】「どちらともいえない」理由

ビジネスで行ったため、観光の意識がない
他の市町と比べて特徴がなかったため
何を勧めてよいのか、目玉が無い
観光地としての知名度が低く、PR が足りない
情報が無かったため

など

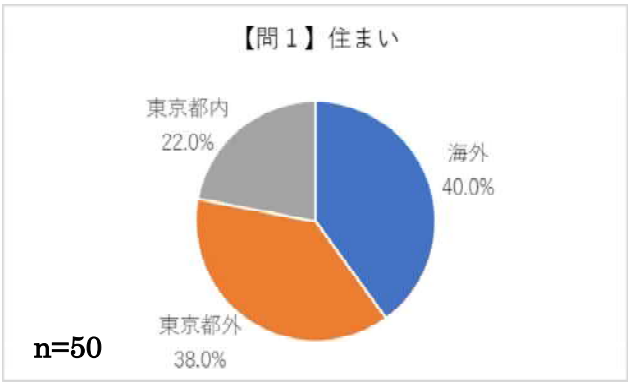




③　東京都内でのアンケート調査

東京都でのアンケート調査における回答者の属性は、以下のとおりです。

アンケート調査（③東京都内）　問1～3：回答者の属性（住まい・年齢・性別）

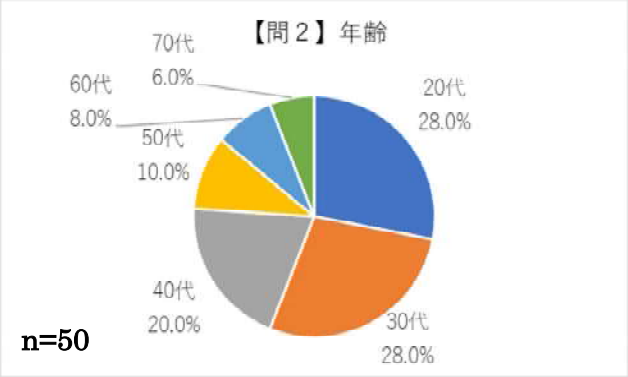


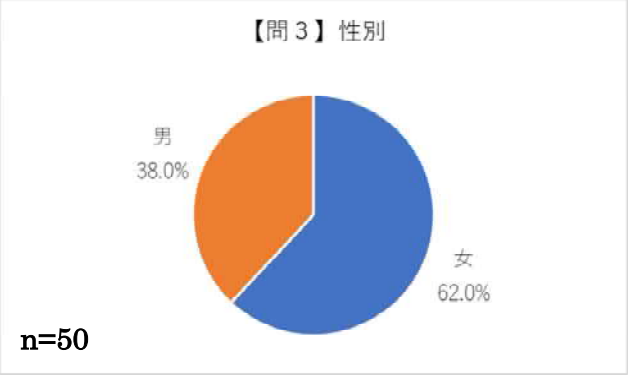
東京都外

神奈川県	22.0%
千葉県	6.0%
富山県	4.0%
埼玉県	2.0%
大阪府	2.0%
高知県	2.0%

海　外

台湾	10.0%
オーストラリア	6.0%
スペイン	4.0%
香港	4.0%
中国	4.0%
アメリカ	2.0%
オランダ	2.0%
タイ	2.0%
ドイツ	2.0%
ニュージーランド	2.0%
韓国	2.0%

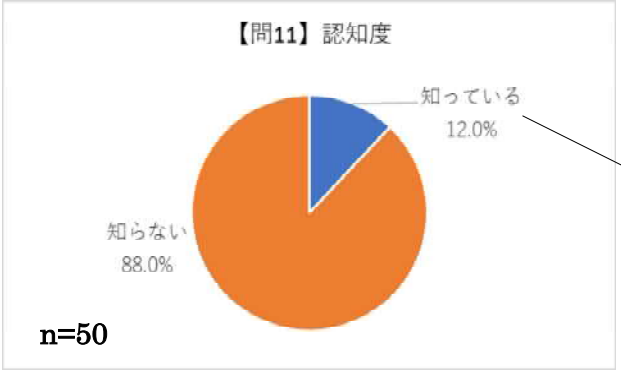




■ 府中市の認知度

広島県府中市のことを知っているか聞いたところ、「知っている」12.0%、「知らない」88.0%と、東京都内における認知度は低い結果となりました。

アンケート調査（③東京都内）　問11：府中市の認知度、 問12：知っている理由



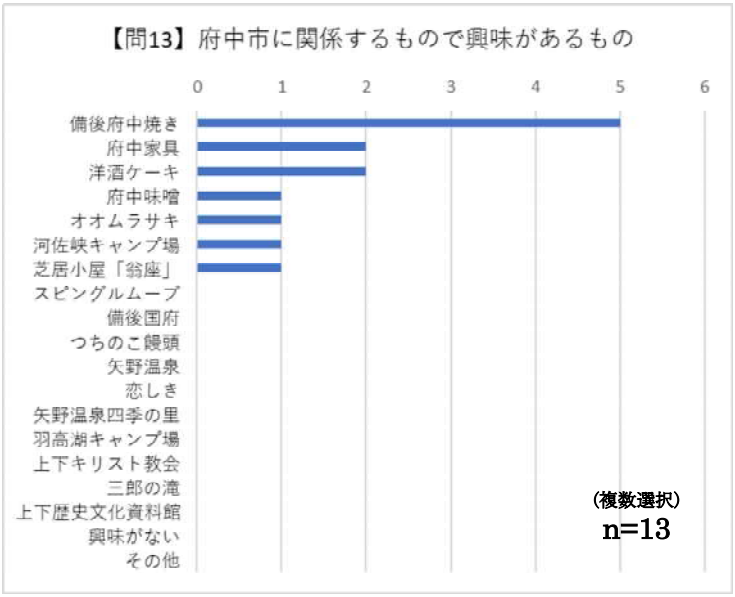
【問 12】知っている理由

訪問したことがある	6.0%
家族・知人等から聞いた	4.0%
その他	2.0%

■ 府中市に関係するもので興味があるもの

府中市を知っている人の中で、府中市に関係するもので興味があるものを選んでもらったところ、上位となったのは「府中焼き」5 人、「府中家具」・「洋酒ケーキ」各 2 人となり、「食」や「ものづくり」に関するものが多く選ばれました。

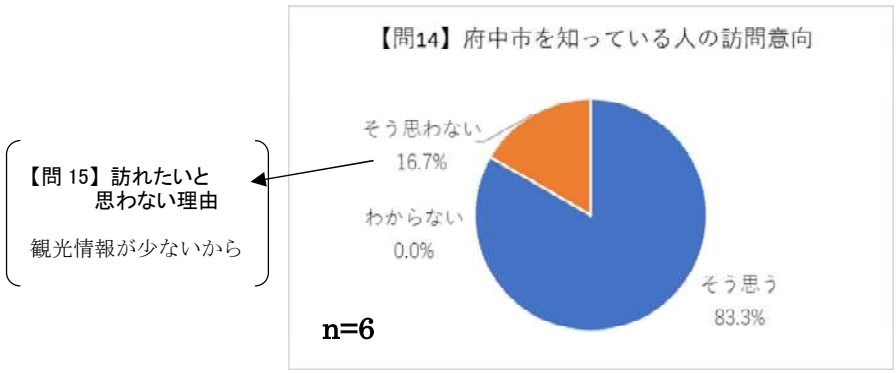
アンケート調査（③東京都内） 問13 府中市に関係するもので興味があるもの



■ 府中市を知っている人における、府中市への訪問意向

府中市を知っている人の中で、府中市を観光で訪れたいまちか聞いたところ、8 割以上が訪れたいという前向きな回答でした。

アンケート調査（③東京都内） 問14 府中市を知っている人における府中市への訪問意向
問15 府中市を知っている人で、訪れたいと思わない理由

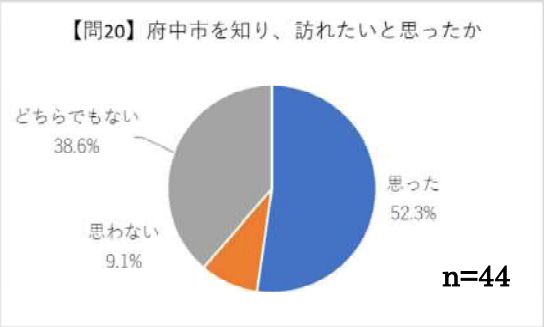


■ 府中市を知らなかった人における、府中市への訪問意向

一方、府中市を知らなかった回答者に府中市を訪問したいか聞いたところ、「訪れたい」が 52%、「どちらでもない」が 38.6%、「訪れたいと思わない」が 9.1%となりました。

どちらでもないという回答が多いだけに、訪れてみたいという動機づけが必要となります。

アンケート調査（③東京都内） 問20 府中市を知らなかった人における府中市への訪問意向



■ 広島県内で訪問したことのある市町

広島県を訪問したことのある方に対し、どの市町に訪れたことがあるかを聞いたところ、半分以上が広島市となり、残る半数程度で、府中市を含め、呉市、竹原市、尾道市、福山市などの市町が挙げられました。

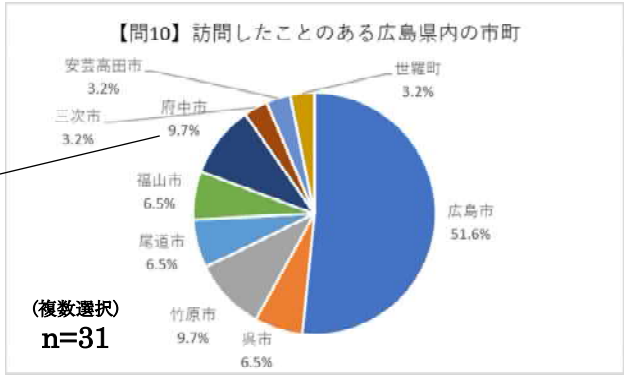
アンケート調査（③東京都内） 問10：広島県内での訪問市町、 問16：府中市の訪問経験、問17：府中市への訪問目的、 問18：府中市での訪問場所

【問 16】府中市への訪問経験

3 回以上 6.5%
1 回 3.2%

【問 17】府中市への訪問目的

観光 6.5%
買い物 3.2%



【問 18】府中市での訪問場所

備後府中焼きの店、河佐峡、オオムラサキの里
首無地蔵、POMPOM、道の駅びんご府中、府中家具ショールーム

④　各アンケート調査のクロス集計

東京都でのアンケート調査における回答者の属性は、以下のとおりです。

アンケート・クロス集計（1）　府中市の認知度　（県内×東京都アンケート）

			知っている		知らない
			訪問経験あり	訪問経験なし	
府中市を知っているか （県内アンケート　Q6,14 n=180）	**県内客** **（府中市居住者除く）**	84%（81/96）	1回　13% 2回～ 44%	27%	16%（15/96）
	県外客①	36%（30/84）	1回　10% 2回～ 13%	13%	64%（54/84）
府中市を知っているか （東京都アンケート　Q11,16 n=50）	**県外客②**	20%（ 6/30）	1回　3% 3回～ 7%	10%	80%（24/30）
	海外客	0%（ 0/20）	－ －	－	100%（20/20）
県外客における認知度	**①+②**	32%（36/114）	－	－	68%（78/114）

アンケート・クロス集計（2.）　旅行の頻度　（市内×県内×東京都アンケート）

	10回以上	5～9回	2～4回	1回	その他
日帰り旅行に年何回行くか （府中市内アンケート　Q24　n=117）	24%	20%	34%	6%	16%
国内旅行に年何回行くか （県内アンケート　Q26　n=188）	4%	13%	44%	23%	16%
旅行に年何回行くか （東京都アンケート　Q5　n=50）	8%	16%	60%	14%	2%

アンケート・クロス集計（3）　旅行で重視するポイント（市内×県内×東京都アンケート）

	日帰り旅行で重視するポイント （府中市内アンケート　Q27　n=295）	**国内旅行で重視するポイント** （県内アンケート　Q30　n=498）	**旅行で重視するポイント** （東京都アンケート　Q4　n=135）
リフレッシュできる	（1位）　73票・25%	（1位）117票・24%	（2位）　22票・16%
その土地ならではの体験や景色	（2位）　44票・15%	（5位）　39票・　8%	（1位）　26票・19%
温泉	（3位）　36票・12%	（2位）110票・23%	（5位）　17票・13%
その土地ならではの食事	（4位）　35票・12%	（3位）　43票・　9%	（4位）　19票・14%
アクセスの良さ	（5位）　30票・10%	（3位）　43票・　9%	（6位）　 9票・　7%
有名な観光地	（6位）　24票・　8%	（5位）　39票・　8%	（2位）　22票・16%

※ 複数回答・回答数の多いもの

アンケート・クロス集計（4）　府中市への来訪意欲　（県内×東京都アンケート）

	思った **（その理由）**	**思わない** **（その理由）**	**どちらでもない**
府中市を観光で訪れたいと思うか （府中市を知っている県内観光客） （県内アンケート　Q11～13　n=118）	50% ①食べ物がおいしい ②観光地が面白い ③特産品がある	50% ①特別なものが無い ②情報が少ない ③空港や福山から遠い	―
府中市を知り、訪問したいと思ったか （東京都アンケート　Q20　n=45）	53%	9%	38%

アンケート・クロス集計（5）　旅行でよく訪問する場所（市内×県内×東京都アンケート）

	日帰り旅行で よく訪問する場所 （府中市内アンケート Q25 n=319）	国内旅行で よく訪問する場所 （県内アンケート Q28 n=498）	旅行で よく訪問する場所 （東京都アンケート Q6 n=137）
定番観光スポット	（1位） 64 票・20%	（3 位） 82 票・16%	（3 位） 22 票・16%
食事・グルメ	（2 位） 64 票・20%	（2 位）104 票・21%	（1 位） 37 票・27%
温泉	（3 位） 53 票・17%	（1 位）129 票・26%	（2 位） 30 票・22%
自然・公園	（4 位） 40 票・13%	（5 位） 39 票・ 8%	― 0 票・ 0%
神社・仏閣	（5 位） 30 票・ 9%	（4 位） 50 票・10%	（4 位） 17 票・12%
美術館・博物館	（6 位） 18 票・ 6%	（6 位） 34 票・ 7%	（5 位） 8 票・11%
スポーツ観戦	（7 位） 18 票・ 6%	（8 位） 15 票・ 3%	（7 位） 3 票・ 2%
レジャー施設	（8 位） 12 票・ 4%	（7 位） 17 票・ 3%	（7 位） 3 票・ 2%
商業施設	（9 位） 10 票・ 3%	（9 位） 12 票・ 2%	（6 位） 8 票・ 6%
スポーツの実施	（10 位） 5 票・ 2%	（11 位） 3 票・ 0%	（9 位） 1 票・ 1%
産業遺産	（11 位） 2 票・ 1%	（10 位） 7 票・ 1%	（9 位） 1 票・ 1%
その他	― 3 票・ 1%	― 6 票・ 1%	― 0 票・ 0%

※ 複数回答

アンケート調査・クロス集計（6）　府中市観光の満足度（市内×県内アンケート）

	とても 満足	満足	どちらとも いえない	不満	とても 不満
府中市観光の満足度 （府中市内アンケート Q17 n=116）	15% (17/116)	59% (68/116)	24% (28/116)	2% (3/116)	0% (0/116)
府中市を観光した時の満足度 （県内アンケート Q21 n=81）	10% (8/81)	42% (34/81)	46% (37/81)	2% (2/81)	0% (0/81)
合 計	13% (25/197)	52% (102/197)	33% (65/197)	3% (5/197)	0% (0/197)

■「とても満足」・「満足」である理由

	府中市内アンケート （Q18 n=84）	県内アンケート （Q22 n=41）
観光地として面白いから	（1位） 31 票・37%	（2 位） 15 票・37%
食べ物がおいしいから	（2 位） 20 票・24%	（1 位） 16 票・39%
魅力的なイベントがあるから	（3 位） 14 票・17%	（4 位） 2 票・ 5%
特産品・名産品があるから	（4 位） 9 票・11%	（3 位） 5 票・12%
アクセスが良いから	（5 位） 7 票・ 8%	（4 位） 2 票・ 5%
その他	― 3 票・ 3%	― 1 票・ 2%

■「不満」である理由

	府中市内アンケート （Q19 n=3）	県内アンケート （Q23 n=3）
特別なものが無いから	1 票	1 票
観光地として知名度が低いから	1 票	1 票
魅力的なイベントが少ないから	1 票	―
広島空港・福山から遠い	―	1 票

■「どちらとも言えない」である理由（主なもの）

- ○ 魅力ある観光資源が少ない・分からないため
- ○ 目玉となる観光資源が無い・特徴がとぼしいため
- ○ 紅葉やイベントで期待外れであったため
- ○ 駐車場が分かりにくいため
- ○ ビジネスでの訪問であったため
- ○ 観光地としての知名度がないため

アンケート調査・クロス集計（7）　府中市観光への再訪意向（市内×県内アンケート）

	とても訪問したい	訪問したい	訪問したくない	全く訪問したくない	わからない
府中市観光をしている人の府中市への再訪意欲（府中市内居住者を除く） （府中市内アンケート Q21 n=79）	11%	53%	0%	0%	22%
府中市を観光したことのある人の府中市への再訪意欲（府中市内居住者を含む） （県内アンケート Q25 n=82）	10%	43%	1%	0%	46%

アンケート調査・クロス集計（8）　府中市観光への推奨意向（市内×県内アンケート）

	とても勧めたい	勧めたい	どちらでもない	勧めたくない	全く勧めたくない
府中市観光をしている人の府中市観光の推奨意欲（府中市内居住者を含む） （府中市内アンケート Q22 n=117）	14% (16/117)	55% (65/117)	31% (36/117)	0% (0/117)	0% (0/117)
府中市を観光したことのある人の府中市観光の推奨意欲（府中市内居住者を含む） （県内アンケート Q20 n=82）	6% (6/82)	38% (31/82)	54% (44/82)	1% (1/82)	0% (0/82)
合 計	11% (22/199)	48% (96/199)	40% (80/199)	1% (1/199)	0% (0/199)

アンケート調査・クロス集計（9）　宿泊旅行の際の一人当たりの旅行代金（交通費・宿泊費込み）（県内×東京都アンケート）

	10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 30,000 円未満	30,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
県内アンケート（Q27 n=184）	2%	18%	33%	22%	25%
東京都アンケート（Q8 n=50）	14%	34%	26%	12%	14%

アンケート調査・クロス集計（10）　府中市内での滞在時間（市内×県内アンケート）

	1時間以内	2時間以内	半日以内	半日以上	1日	1泊（泊あり）	1泊以上（泊あり）
今回、市内での滞在時間（府中市内居住者を除く） 府中市内アンケート（Q6 n=85）	13%	42%	32%	7%	1%	1%	4%
府中市へ訪問した際の滞在時間（府中市内居住者を含む） 県内アンケート（Q17 n=63）	6%	22%	53%	0%	11%	5%	3%

アンケート調査・クロス集計（11）　府中市への来訪経験（市内×県内アンケート）

	府中市を　知っている				府中市を知らない
	訪れたことはない	訪れたことが　ある			
		1回（はじめて）	2回	3回以上	
府中市への来訪経験（府中市内居住者を除く）県内アンケート（Q14、Q6　n=183）	20%	12%	4%	26%	38%
府中市への来訪経験（府中市内居住者を除く）府中市内アンケート（Q4　n=82）	―	18%	16%	66%	―

アンケート調査・クロス集計（12）　府中市観光で訪れたことのある場所（市内×県内アンケート）

府中市観光で訪れたことのある場所	（府中市内居住者を含む）（府中市内アンケート　Q8　n=753）	（府中市内居住者を含む）（県内アンケート　Q16　n=103）
三郎の滝	（1位）　80 票	（1 位）　13 票
首無地蔵	（2 位）　64 票	（1 位）　13 票
上下白壁の町並み	（3 位）　61 票	（3 位）　10 票
道の駅びんご府中	（4 位）　60 票	（3 位）　10 票
河佐峡	（5 位）　57 票	（6 位）　6 票
矢野温泉	（6 位）　56 票	（5 位）　8 票
イベント(備後国府祭り、ひなまつり等)	（7 位）　43 票	（13 位）　3 票
上下歴史文化資料館	（8 位）　42 票	（8 位）　5 票
翁座	（9 位）　40 票	（6 位）　6 票
矢野温泉四季の里	（10 位）39 票	（10 位）　4 票
オオムラサキの里	（11 位）30 票	（10 位）　4 票
恋しき	（11 位）30 票	（10 位）　4 票
備後府中焼きのお店	（13 位）29 票	（8 位）　5 票
POMPOM	（14 位）26 票	（13 位）　3 票
日本一の石灯篭	（15 位）21 票	（17 位）　1 票
羽高湖サン・スポーツランド	（16 位）20 票	（16 位）　2 票
羽高湖キャンプ場	（17 位）17 票	（17 位）　1 票
府中家具のショールーム	（18 位）15 票	（13 位）　3 票
ものづくり関係	（19 位）11 票	（17 位）　1 票
キテラス（市観光協会）	（20 位）　8 票	（17 位）　1 票
その他(ビジネス・出張等)	―　　4 票	―

※ 複数回答

アンケート調査・クロス集計（13）　旅行先を決める際によく使う情報収集の方法（市内×県内×東京都アンケート）

	府中市内アンケート（Q25　n=185）	県内アンケート（Q32　n=352）	東京都アンケート（Q7　n=85）
インターネット	（1位）　38%	（1位）　36%	（1 位）　48%
家族・友人・知人	（2 位）　26%	（3 位）　17%	（3 位）　13%
旅行雑誌	（3 位）　12%	（2 位）　20%	（2 位）　20%
ラジオ・テレビ等	（4 位）　12%	（5 位）　11%	（4 位）　10%
訪問したことあり	（5 位）　7%	（6 位）　3%	（6 位）　2%
旅行会社	（6 位）　4%	（4 位）　13%	（5 位）　6%
その他	―　　1%	―　　0%	―　　1%

※ 複数回答

2．ビジョン策定にあたってのワークショップでの意見

（1）参加者からの意見（ワークショップ１回目：地域資源の洗い出し）

ワークショップ（1）テーマ	① 県内、県外の観光客にお勧めしたい、広島県府中市の観光資源を挙げる ② 観光資源をグループ毎に分ける

カテゴリー	ｴﾘｱ	観光資源名
食・グルメ	府中	府中焼き、諸田ごぼう、道の駅、府中みそ(中村、浅野、金光)、白みそ、オーガニックみそ、じねんじょ、バルカカフェ、大吉ラーメン、むらかみ(蕎麦)、インコアイス、諸田ねぎ、千徳の手羽先、みそアイスキャンデー、米こうじ、みんなのピクニック(マルシェ)、小川（高校前の店）、諸田白菜、パンセ（洋菓子）、浅野味噌蔵まつり
	上下	片野パン屋、おぐら園、洋酒ケーキ、上下南農産のお米、じねんじょ大福、つちのこ饅頭、備後矢野駅(うどん・そば)、ビットリオ(ピザ)、山野草、深江のみそ、寒番茶(小倉園)、アスパラガス、たまる屋（お茶、コーヒー、ぜんざい）
自然・景勝地	府中	亀ケ岳、さつき寺(安楽寺)、八田原ダム、オオムラサキ、七ツ池、味噌蔵、府中公園の桜・蓮、ヒロ・ローズガーデン、SL 公園、神宮寺あじさい祭り、河佐峡(キャンプ・バーベキュー・パークゴルフ)、三郎の滝(滝滑り・紅葉狩り)、青目寺、首無地蔵、羽高湖(キャンプ)、府中八幡神社、前原の風景、妙見山
	上下	ユキワリイチゲ、カタクリの里、あやめ四季の里、岳山、岩海、竜王山、翁山、分水嶺、小塚バラ園、梶田ぶどう園、小塚ラン、西奥ボタン園、たれゆえそう、夜空、階見植物園、カタクリ、京願坊、翁山、上下の町並み、オオサンショウウオ、矢野温泉、ホタル(小原峡・小塚)
体　験	府中	羽高湖キャンプ、工場見学、TTC アリーナ、リョービ、三郎の滝、備後国府まつり、福塩線、河佐峡、産業博、箸づくり(マルケイ木工)、ポムポム、オオムラサキの里、味噌づくり
	上下	着付け、池田牧場、かかしまつり、一貫張り、座禅体験、剣道体験、農業収穫体験、四季の里、岳山登山
歴史・文化	府中	恋しき、あじさい寺(神宮寺)、石州街道出口通り、芦品郡役所、首無地蔵、甘南備神社、日本一の石灯篭、備後国府跡、青目寺、安楽寺、八田原ダムの脇にある明治期の発電所跡、南宮神社、清龍神社、神宮寺資料館、府中八幡神社、十輪院（洞窟・火渡り）、栄明寺、三室山
	上下	代官所跡、善昌寺、あやめ寺、岡田美知代、上下キリスト教会、末広酒造資料館、土田旅館、上下商工会、専教寺、白壁の町並み、翁座、上下歴史文化資料館、真野資料館、吉井寺、天領、角倉邸、角倉の外門、上下画廊、亀山神社、矢野温泉の神社、弓神楽、矢野神楽、矢野神儀（おどり）、重森酒造資料館、前原お菓子資料館、ひとやすみ(奥の長い家)、白壁まつり、ひなまつり、かかしまつり、あやめまつり、白壁の町並みガイド（中学生）、矢野神山(柿本人麻呂)、松尾芭蕉の門下生(専教寺)、矢野ぎおん水、土人形、備後神楽、田山花袋の訪れた岡田家
社寺・仏閣	府中	神宮寺、上加茂神社、下加茂神社
	上下	専教寺、吉井寺、西山寺、矢野八幡神社、安福寺、善昌寺,上下八幡神社
伝　説	府中	七つ池伝説
	上下	スサノオ、柿本人麻呂
イベント	府中	ベジタブルなコンサート、備後国府まつり、食博、ゼロハンレース、夢吊橋ウォーク、産業博、花火（府中）、キラリン夜店、道の駅イルミネーション、瀬戸内ファクトリービュー、学びフェスタ
	上下	天領上下花火まつり、四季の里もみじ、上下かかしまつり、上下あやめまつり、天領上下ひなまつり、天領上下端午の節句、天領上下白壁まつり、こっとう市、上下きて皆祭（そばまつり）
店　舗	府中	バルカカフェ、村の灯、湖畔の家、チロル、コトブキ印刷、ニチマン、富士旅館、キャンプイン府中
	上下	占部、上下画廊、MG ユース、かかし(串焼き)、たまる屋、ホームキッチン、法界山産品センター、小倉園、風月堂、ゆる利、上下駅まんまる屋、翁、ひとやすみ、伝統工芸、たるちゃん食堂、上下食堂、プラシャンティ、ビットリオ、上下スタイル、上下レコード、中元クリーニング、棕櫚庵(しゅろあん)
建　物	府中	府中学園、夢吊橋、平地呉服店、ポムポム、ポムサーキット、月見ヶ丘プール、3Dラボ
	上下	上下歴史的建物橋、上下駅、アンガールズ田中さんの家
施設・企業	府中	コトブキ印刷、恋しき、ニチマン、ヒロボー、作業服、キテラスふちゅう、道の駅、ポムポム、家具屋さん、TAM，キャンプインふちゅう、レンタサイクル、福塩線
	上下	備後矢野駅、代官所跡、上下運動公園、上下キリスト教会、上下駅、翁座、角倉の外門
その他		ミンチュー、ひめちゃんまろちゃん、Garyu、森友嵐士、一両の電車

ワークショップ（1）テーマ	③ まだ観光資源となっていないもので、今後観光客に人気が出そうな地域資源を挙げて、楽しみ方、ターゲットを考える

No.	資 源 名	誰が楽しむ（ターゲット）	楽しむ方法
1	備後神楽体験	・インバウンド ・大人 ・やってみたいけど難易度であきらめた人	・神楽を習って、最後は舞台に立つ
2	山城めぐり	・城マニア ・登山好きな人	・ガイド付きで複数回る ・スタンプラリー
3	花火・ホタル	・サイクリスト ・キャンパー ・家族連れ ・都会の人	・キャンプ場づくり ・キャンプをしながら見る
4	遺跡(備後国府)	・歴史好きな人	・遺跡を発掘する体験
5	漬物・古漬け	・昔をなつかしむ大人 ・外国人	・漬物を使った料理を PR ・休耕田畑の活用 ・材料の生産から行う ・空家の有効活用 ・地方色を出せる
6	棺桶(日本コフィン)	・これから死ぬ人々 ・特に独り身の人	・終活ツアー ・日本コフィンへ見学ツアー ・デザイナーズブランドの棺桶
7	一車両電車（福塩線）	・鉄道ファン ・撮り鉄 ・外国人	・特別列車 ・サイクリストの移動手段 ・インスタ映えポイントの紹介（マップ）
8	夏になると県内で一番暑い	・忍耐強い人	・府中焼きをエアコン無しで焼き体験し食べる ・三郎の滝で汗を流す ・がまん大会
9	山菜取りと食べる会	・料理好き ・都会の人	・地元の方が教えてくれる（取り方、食べ方） ・地元の方との交流
10	工場見学ツアー	・家族 ・都会の人	・ものづくりの現場 ・作り手さんとの交流
11	河佐駅・中畑駅周辺の花観光	－	－
12	なまこ壁塗り	・誰でも老若男女 ・外国人	・動物等の形を作る
13	柿採り、栗拾い	・外国人（欧米人）	・したことないことをする
14	企業で体験	・大人も子供も	・工場で作る（何か）
15	翁座	・誰でも何人でも	・歌舞伎体験 ・神楽
16	サイクリング	・誰でも	・府中～上下（どこでも）

（２）参加者からの意見（ワークショップ２回目：府中市の観光の可能性）

ワークショップ(2)テーマ	① 府中市の 10 年後、20 年後のあるべき姿、目標は

1	府中エリア：ものづくり／体験 上下エリア：歴史・文化　　➡ 周辺市町との連携
2	府中エリア：多くの観光客を受け入れて、経済の活性化を目指す 上下エリア：温泉の復活によって、自然と共生する保養型の観光地を目指す
3	府中エリア：ものづくりを生かし、家具作り・木工体験ができるエリア 上下エリア：観光に来られた方がファンになって、住みたいと思える定住に繋がるエリア
4	府中エリア：府中焼きが、知らない人がいないほどの人気になり、府中焼き目当てにたくさんの人が来るエリア 上下エリア：歴史的街並みとアンティークの街として、国内外のお客様が来る県を代表する観光地に
5	周辺の市町と連携をして売り込み・仕掛けが出来るエリア
6	市民が誇りに思う資源が観光資源となり、経済の糧になっている／現在眠っているもの、失われたものが活用され、観光資源となり、生活の糧になっている
7	府中エリア：古代に花開き、近代以降に受け継がれたものづくりのまち。海と山の間に存在する 1,300 年の佇まい 上下エリア：山陽、山陰を結ぶ宿場町の風情があるエリア
8	市外からの観光客が増えて、街を歩くと市外の人とすれ違い、あいさつや会話ができる町。
9	上下エリアと府中エリアを分けて、宿泊施設の増加による観光客の誘致を目指す 上下エリアは「町並み観光エリア」、府中エリアは「体験エリア」として、両エリアをサイクリングでつなぐ
10	府中エリア：暮らすというより町と生きるが実践できる町。 地域が家族というような町 企業と地域が支え合って、人も支える町 上下エリア：故郷のようにいつ来ても出迎えてくれる町 どこか知っているような気がする町。 どこよりも親切な町
11	訪れてみて、住んでみたいまち
12	工業の町（ものづくりの町）
13	備後国府が置かれた場所なので、歴史を大切にして未来にわたり伝えていく
14	ものづくりミュージアムがあるエリア（若手職人とデザイナーによるアートがある町）
15	クリエイティブな人づくりを、ものづくりを通じてできるエリア
16	交流拠点化、上下
17	府中駅に駅ビルを作り、スーパー銭湯、ショッピングモールなどを作り、3 階から上をホテルにする。 駅前周辺をにぎやかにする
18	平野部：ものづくりができる街 山間部：自然と伝統を楽しみえる街
19	府中エリア：ものづくりが盛んな町 上下エリア：街並みを残す
20	近隣地域と共に反映するようにハブ的な役割を果たす地域

ワークショップ(2) テーマ	② 府中市が来てもらいたいターゲット観光客

1	府中エリア： お金を落とす層(経済効果を目指すため) 上下エリア： インバウンド／歴史マニア
2	若者で自然豊かさを満喫し、将来定住する人
3	府中エリア： 30 歳前後の夫婦(子供有)、仲間内での旅行 上下エリア： 50 歳～60 歳ぐらいの歴史に関心がある人
4	府中エリア： 福屋や尾道に来る観光客が府中焼きを求めて 上下エリア： 欧米の外国人／インバウンドリピーター、アンティーク目当て
5	お金を落とす人
6	府中市を評価し、市民と交流する外国人
7	関西以西、60～70 歳、夫婦、同世代の友人。自然や歴史など自分の知らないことを発見したい層 人ごみにもまれず、ゆっくりと回りたい人。
8	上下エリア： 外国人観光客／シニア 府中エリア： お好み焼きや木工体験に興味がある若者層、ファミリー層、シニア層
9	規模、生活などちょうど良いを求める人、ファミリー、人恋しい人、福山など近隣から通り道で寄ってくれる人
10	首都圏、大阪の 20～40 代。クリエイター、デザイナー。空き家を活用して起業、移住。産業観光に興味があり移住する人。デュアルライフを目指す人
11	欧米豪。台湾人(岡山空港からつなぐ)／グランピングを好む層／定住につながるファミリー／スピングルムーブの工場見学と買い物をする層
12	府中市とつながりのある市町の人々／石州街道沿いの人々／府中市内の企業とつながりのある家族
13	若手クリエイター／外国人
14	都市部に住む 20～40 代。素材や製品を作りに関心がある層。ファミリー層、仲間、職場の同僚
15	台湾、ヨーロッパ。旅慣れた層。室の高い交流・体験・本物を求めている層。シニア、ファミリー層
16	三世代
17	ものづくりに興味がある若年層
18	目的のある礼儀正しい観光客 (目的がない方は、その土地に対する思い入れが少ないので、マナーを含めてその地域を大切にしない)
19	ゆっくりとした時を過ごしたい人
20	暮らす人々を認めてくれる人

ワークショップ(2) テーマ	② 他地域に負けない府中市の NO1、オンリー1コンテンツ

1	どのような環境でも負けない府中の人
2	情報発信力、全国に広がるネットワーク
3	野菜と牛
4	府中焼きの店の数／三郎の滝と管理人
5	ゆるいウェルカム感
6	ノリの良いものづくりの人が多い
7	備後府中焼き／国内有数のものづくり企業／アンテナショップ
8	人柄
9	スピングルムーブ／府中焼き／桐のたんす／上下のひなまつり／パワースポット(首無地蔵)
10	ものづくり／人間(熱い・ウエルカム感)／地域力(町内会)
11	人／職人／企業のドラマ(人口割合で社長の多い町だから)
12	歴史資料館の館長
13	複合的な産業集積によるものづくり ／ものづくりの町から生まれた府中のソウルフード(備後府中焼き)
14	国府／豊富な観光資源／人材
15	北に山を持ち、南に川を持った街としての佇まい／コンパクト性
16	スピングル／洋酒ケーキ
17	府中焼き／アンガールズ田中／翁座／アンティーク
18	矢野温泉／上下宿／街並み
19	「国府」と「天領」がある町

（３）参加者からの意見（ワークショップ３回目：府中市の観光商品づくり）

ワークショップ(3) テーマ	① 府中市の魅力が詰まった、とっておきの観光コースを作る

No.1	コースタイトル	**親子で楽しめる体験ツアー**
	テーマ	子育てお母さんと子どもの面倒
	ターゲット	子育てお母さんと子ども／ものづくりが好きな女子／ゆっくりステイの大人
	ターゲットニーズ	地域の人たちと交流を通して、子育てのホッとスポットめぐり
	実施想定時期／季節	土／日、秋／春
	行程イメージ	1 日目 府中発～味噌づくり～お好み焼き～POMPOM（子供預ける）～バルカカフェ（母親のみ）～ニチマン（見学）～不二家旅館（夕食で交流会） 2 日目 道の駅びんご府中（3D プリンター体験）、買い物、昼食～土井木工にて木工体験～帰路
	交流ポイント	旅館女将さん／味噌づくりの人／お好み焼きの人

No.2	コースタイトル	**街の寺社と山の寺社をおなか一杯楽しもう**
	テーマ	伝統・歴史
	ターゲット	30 代～40 代女性（都会に住んでいる層）
	ターゲットニーズ	
	実施想定時期／季節	初夏
	行程イメージ	1 日目 道の駅びんご府中～吉備神社～須佐神社～専教寺～善昌寺～光信寺（泊） 2 日目 上帝釈永明寺～幸運仏～紙飛行機タワー～神石高原ディガルデン（昼食）～府中市内
	交流ポイント	旅館女将さん／味噌づくりの人／お好み焼きの人

No.3	コースタイトル	**ブライダルの思い出を訪れる（今昔物語　昔と今の家具）**
	テーマ	ものづくり
	ターゲット	50 代～70 代。女性または夫婦
	ターゲットニーズ	木工、家具の小物を作る、倒木を切る
	実施想定時期／季節	初夏
	行程イメージ	A 案（神石高原町とのセット） 福山駅～府中家具（椅子／机作り体験、買い物＊テーマ：木育、リフォーム）～阿字和紙体験～上下の歴史的町並み（ガイド付きツアー、体験、昼食）～神石高原町～福山駅 B 案（庄原市とのセット） 福山駅～府中家具（椅子／机作り体験、買い物＊テーマ：木育、リフォーム）～阿字和紙体験～庄原市（昼食）～福山駅
	交流ポイント	小さな体験、交流も丁寧に作っていく

No.4	コースタイトル	**上下エリアでの町づくり体験ツアー**
	テーマ	都会の人に町づくりを体験してもらう
	ターゲット	首都圏や関西圏（都市部）に住んでいる町づくりに興味のある人
	ターゲットニーズ	町づくりそのものを体験したいというニーズや空き家を再生、活用してみたいというもの
	実施想定時期／季節	春。ひなまつり開催シーズンに合わせて
	行程イメージ	ひなまつり見学・昼食～空き家修繕体験～上下のゲストハウス（宿泊） ※　完成した空き家を 1 年後に再訪問し活用を検討（店舗にするなど）。 　将来的には移住やデュアルライフなどで関係をもってもらう
	交流ポイント	空き家修繕の指導を住民がすることで、作業を通じて交流が生まれる。 1 年後の再来訪での空き家活用（店舗出店等）においても共同で実施

No.5	コースタイトル	**府中で 2 人の人生のスタートを**
	テーマ	2 人で一生使う人生の一部となる家具（椅子）作り。家族が増えたらまた作ってもらう
	ターゲット	ハネムーナー（外国人含む）。宮島や大久野島目当ての観光客の＋αを狙う
	ターゲットニーズ	世界に一つだけの新居用の家具が欲しい。一流の職人と交流したい
	実施想定時期／季節	通年
	行程イメージ	1 日目 家具屋集合（レクチャー／工場見学）～職人さんと食事（府中焼きをテイクアウトで）～椅子作り（2 人で。記念日、ネームを刻印）　～富士旅館にチェックイン（夕食は居酒屋　宿泊） 2 日目 恋しき（和装ウエディングやウエディングフォト）～家具受取り（完成品確認、発送）～道の駅（味噌料理の昼食）～　味噌作り体験（1 年後に発送）
	交流ポイント	府中焼きを食べながら職人さんとの交流、職人・女将、住民からの温かいお祝い

No.6	コースタイトル	**上下 MY 鍋作りツアー**
	テーマ	上下で見て、取って、食す！
	ターゲット	グルメで料理好きな 30 代 OL
	ターゲットニーズ	自然の中で特別な体験をしたい
	実施想定時期／季節	通年
	行程イメージ	上下駅集合～上下南農産（野菜収穫／水の確保）～田中さん宅（山菜の収穫）～藤岡畜産（上下牛の見学）～MG ユースホステル（地元主婦と MY 鍋作り体験）～宿泊
	交流ポイント	農家、地元主婦との交流

No.7	コースタイトル	**食卓を作ろう**
	テーマ	婚礼家具で栄えた街「府中」で、家族のスタートとなる食卓づくりを「家族作りは家具作りから」
	ターゲット	30 代前半の夫婦、ファミリー、ものづくりが好きな人
	ターゲットニーズ	手作りのものに囲まれて生活したい
	実施想定時期／季節	通年
	行程イメージ	1 日目 府中駅集合～製作所見学～木工見学～食卓作り～宿泊 2 日目 食卓作り（続き）－完成、記念撮影
	交流ポイント	地元の製作所、木工メーカーの職人さんとの交流

No.8	コースタイトル	**ものづくりの町府中にちょっと寄っていきませんか？**
	テーマ	リアルビジネス観光
	ターゲット	市内企業に出張で来た方（宿泊を伴う男性）。年齢は 30－40 代前半の独身
	ターゲットニーズ	・ものづくりの町府中に仕事に来たけど、仕事関係以外の企業を見学してみたい ・ひょっとすると異業種とのコラボレーションでビジネスチャンスが広がる。プレジャー
	実施想定時期／季節	通年
	行程イメージ	市内企業（商談等）～現地企業でものづくり体験（木工／味噌など）～府中焼きの食事　＊宿泊も可能性として考える
	交流ポイント	異業種の方、モノづくりの方々とのビジネス交流

No.9	コースタイトル	**満点の星空を見よう**
	テーマ	自然の中で青春を思い出そう！！
	ターゲット	写真家。60 代以上。（バス、タクシーを貸切るツアー型）
	ターゲットニーズ	自然の中で特別な体験ができる
	実施想定時期／季節	通年
	行程イメージ	府中観光協会（府中焼きの昼食、）～三郎の滝～上下歴史文化資料館（町並散策、ガイド付き、キリスト教会庭、ゲストハウス庭、町並みフォト＊有料）～四季の里（BBQ、地域の人と交流、キャンプ体験、ピザ焼き体験など）、夜は星空観察、撮影会～ライブハウスにて飲酒（旧瀬川貨店にて、上下高校のお酒）～ゲストハウス（宿泊） ＊夏は蛍鑑賞も有
	交流ポイント	三郎の滝でヤガミさんと交流／四季の里、ゲストハウスで地域の方、住民と交流

No.10	コースタイトル	**農業体験、デイキャンプを楽しむ（羽高湖）**
	テーマ	自分で植えた野菜を収穫し、昼食に食べる。収穫した後は、また種（苗）を植えて帰る（リピートしてもらう）
	ターゲット	農業に理解のある富裕層
	ターゲットニーズ	自分で植えた野菜を味わいながら、農業の楽しさを体験。地元農家さんの手料理を味わいたい
	実施想定時期／季節	－
	行程イメージ	羽高湖集合（協力農家の畑で収穫体験）～協力農家さん交えての昼食～協力農家さんの畑で種まき、苗植え体験～解散
	交流ポイント	地元農家さんとの交流、他の参加者との交流

3．参考データ

（1）計画策定の背景

① 府中市における人口減少の状況と今後の推計（全国・広島県・福山市との比較）

	総 人 口 （単位：千人）							
	昭和 55 (1980)年	昭和 60 (1985)年	平成 2 (1990)年	平成 7 (1995)年	平成 12 (2000)年	平成 17 (2005)年	平成 22 (2010)年	平成 27 (2015)年
全 国	117,060	121,049	123,611	125,570	126,926	127,768	128,057	127,095
広島県	2,739	2,819	2,850	2,882	2,879	2,877	2,861	2,844
福山市	426	442	445	454	457	459	461	465
府中市	56	55	53	50	48	45	43	40

＊府中市は旧上下町を含む。福山市は旧内海町・旧沼隈町・旧新市町・旧神辺町を含む。

	推計による総人口 （単位：千人）						指標 (平成 27(2015)＝100)	
	令和 2 (2020)年	令和 7 (2025)年	令和 12 (2030)年	令和 17 (2035)年	令和 22 (2040)年	令和 27 (2045)年	令和 12 (2030)年	令和 27 (2045)年
全 国	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919	106,421	93.7	83.7
広島県	2,814	2,758	2,689	2,609	2,521	2,429	94.6	85.4
福山市	466	463	458	450	440	430	98.5	92.4
府中市	38	35	33	30	28	25	**81.4**	**63.2**

出典：総務省「国勢調査」（各年）／国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年）

② 平成 18～28 年度 県内総生産・市町内総生産（広島県・府中市，実額・構成比）

区 分	年度 (平成/西暦)	総生産		第1次産業		第2次産業		第3次産業		税・関税	
県 計	18 (2006)	**11,743,592**	100.0	**78,390**	0.7	**3,720,993**	31.7	**7,913,130**	67.4	31,079	0.3
	19 (2007)	**12,234,207**	100.0	**74,090**	0.6	**3,989,064**	32.6	**8,142,028**	66.6	29,025	0.2
	20 (2008)	**11,287,465**	100.0	**72,776**	0.6	**3,370,189**	29.9	**7,787,956**	69.0	56,545	0.5
	21 (2009)	**10,717,901**	100.0	**69,520**	0.6	**3,045,857**	28.4	**7,577,195**	70.7	25,329	0.2
	22 (2010)	**10,685,493**	100.0	**69,090**	0.6	**3,093,202**	28.9	**7,481,474**	70.0	41,727	0.4
	23 (2011)	**10,983,714**	100.0	**69,469**	0.6	**3,413,743**	31.1	**7,449,095**	67.8	51,407	0.5
	24 (2012)	**10,541,710**	100.0	**73,732**	0.7	**3,037,400**	28.8	**7,370,759**	69.9	59,819	0.6
	25 (2013)	**10,768,846**	100.0	**68,347**	0.6	**3,253,715**	30.2	**7,379,893**	68.5	66,891	0.6
	26 (2014)	**11,322,229**	100.0	**66,179**	0.6	**3,611,491**	31.9	**7,558,342**	66.8	86,216	0.8
	27 (2015)	**11,810,632**	100.0	**75,395**	0.6	**3,953,309**	33.5	**7,720,783**	65.4	61,145	0.5
	28 (2016)	**11,944,686**	100.0	**79,637**	0.7	**4,066,554**	34.0	**7,760,162**	65.0	38,334	0.3
府中市	18 (2006)	**235,295**	100.0	**1,022**	0.4	**144,108**	61.2	**88,979**	37.8	1,185	0.5
	19 (2007)	**248,631**	100.0	**943**	0.4	**157,213**	63.2	**89,172**	35.9	1,304	0.5
	20 (2008)	**269,614**	100.0	**929**	0.3	**181,889**	67.5	**84,384**	31.3	2,412	0.9
	21 (2009)	**164,182**	100.0	**880**	0.5	**80,188**	48.8	**82,231**	50.1	883	0.5
	22 (2010)	**162,089**	100.0	**873**	0.5	**80,162**	49.5	**80,036**	49.4	1,017	0.6
	23 (2011)	**184,258**	100.0	**887**	0.5	**105,827**	57.4	**76,116**	41.3	1,427	0.8
	24 (2012)	**167,711**	100.0	**948**	0.6	**94,263**	56.2	**71,347**	42.5	1,153	0.7
	25 (2013)	**128,906**	100.0	**809**	0.6	**57,327**	44.5	**69,850**	54.2	920	0.7
	26 (2014)	**146,307**	100.0	**772**	0.5	**74,044**	50.6	**70,398**	48.1	1,093	0.7
	27 (2015)	**138,942**	100.0	**898**	0.6	**66,639**	48.0	**71,087**	51.2	318	0.2
	28 (2016)	**162,665**	100.0	**992**	0.6	**90,831**	55.8	**69,912**	43.0	930	0.6

出典：広島県 「市町民経済計算」（各年度）

③ 平成 2～27 年就業者数（15 歳以上）（広島県・府中市、構成比）

区 分	調査年月日（平成/西暦）	総 数 （人）	第1次産業（%）	第2次産業（%）	第3次産業（%）
県 計	平成 2(1990).10. 1	1,414,268	6.3	34.4	58.9
	平成 7(1995).10. 1	1,472,610	5.7	31.9	61.9
	平成 12(2000).10. 1	1,428,326	4.6	29.6	64.7
	平成 17(2005).10. 1	1,398,474	4.3	27.2	66.9
	平成 22(2010).10. 1	1,343,318	3.4	26.6	70.0
	平成 27(2015).10. 1	1,336,568	3.2	26.8	70.0
府中市	平成 2(1990).10. 1	27,471	4.7	53.0	42.2
	平成 7(1995).10. 1	26,486	4.8	49.4	45.7
	平成 12(2000).10. 1	23,784	4.1	47.0	48.6
	平成 17(2005).10. 1	21,644	4.3	41.8	53.4
	平成 22(2010).10. 1	19,806	3.8	38.4	57.8
	平成 27(2015).10. 1	18,971	4.0	38.5	57.5

出典：総務省 「国勢調査」（各年）

（2）観光客数関係

① 総観光客数の推移（府中市・備後地区・広島県）

（単位:千人）

市町名 ＼ 平成(年)（西暦(年)）		元 (1989)	2 (1990)	3 (1991)	4 (1992)	5 (1993)	6 (1994)	7 (1995)	8 (1996)	9 (1997)	10 (1998)
備後地区	三 原 市	1,248	1,230	1,214	1,205	1,361	1,756	1,664	1,760	2,049	1,880
	尾 道 市	4,567	4,432	4,761	5,143	4,899	4,889	4,720	4,961	4,978	5,106
	福 山 市	4,768	4,687	4,897	5,164	5,116	5,282	5,039	5,273	5,364	5,520
	府 中 市	**1,078**	**1,191**	**1,208**	**1,211**	**1,082**	**1,117**	**1,119**	**1,043**	**950**	**999**
	世 羅 町	424	500	502	557	557	625	549	835	1,013	942
	神石高原町	500	472	612	519	664	589	537	596	549	464
小 計		12,585	12,512	13,194	13,799	13,679	14,258	13,628	14,468	14,903	14,911
広 島 県 計		37,581	38,271	39,636	40,456	40,219	43,160	42,587	45,422	47,416	45,204

市町名 ＼ 平成(年)（西暦(年)）		11 (1999)	12 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)
備後地区	三 原 市	1,904	1,923	1,991	1,983	1,966	2,012	2,024	2,050	2,156	2,211
	尾 道 市	9,678	6,547	5,332	5,142	5,176	5,179	6,151	6,551	5,522	5,421
	福 山 市	6,360	5,974	6,099	5,903	5,986	5,851	6,167	6,234	6,286	6,228
	府 中 市	**984**	**1,060**	**1,048**	**1,037**	**1,032**	**1,062**	**996**	**976**	**967**	**840**
	世 羅 町	999	1,273	1,312	1,390	1,382	1,527	1,551	1,992	2,063	1,914
	神石高原町	483	461	459	912	863	950	857	771	752	749
小 計		20,408	17,238	16,241	16,367	16,405	16,581	17,746	18,574	17,746	17,363
広 島 県 計		50,977	48,442	48,037	50,608	49,755	50,983	55,561	57,994	57,609	56,316

市町名 ＼ 平成(年)（西暦(年)）		21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
備後地区	三 原 市	2,139	2,197	2,361	3,124	3,381	3,222	3,546	3,777	4,515	3,909
	尾 道 市	5,849	6,180	6,223	6,229	6,330	6,412	6,747	6,749	6,801	6,395
	福 山 市	6,347	6,797	6,449	6,352	6,527	6,758	7,269	7,293	7,249	7,162
	府 中 市	**838**	**675**	**706**	**802**	**774**	**852**	**819**	**1,016**	**1,328**	**1,114**
	世 羅 町	1,906	1,890	1,797	1,698	1,631	1,540	2,272	2,265	2,192	2,108
	神石高原町	669	561	466	660	570	486	742	732	742	710
小 計		17,748	18,300	18,002	18,865	19,213	19,270	21,395	21,832	22,827	21,398
広 島 県 計		55,302	55,766	55,322	58,932	61,089	61,810	66,176	67,773	69,894	65,041

出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

② 観光消費額の推移（府中市・備後地区・広島県）

■観光消費額（総額）

（単位：百万円）

市町名 ＼ 平成(年)（西暦(年)）		21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
備後地区	三原市	5,143	5,108	6,924	7,151	8,057	6,893	8,292	8,630	10,131	8,477
	尾道市	21,721	22,827	23,781	23,810	24,750	24,904	26,396	26,773	27,168	27,050
	福山市	31,586	31,755	29,857	28,948	29,900	30,024	32,140	32,838	32,644	32,301
	府中市	**1,030**	**886**	**901**	**976**	**932**	**1,122**	**1,103**	**1,562**	**2,307**	**1,998**
	世羅町	2,060	2,041	2,011	2,022	2,006	1,974	2,326	2,740	2,534	2,431
	神石高原町	441	453	445	751	697	683	1,013	1,078	966	885
	計	**61,981**	**63,070**	**63,919**	**63,658**	**66,342**	**65,600**	**71,270**	**73,621**	**75,750**	**73,142**
広島県計		**287,630**	**302,959**	**304,498**	**335,604**	**357,954**	**360,979**	**386,489**	**406,246**	**411,226**	**402,266**

■観光消費額（一人当たり）

（単位：円）

市町名 ＼ 平成(年)（西暦(年)）		21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
備後地区	三原市	2,404	2,325	2,933	2,289	2,383	2,139	2,338	2,285	2,244	2,169
	尾道市	3,714	3,694	3,821	3,822	3,910	3,884	3,912	3,967	3,995	4,230
	福山市	4,977	4,672	4,630	4,557	4,581	4,443	4,422	4,503	4,503	4,510
	府中市	**1,229**	**1,313**	**1,276**	**1,217**	**1,204**	**1,317**	**1,347**	**1,537**	**1,737**	**1,794**
	世羅町	1,081	1,080	1,119	1,191	1,230	1,282	1,024	1,210	1,156	1,153
	神石高原町	659	807	955	1,138	1,223	1,405	1,365	1,473	1,302	1,246
	計	**3,492**	**3,446**	**3,551**	**3,374**	**3,453**	**3,404**	**3,331**	**3,372**	**3,318**	**3,418**
広島県計		**5,201**	**5,433**	**5,504**	**5,695**	**5,860**	**5,840**	**5,840**	**5,994**	**5,884**	**6,185**

出典：(各年)「広島県観光客数の動向」

③ 発地別観光客数（府中市・備後地区・広島県）

名称	平成(年)	県内客			県外客											入込観光客(A)+(C)	総観光客数(B)+(C)
		市町内観光客数	市町外観光客数(A)	小計(B)	山陽	山陰	四国	九州	近畿	中部	関東	東北	北海道	外国	小計(C)		
府中市	26 (2014)	253	386	639	119	31	31	6	20	3	3	0	0	0	213	599	852
	27 (2015)	231	381	612	118	28	28	6	21	3	3	0	0	0	207	588	819
	28 (2016)	299	502	801	125	29	28	6	21	3	3	0	0	0	215	717	1,016
	29 (2017)	365	732	1,097	137	31	29	7	21	3	3	0	0	0	231	963	1,328
	30 (2018)	299	637	936	105	25	23	6	15	2	2	0	0	0	178	815	1,114
備後地区	30	7,399	6,088	13,487	1,640	430	671	480	1,921	679	1,396	130	97	467	7,911	13,999	21,398
広島県計	30	17,501	18,003	37,854	3,983	1,303	1,464	2,545	5,643	3,707	6,854	838	448	2,752	29,537	47,540	65,041

出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

④ 目的別観光客数（府中市・備後地区・広島県）

名称	平成（西暦）(年)	都市観光		産業観光	自然探勝	温泉	ハイキング登山,キャンプ	スキー	サイクリング
		美術館等	ショッピング等						
府中市	26 (2014)	0	0	14	97	0	17	0	0
	27 (2015)	0	0	11	92	0	24	0	0
	28 (2016)	0	0	1	100	0	24	0	0
	29 (2017)	0	0	0	102	0	23	0	0
	30 (2018)	17	12	1	57	0	19	0	0
備後地区	30 (2018)	2,200	5,314	369	1,525	1,321	194	0	307
広島県計	30 (2018)	13,521	11,957	1,558	3,652	3,170	1,554	396	410

名称	平成（西暦）(年)	その他スポーツ	海水浴釣・潮干狩	神社・仏閣	みかん狩松茸狩等	祭・行事	大規模公園等	その他	計
府中市	26 (2014)		55	166	0	362	12	123	852
	27 (2015)	6	84	174	0	275	11	140	819
	28 (2016)	8	93	154	0	294	11	331	1,016
	29 (2017)	8	92	137	0	326	12	627	1,328
	30 (2018)	9	41	142	0	240	9	565	1,114
備後地区	30 (2018)	11	561	1,299	115	3,796	1,320	1,912	21,398
広島県計	30 (2018)	1,165	927	4,966	334	10,325	3,835	4,572	65,041

出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

⑤ 旅行形態別観光客数（府中市・備後地区・広島県）

名称	平成（西暦）（年）	一般・団体・修学旅行の別				日帰り・宿泊の別		
		一般客	団体客	修学旅行	計	日帰り	宿泊	計
府中市	26（2014）	650	202	0	852	791	61	852
	27（2015）	640	179	0	819	758	61	819
	28（2016）	789	227	0	1,016	1,006	10	1,016
	29（2017）	1,019	309	0	1,328	1,315	13	1,328
	30（2018）	847	267	0	1,114	1,103	11	1,114
備後地区	30（2018）	18,834	2,511	53	21,398	19,933	1,465	21,398
広島県計	30（2018）	55,952	8,432	657	65,041	56,110	8,931	**65,041**

出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

⑥ 交通機関別観光客数（府中市・備後地区・広島県）

名称	平成（西暦）（年）	利用交通機関						
		鉄道	バス	船舶	航空機	自家用車	その他	計
府中市	26（2014）	59	175	0	0	611	7	852
	27（2015）	66	136	0	0	610	7	819
	28（2016）	81	46	0	0	880	9	1,016
	29（2017）	87	41	0	0	1,188	12	1,328
	30（2018）	74	34	0	0	997	9	1,114
備後地区	30（2018）	2,695	2,669	134	106	15,149	645	21,398
広島県計	30（2018）	**13,735**	**6,687**	**6,235**	**496**	**35,535**	**2,353**	**65,041**

出典：平成 30(2018)年「広島県観光客数の動向」

⑦ 月別観光客数

市町名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
備後地区	府中市	**73**	**75**	**108**	**132**	**125**	**86**	**186**	**171**	**69**	**102**	**137**	**64**	**1,328**
		5.5%	**5.6%**	**8.1%**	**9.9%**	**9.4%**	**6.5%**	**14.0%**	**12.9%**	**5.2%**	**7.7%**	**10.3%**	**4.8%**	**100.0%**
	三原市	320	531	288	307	405	245	304	821	254	300	541	199	4,515
		7.1%	11.8%	6.4%	6.8%	9.0%	5.4%	6.7%	18.2%	5.6%	6.6%	12.0%	4.4%	100.0%
	尾道市	356	331	619	773	688	393	538	988	585	602	642	286	6,801
		5.2%	4.9%	9.1%	11.4%	10.1%	5.8%	7.9%	14.5%	8.6%	8.9%	9.4%	4.2%	100.0%
	福山市	962	476	619	533	713	467	647	743	437	536	704	412	7,249
		13.3%	6.6%	8.5%	7.4%	9.8%	6.4%	8.9%	10.2%	6.0%	7.4%	9.7%	5.7%	100.0%
	世羅町	71	73	129	273	340	162	136	282	255	226	155	90	2,192
		3.2%	3.3%	5.9%	12.5%	15.5%	7.4%	6.2%	12.9%	11.6%	10.3%	7.1%	4.1%	100.0%
	神石高原町	35	40	55	56	74	54	58	100	67	68	84	51	742
		4.7%	5.4%	7.4%	7.5%	10.0%	7.3%	7.8%	13.5%	9.0%	9.2%	11.3%	6.9%	100.0%
	備後地区	1,817	1,526	1,818	2,074	2,345	1,407	1,869	3,105	1,667	1,834	2,263	1,102	22,827
		8.0%	6.7%	8.0%	9.1%	10.3%	6.2%	8.2%	13.6%	7.3%	8.0%	9.9%	4.8%	100.0%
広島県計		4,684	4,244	5,903	6,688	6,664	4,859	5,941	8,094	5,397	6,233	6,856	4,331	69,894
		6.7%	6.1%	8.4%	9.6%	9.5%	7.0%	8.5%	11.6%	7.7%	8.9%	9.8%	6.2%	100.0%

出典：平成 29(2017)年「広島県観光客数の動向」

（注：平成 30 年は豪雨災害が発生したため、平成 29 年データを掲載）

（３）情報発信関係

① 府中市観光協会　Facebook の現状および推計

年度	フォロワー数	投稿回数	いいねの数	１投稿当たりの「いいね」数	対前年度増	コメント数	シェアされた数	１投稿当たりのシェア数	備 考
平 28 (2016)	不明	47	649	**13.8**	－	4	25	**0.5**	10 月 5 日～
平 29 (2017)	不明	62	1,373	**22.1**	－	11	74	**1.2**	
平 30 (2018)	不明	101	2,867	**28.4**	28.2%	44	229	**2.3**	
令元 (2019)	**439**	135	4,707	**34.9**	22.8%	18	215	**1.6**	～3 月 20 日
令 2 (2020)	**571**	140	6,346	**45.3**	**30.0%**	23	280	**2.0**	
令 3 (2021)	**742**	140	8,249	**58.9**	**30.0%**	30	364	**2.6**	
令 4 (2022)	**965**	140	10,724	**76.6**	**30.0%**	39	473	**3.4**	
令 5 (2023)	**1,255**	140	13,942	**99.6**	**30.0%**	51	615	**4.4**	
令 6 (2024)	**1,632**	140	18,124	**129.5**	**30.0%**	66	800	**5.7**	

（参考）尾道観光協会　Facebook

令元 (2019)	**19,987**	143	48,375	**338.3**		375	2,491	**17.4**	平成 24.1.25～

② 府中市観光協会　Instagram の現状および推計

年度	フォロワー数	投稿回数	いいね数	１投稿当たりのいいね数	対前年度増	コメント数	備　考
平 30 (2018)	不明	16	124	**7.8**	－	0	平成 30.12.4～
令元 (2019)	**146**	57	1,310	**23.0**	－	4	
令 2 (2020)	**190**	60	1,793	**29.9**	**30.0%**	5	
令 3 (2021)	**247**	60	2,330	**38.8**	**30.0%**	7	
令 4 (2022)	**321**	60	3,030	**50.5**	**30.0%**	9	
令 5 (2023)	**417**	60	3,938	**65.6**	**30.0%**	12	
令 6 (2024)	**542**	60	5,120	**85.3**	**30.0%**	16	

（参考）尾道観光協会　Instagram

令元 (2019)	**4,421**	58	38,461	**663.1**		**100**	平成 29.5.23～

府中市観光振興ビジョン策定委員会　委員名簿

〈委　員〉

所　　属	氏　　名
広島経済大学　教授	北野　尚人
府中市　副市長	村上　明雄
（一社）広島県観光連盟　専務理事	梅木　敏明
府中商工会議所　副会頭	岡崎　浩二
上下町商工会議所　会長	伊藤　敏雄
府中市観光協会　会長	髙橋　良昌
府中第一ホテル　代表取締役	荒川　裕己
㈱アシナトランジット　代表取締役社長	宮口　泰彦
㈱グローカルメディア　代表取締役	真部　保良
MATCHA インバウンド戦略部　統括マネージャー	Kwan Srisongkam
（一社）九州のムラ　観光・地域づくりプランナー	泰永　幸枝
快食.com　ウェブマスター	池上　弘一
西日本旅客鉄道株式会社岡山支社営業課　副課長	石野　正人
㈱ＪＴＢ福山支店　支店長	高垣　　努
広島県商工労働局観光課　課長	山本　栄典

〈アドバイザー〉

中国運輸局観光部観光企画課　課長	堀　　秀幸

（順不同　敬称略）

府中市観光振興ビジョンワーキンググループ会議 委員名簿

所　　属	氏　　名
府中市観光協会　事務局長（事業推進部）	柿原　延孝
府中市観光協会上下支部　支部長	眞野　秀明
上下歴史文化資料館　館長（上下まちづくり協議会）	守本　祐子
石州街道出口地区ボランティアガイドの会　　会長	内田　和太
府中ノアンテナ　代表理事	水主川 緑
府中商工会議所　課長	朝野　弘行
農業組合上下南農産	野田　康弘
府中市農業集団	竹内　茂樹
NPO 法人 PEACE CULTURE VILLAGE 常務理事	ポピオ・メアリー
㈱ＪＴＢ福山支店　営業課長	前田　泰明
(一社)神石高原町観光協会　事務局	津川 香代子
(一社)ＲＩＤＥ　理事長	堀　　啓二
府中市経済観光部　観光戦略推進担当部長	森川　祐司
府中市経済観光部　観光課長	浅野　昌樹

（順不同　敬称略）

広島県 府中市
FUCHU CITY

府中市観光振興ビジョン
令和２(2020)～６(2024)年度

発行年月　令和２年６月
発　　行　府中市
編　　集　府中市経済観光部観光課
〒726-8601　広島県府中市府川町 315
TEL 0847-43-7141